

新「豊島区教育ビジョン」 策定のためのアンケート調査

報告書

平成21年（2009年）11月

豊島区教育総務部

<目 次>

第1部 調査実施の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1
(1) 保育園・幼稚園調査	1
(2) 小学6年生調査	1
(3) 中学2年生調査	2
(4) 教員調査	2
(5) 教育関係団体調査	2
3 報告書の見方	3
第2部 保育園・幼稚園保護者調査結果	5
1 園児と保護者	5
(1) 園児が通っている保育園・幼稚園の種類	5
(2) 園児の性別	5
(3) 調査票の回答者	5
(4) 兄弟姉妹の人数	5
(5) 兄弟姉妹の有無	5
2 保育園・幼稚園外での生活	6
(1) 朝食をとる割合	6
(2) 起床時間	6
(3) 就寝時間	7
(4) 平均睡眠時間	7
(5) 塾・習い事の状況	8
3 子育てについて	9
(1) 子育てについて家庭で大切にしていること	9
(2) 子どものしつけについての考え方	9
(3) 平日に家庭で子どもと向き合う時間	10
(4) 子どもに本を読み聞かせる頻度	10
(5) 運動の状況	11
(6) テレビを見たり、ゲームで遊ぶ頻度	11

4	保育園・幼稚園について	12
	(1) 入園させた理由	12
	(2) 幼稚園・保育園で重点的に取り組んで欲しいこと	12
	(3) 小学校入学前に身につけさせたい能力、技能	13
	(4) 小学校入学にあたっての不安の内容	13
	(5) 小学校への進学希望	14
	(6) 進学希望の小学校を選んだ理由	14
5	保護者が考える進路	15
	(1) 保護者が考える進学目標	15
	(2) 入学予定の小学校で教育について重点をおいてほしいこと	16
	(3) 学校やクラスの児童数の規模についての考え方	16
6	教育改革の方策について	17
	(1) 隣接校選択制の評価	17
	(2) 今後の教育政策で重点的に取り組むべきこと	18
	(3) 意見・希望	18
7	クロス集計結果	19
	(1) 朝食をとる割合	19
	(2) 平均睡眠時間	20
	(3) 子どものしつけについての考え方	21
	(4) 子どもに本を読み聞かせる頻度	21
	(5) 入園させた理由	22
	(6) 進学希望の小学校を選んだ理由	23
	(7) 保護者が考える進学目標	24
	(8) 隣接校選択制の評価	25
第3部 区立小・中学校保護者調査結果		27
1	児童・生徒と保護者	27
	(1) 児童・生徒の性別	27
	(2) 調査票の回答者	27
2	学校外での生活	28
	(1) 朝食をとる割合	28
	(2) 平均睡眠時間	29
	(3) 塾・習い事の状況	30
	(4) 学習塾に通わせる主な目的	32
	(5) 平日の家庭での勉強時間	33

(6) 運動の状況	34
3 保護者が考える進路	35
(1) 保護者が考える進学的目標	35
4 学校について	36
(1) 入学させた理由	36
(2) 学校の満足度	38
(3) 学校生活での楽しみの内容	40
(4) 学校生活での不安の内容	42
(5) 区立学校への要望	44
(6) 学校教育で身につけさせたい能力、態度	46
5 教育改革の方策について	48
(1) 隣接校選択制の評価	48
(2) 中学校への進学希望	49
(3) 区立中学校を選んだ理由	50
(4) 区外公立中学校を選んだ理由	51
(5) 国立・都立・私立中学校を選んだ理由	52
(6) 区立学校支援事業の認知度	53
(7) 学校教育で重点的に取り組むべきこと	55
(8) 学校と地域の連携の進め方	57
(9) 区立学校のイメージや意見	59
6 クロス集計結果	60
(1) 朝食をとる割合	60
(2) 平均睡眠時間	61
(3) 平日の家庭での勉強時間	63
(4) 保護者が考える進学的目標	64
(5) 隣接校選択制の評価	65
(6) 中学校への進学希望	67
第4部 区立幼稚園・区立小・中学校教員調査結果	69
1 回答者について	69
(1) 所属	69
(2) 職層	69
(3) 年代	69
2 職務や学校施設など	70

(1) 職務の状況	70
(2) 忙しさの原因	70
(3) 休日勤務の状況	71
(4) 学校の施設・設備の満足度	71
3 「目指す子ども像」について	72
(1) 「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標の達成度	72
(2) 「自他を認め合い、思いやりのある心豊かな子ども」という目標が身につくと感じる程度	72
(3) 「健康でたくましく生きる子ども」という目標が身についていると感じる程度	73
(4) 重点施策	73
4 「目指す教師像」について	74
(1) 「楽しく・分かる授業」の自己評価	74
(2) 「子どもの話に耳と心を傾ける」の自己評価	74
(3) 「自ら学び続ける教師」の実践度	75
(4) 自己啓発	75
(5) 重点施策	76
5 「目指す学校像」について	77
(1) 「子どもが進んで学ぶ学校」の自己評価	77
(2) 「子どもが喜んで通う学校」の自己評価	77
(3) 「子ども・保護者・地域が集う学校」の自己評価	78
(4) 必要な施策	78
6 「目指す地域像」について	79
(1) 学校がある地域の安全・安心の保全状況	79
(2) 地域との学校教育への連携活動状況	79
(3) 地域との連携による文化・芸術育成活動の実施状況	80
7 教育改革の方策について	81
(1) 隣接校選択制の評価	81
(2) 区立学校支援事業の認知度	82
(3) 学校教育で重点的に取り組むべきこと	83
第5部 教育関係団体調査結果	85
1 地域の児童・生徒について	85
(1) 地域で児童・生徒が遊んでいるのを見かける頻度	85
(2) 子どもが遊ばない理由	85

(3) 集団の中でかかわり合わない児童・生徒を見る頻度	86
(4) 地域の児童・生徒の挨拶や言葉遣いの状況	86
(5) 児童・生徒の地域の行事や祭りへの参加状況	87
(6) 保護者の地域の行事や祭りなどへの参加状況	87
(7) 活動参加への方策	88
2 教育機関との連携・協力について	89
(1) 地域の区立幼稚園や小・中学校への訪問回数	89
(2) 学校に行った理由	90
(3) 地域の学校に対する関心度	91
(4) 所属団体と学校の協力関係	91
(5) 所属団体と学校の連携・協力内容	92
(6) 所属団体と学校が協力・連携すべき事柄	92
(7) 連携・協力の活性化に必要な方策	93
3 教育改革の方策について	94
(1) 隣接校選択制の評価	94
(2) 今後の教育政策で重点的に取り組むべきこと	95
(3) 意見・要望	95
第6部 共通設問の比較	97
(1) 朝食をとる割合	97
(2) 平均睡眠時間	98
(3) 運動の状況	99
(4) 進学的目標	100
(5) 隣接校選択制の評価	101
(6) 区立学校支援事業の認知度	102
(7) 重点施策	103
参考 調査票の質問項目一覧	105
(1) 保育園・幼稚園 保護者アンケート調査	105
(2) 豊島区立小・中学校保護者 意識・意向調査【小学校】	106
(3) 豊島区立小・中学校保護者 意識・意向調査【中学校】	107
(4) 区立幼稚園・区立小・中学校 教員アンケート調査	108
(5) 教育関係団体アンケート調査	109

第 1 部 調査実施の概要

第1部 調査実施の概要

1 調査の目的

新しい教育ビジョン「豊島区教育振興基本計画」(仮称)を策定するに当たり、園児・児童・生徒の保護者をはじめ、教員及び教育関係団体の意識・意向などを的確に把握し、計画改定の基礎資料を得るために実施した。

2 調査の方法等

調査は、下記の5種類の調査票を用いて行った。

- (1) 保育園・幼稚園 保護者アンケート調査 (以下、「保育園・幼稚園調査」)
- (2) 豊島区立小・中学校保護者 意識・意向調査【小学校】 (以下、「小学6年生調査」)
- (3) 豊島区立小・中学校保護者 意識・意向調査【中学校】 (以下、「中学2年生調査」)
- (4) 区立幼稚園・区立小・中学校 教員アンケート調査 (以下、「教員調査」)
- (5) 教育関係団体アンケート調査 (以下、「教育関係団体調査」)

(1) 保育園・幼稚園調査

	保育園・幼稚園調査
(1) 調査対象者	保育園・幼稚園 5歳児保護者
(2) 調査対象校	区立幼稚園3園、私立幼稚園3園、区立保育園5園、私立保育園3園
(3) 調査期間	平成21年7月6日～7月15日
(4) 調査票配付数	保育園・幼稚園 5歳児保護者 306人
(5) 回収数	保育園・幼稚園 5歳児保護者 222人
(6) 回収率	72.5%
(7) 調査方法	各幼稚園・保育園から、児童を介して調査票を配付、回収 (私立は郵送回収)

(2) 小学6年生調査

	小学6年生調査
(1) 調査対象者	区立小学校の6年生保護者
(2) 調査対象校	区立小学校23校
(3) 調査期間	平成21年7月6日～7月15日。一部7月31日
(4) 調査票配付数	小学校6年生保護者 1,159人
(5) 回収数[有効・無効回収数]	小学校6年生保護者 994人[有効992人 無効(白票)2人]
(6) 回収率[有効回収率]	85.7%[85.6%]
(7) 調査方法	各小学校から、児童を介して調査票を配付(一部手渡し)、回収

(3) 中学2年生調査

	中学2年生調査
(1) 調査対象者	区立中学校の2年生保護者
(2) 調査対象校	区立中学校8校
(3) 調査期間	平成21年7月6日～7月15日
(4) 調査票配付数	中学校2年生保護者 861人
(5) 回収数[有効・無効回収数]	中学校2年生保護者 695人[有効692人 無効(白票)3人]
(6) 回収率[有効回収率]	80.7%[80.4%]
(7) 調査方法	各中学校から、児童を介して調査票を配付、回収

(4) 教員調査

	教員調査
(1) 調査対象者	区立幼稚園・小学校・中学校の教員
(2) 調査対象校	区立幼稚園3園、区立小学校23校、区立中学校8校
(3) 調査期間	平成21年7月6日～7月24日
(4) 調査票配付数	区立幼稚園・小学校・中学校の教員 413人
(5) 回収数	区立幼稚園・小学校・中学校の教員 388人
(6) 回収率	93.9%
(7) 調査方法	各幼稚園・小学校・中学校へ調査票を配付、回収

(5) 教育関係団体調査

	教育関係団体調査
(1) 調査対象者	各町会長、民生・児童委員、主任児童委員、保護司、育成委員
(2) 調査期間	平成21年7月9日～7月31日
(3) 調査票配付数	各町会長、民生・児童委員、主任児童委員、保護司、育成委員 293人
(4) 回収数	各町会長、民生・児童委員、主任児童委員、保護司、育成委員 183人
(5) 回収率	62.5%
(6) 調査方法	各団体を通じて、調査票を配付、郵送回収

3 報告書の見方

- ① 回答の比率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出した。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- ② 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。従って、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ③ 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ④ 図表中では、“－”を用いていることがある。それは回答者がいないことを表している。
- ⑤ 調査対象による比較を行う際に、質問内容や回答選択肢が異なる場合、注釈を付している。
- ⑥ 各調査の記述意見については、別冊「記述意見集」にまとめている。
- ⑦ 前回（平成18年度）に実施した調査項目のうち、今回調査と比較できるものについては、その比率を掲載し、比較を試みている。

※平成18年度 豊島区立学校保護者等意識・意向調査 調査の概要

調査対象者	： 区立小学校の6年生の保護者、区立中学校の2年生の保護者
調査対象校	： 区立小学校23校、区立中学校8校
調査期間	： 平成18年7月3日～7月14日
調査票配付数	： 小学校6年生保護者1,154人、中学校2年生保護者810人、計1,964人
回収数	： 小学校6年生保護者1,019人、中学校2年生保護者674人、計1,693人
回収率	： 86.2%
調査方法	： 各小学校・中学校から、児童・生徒を介して調査票を配付、回収

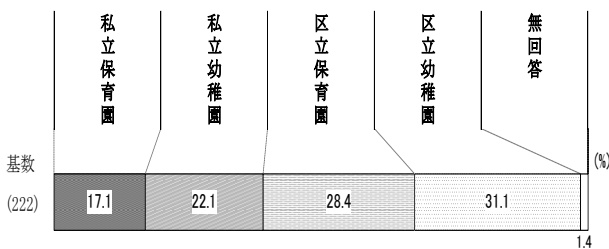
第 2 部 保育園・幼稚園保護者調査結果

第2部 保育園・幼稚園保護者調査結果

1 園児と保護者

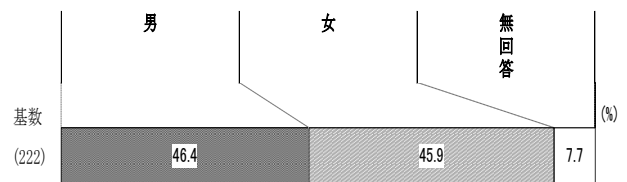
(1) 園児が通っている保育園・幼稚園の種類

＜図表1-1＞園児が通っている
保育園・幼稚園の種類



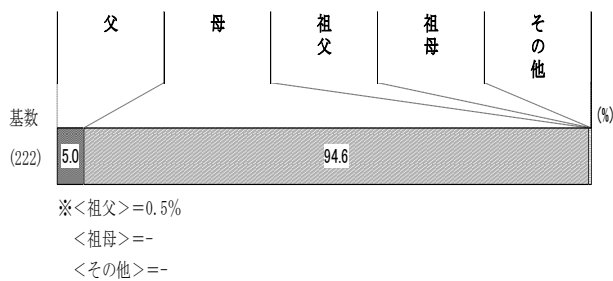
(2) 園児の性別

＜図表1-2＞園児の性別



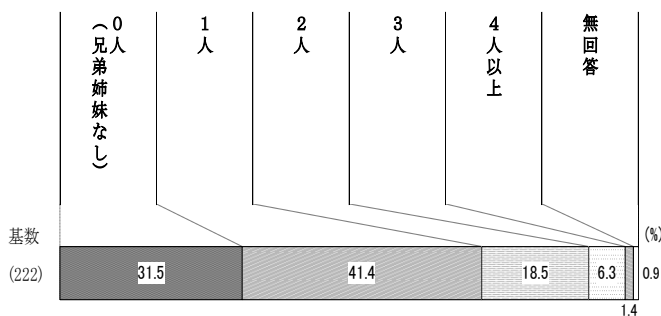
(3) 調査票の回答者

＜図表1-3＞調査票の回答者



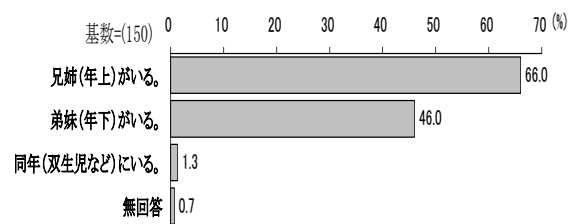
(4) 兄弟姉妹の人数

＜図表1-4＞兄弟姉妹の人数



(5) 兄弟姉妹の有無

＜図表1-5＞兄弟姉妹の有無



※兄弟姉妹の人数を「1人」～「4人以上」と回答した方のみ。複数回答。

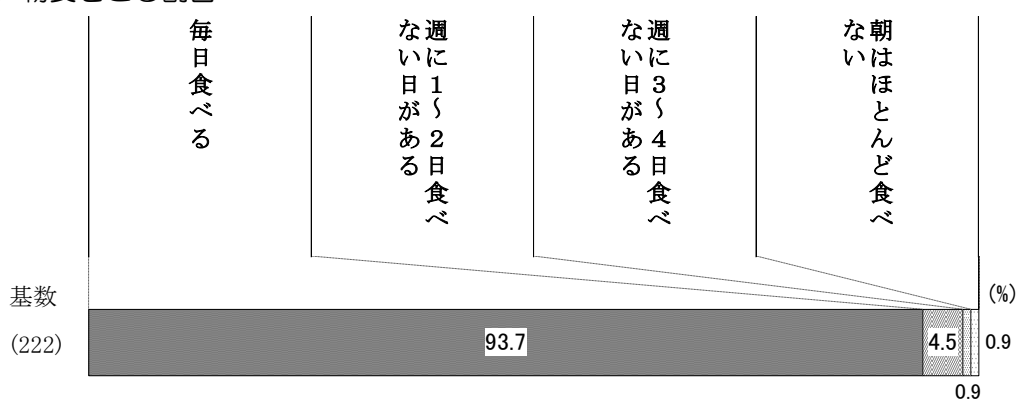
2 保育園・幼稚園外での生活

(1) 朝食をとる割合

問3. お子様は毎日朝食を食べていますか。

朝食をとる割合は、「毎日食べる」が93.7%で最も高く、次いで「週に1～2日食べない日がある」が4.5%、「週に3～4日食べない日がある」が0.9%となっている。(図表2-1)

〈図表2-1〉朝食をとる割合

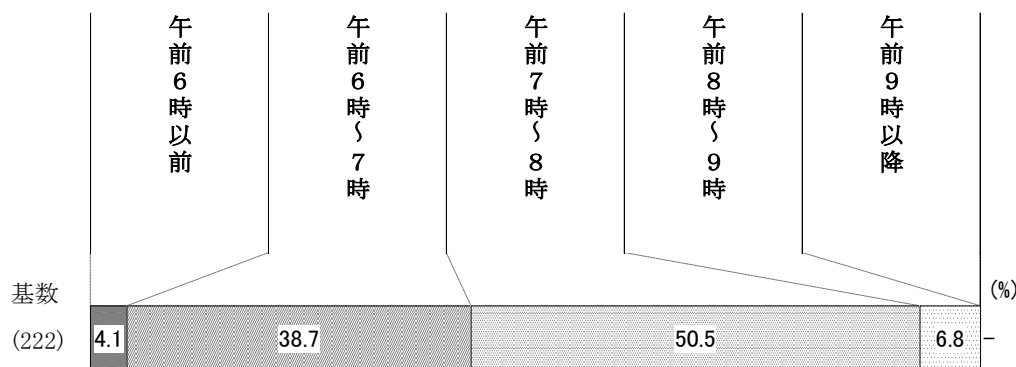


(2) 起床時間

問4. お子様の起床時間は何時くらいですか。

起床時間は、「午前7時～8時」が50.5%で最も高く、次いで「午前6時～7時」が38.7%となっている。(図表2-2)

〈図表2-2〉起床時間

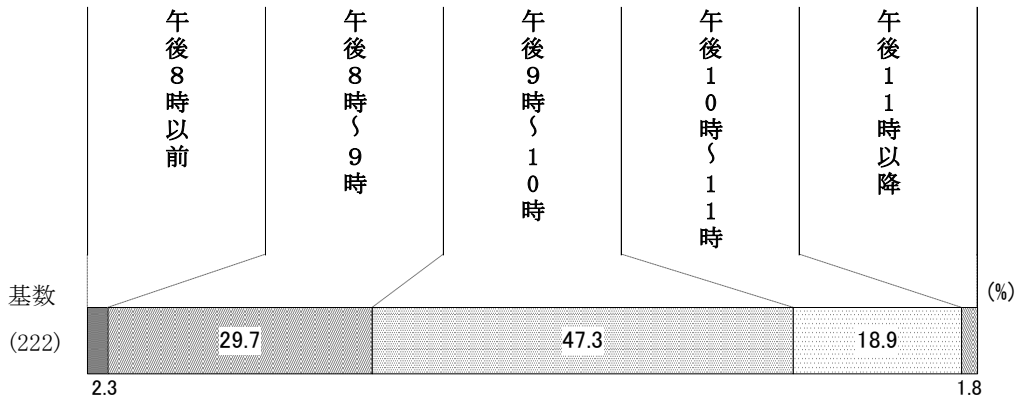


(3) 就寝時間

問5. お子様の毎日の就寝時間は何時頃ですか。

就寝時間は、「午後9時～10時」が47.3%で最も高く、次いで「午後8時～9時」が29.7%、「午後10時～11時」が18.9%などとなっている。(図表2-3)

<図表2-3>就寝時間

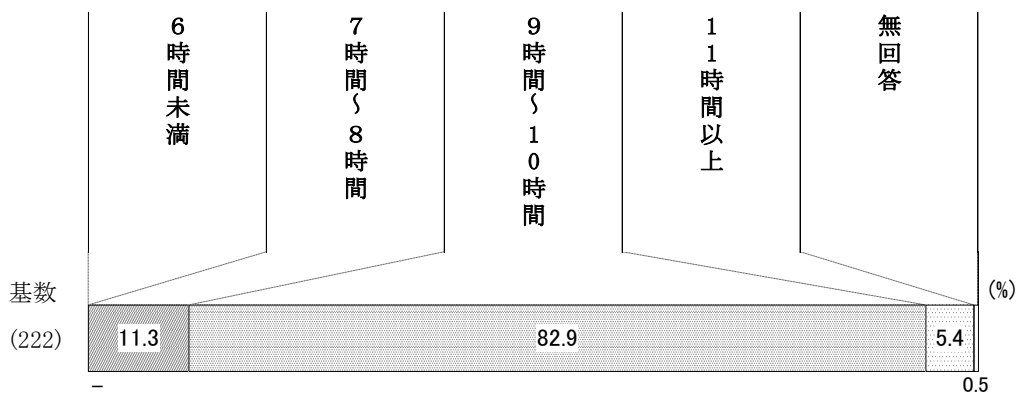


(4) 平均睡眠時間

問6. お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。

平均睡眠時間は、「9時間～10時間」が82.9%で最も高く、次いで「7時間～8時間」が11.3%となっている。(図表2-4)

<図表2-4>平均睡眠時間



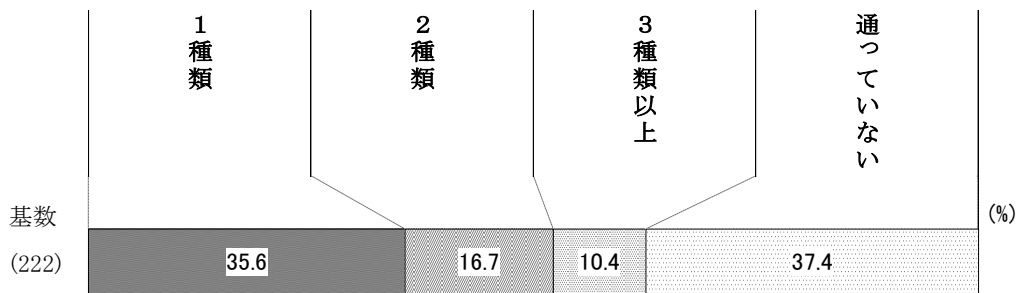
(5) 塾・習い事の状況

問7. お子様は塾や習い事に通っていますか。

塾・習い事の状況としては、「1種類」が35.6%、「2種類」が16.7%、「3種類以上」が10.4%で、これらを合わせると、「通っている」は62.7%である。

一方、「通っていない」は37.4%である。(図表2-5)

<図表2-5> 塾・習い事の状況



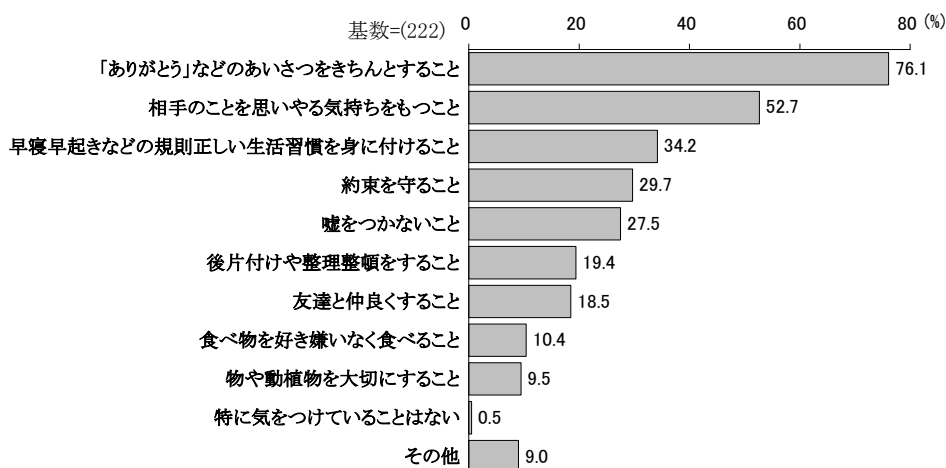
3 子育てについて

(1) 子育てについて家庭で大切にしていること

問8. お子様を育てるうえで、ご家庭で特に大切にしていることはどんなことですか。(選択は3つまで)

子育てについて家庭で大切にしていることとしては、「ありがとう」などのあいさつをきちんとすること」が76.1%で最も高くなっている。次いで「相手のことを思いやる気持ちをもつこと」が52.7%、「早寝早起きなどの規則正しい生活習慣を身に付けること」が34.2%などである。(図表3-1)

<図表3-1>子育てについて家庭で大切にしていること

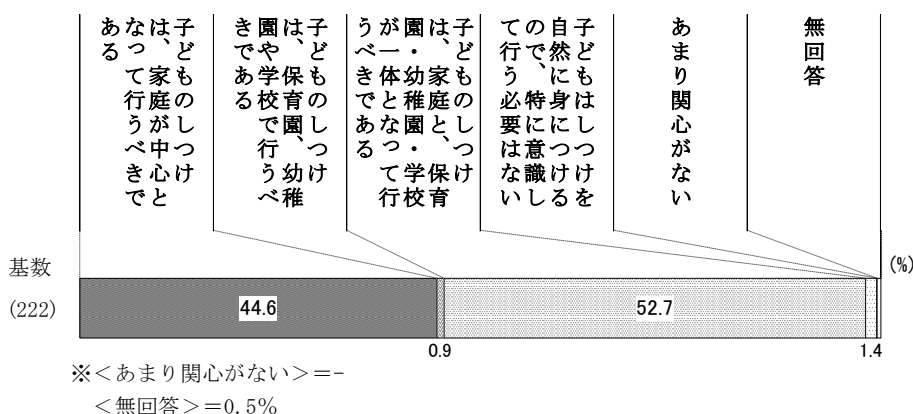


(2) 子どものしつけについての考え方

問9. 子どものしつけについて、どうあるべきだとお考えですか。

子どものしつけについての考え方としては、「子どものしつけは、家庭と保育園等が一体となっ て行くべきである」が52.7%で最も高くなっている。次いで「子どものしつけは、家庭が中心となっ て行くべきである」が44.6%である。(図表3-2)

<図表3-2>子どものしつけについての考え方

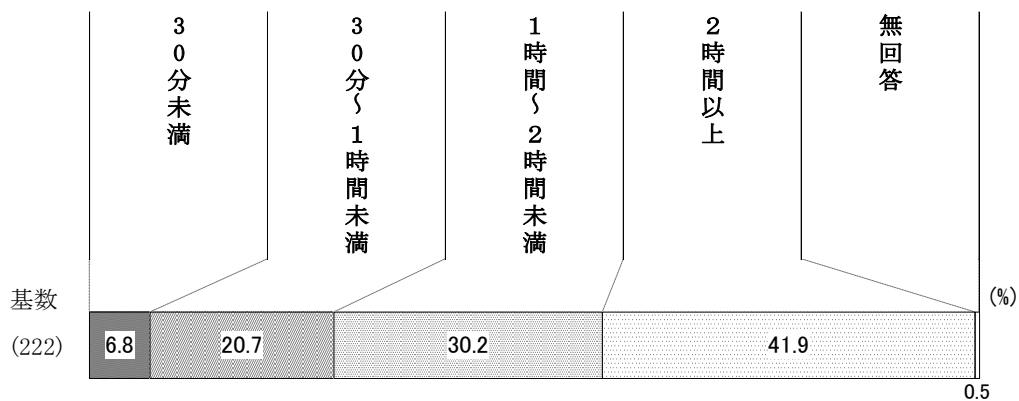


(3) 平日に家庭で子どもと向き合う時間

問10. 一日（平日）のうち、ご家庭でお子様と遊ぶ・話すなど、向き合う時間はどのくらいありますか。

平日に家庭で子どもと向き合う時間は、「2時間以上」が41.9%で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が30.2%、「30分～1時間未満」が20.7%などとなっている。（図表3-3）

〈図表3-3〉平日に家庭で子どもと向き合う時間



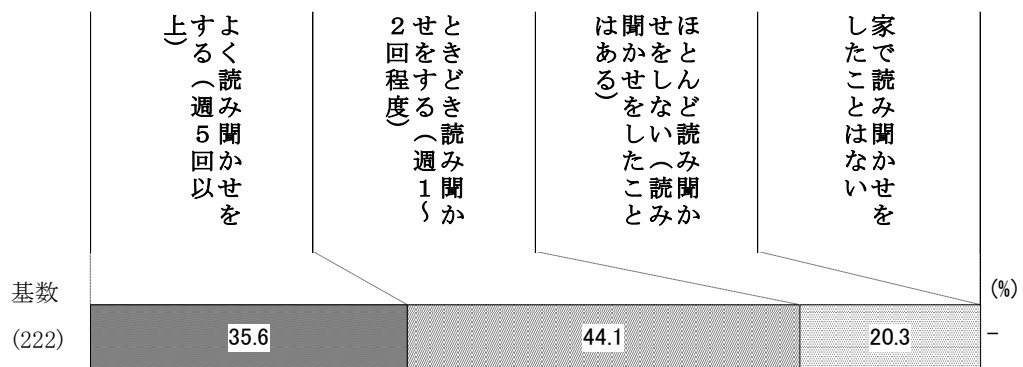
(4) 子どもに本を読み聞かせる頻度

問11. ご家庭で本の読み聞かせなど、お子様が本に親しむ機会を作っていますか。

子どもに本を読み聞かせる頻度は、「よく読み聞かせをする（週5回以上）」が35.6%で、「ときどき読み聞かせをする（週1～2回程度）」が44.1%と最も高くなっている。これらを合わせると、「読み聞かせをする」は79.7%である。

一方、「ほとんど読み聞かせをしない（読み聞かせをしたことはある）」は20.3%となっている。（図表3-4）

〈図表3-4〉子どもに本を読み聞かせる頻度



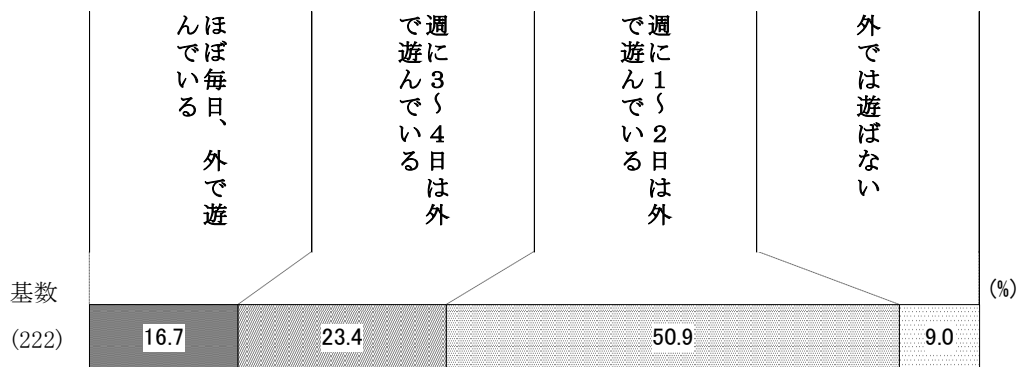
(5) 運動の状況

問12. お子様は、外で遊んだり運動したりしていますか。ただし、保育園や幼稚園での活動はのぞきます。

運動の状況は、「週に1～2日は外で遊んでいる」が50.9%で最も高く、次いで「週に3～4日は外で遊んでいる」が23.4%、「ほぼ毎日、外で遊んでいる」が16.7%となっている。これらを合わせると、《外遊びや運動をしている》は91.0%である。

一方、「外では遊ばない」は9.0%となっている。(図表3-5)

＜図表3-5＞運動の状況



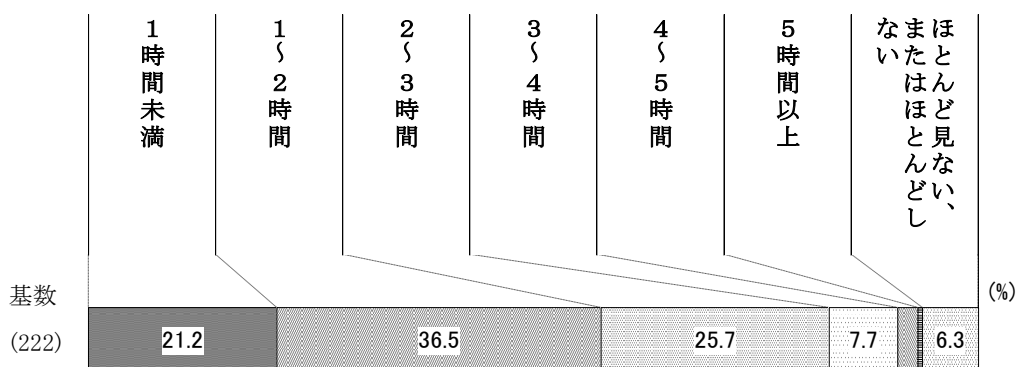
(6) テレビを見たり、ゲームで遊ぶ頻度

問13. 一日の(平日)うち、お子様は、どのくらいの時間、テレビを見たり、ゲーム(テレビゲームなど電子的なもの)で遊んでいますか。

テレビを見たり、ゲームで遊ぶ頻度は、「1～2時間」が36.5%で最も高く、次いで「2～3時間」が25.7%、「1時間未満」が21.2%などとなっている。「1時間未満」から「5時間以上」までを合わせると、《テレビを見たり、ゲームで遊ぶ》は93.9%である。

一方、「ほとんど見ない、またはほとんどしない」は6.3%となっている。(図表3-6)

＜図表3-6＞テレビを見たり、ゲームで遊ぶ頻度



※＜4～5時間＞＝2.3%

＜5時間以上＞＝0.5%

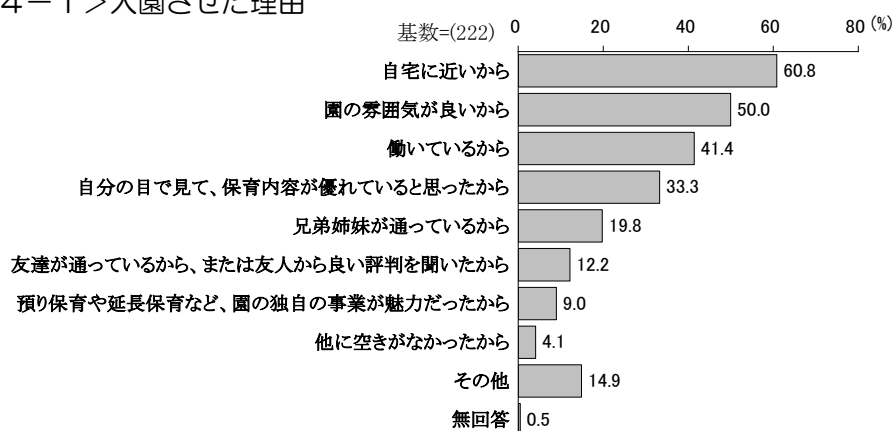
4 保育園・幼稚園について

(1) 入園させた理由

問14. お子様が現在通園している幼稚園・保育園に入園させた主な理由はなんですか。(選択は3つまで)

入園させた理由としては、「自宅に近いから」が60.8%で最も高くなっている。次いで「園の雰囲気が良いから」が50.0%、「働いているから」が41.4%、「自分の目で見て、保育内容が優れていると思ったから」が33.3%などである。(図表4-1)

<図表4-1>入園させた理由

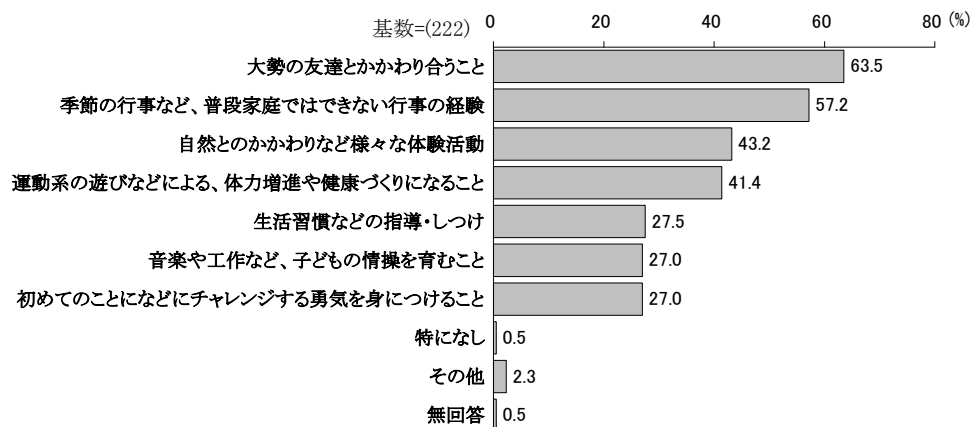


(2) 幼稚園・保育園で重点的に取り組んで欲しいこと

問15. 幼稚園・保育園で重点的に取り組んで欲しいことはどんなことですか。(選択は3つまで)

幼稚園・保育園で重点的に取り組んで欲しいこととしては、「大勢の友達とかかわり合うこと」が63.5%で最も高くなっている。次いで「季節の行事など、普段家庭ではできない行事の経験」が57.2%、「自然とのかかわりなど様々な体験活動」が43.2%、「運動系の遊びなどによる、体力増進や健康づくりになること」が41.4%などである。(図表4-2)

<図表4-2>幼稚園・保育園で重点的に取り組んで欲しいこと

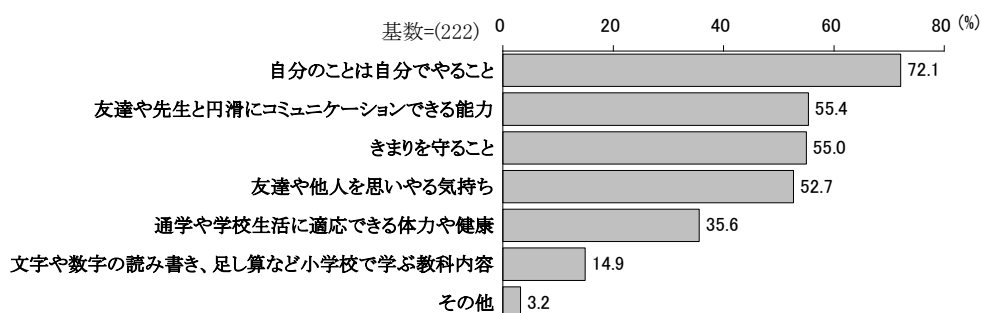


(3) 小学校入学前に身につけさせたい能力、技能

問16. 小学校入学前に特に身につけさせたい能力・技能は何ですか。(選択は3つまで)

小学校入学前に身につけさせたい能力、技能としては、「自分のことは自分でやること」が72.1%で最も高くなっている。次いで「友達や先生と円滑にコミュニケーションできる能力」が55.4%、「きまりを守ること」が55.0%、「友達や他人を思いやる気持ち」が52.7%などである。(図表4-3)

<図表4-3> 小学校入学前に身につけさせたい能力、技能

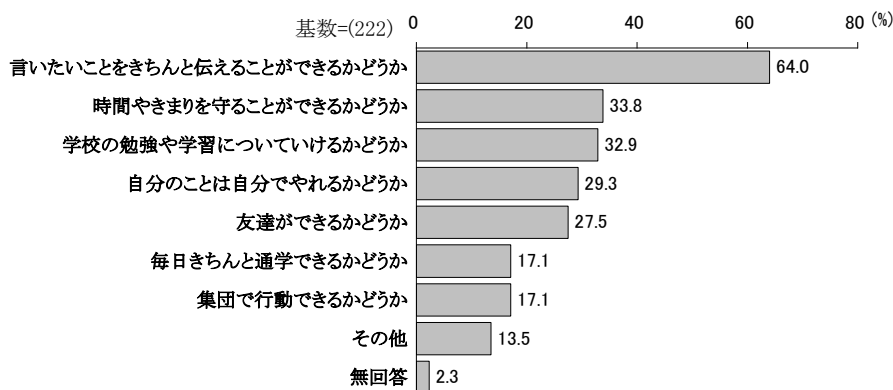


(4) 小学校入学にあたっての不安の内容

問17. 小学校入学にあたって、特に不安に感じていることは何ですか。(選択は3つまで)

小学校入学にあたっての不安の内容としては、「言いたいことをきちんと伝えることができるかどうか」が64.0%で最も高くなっている。次いで「時間やきまりを守ることができるかどうか」が33.8%、「学校の勉強や学習についていけるかどうか」が32.9%などである。(図表4-4)

<図表4-4> 小学校入学にあたっての不安の内容

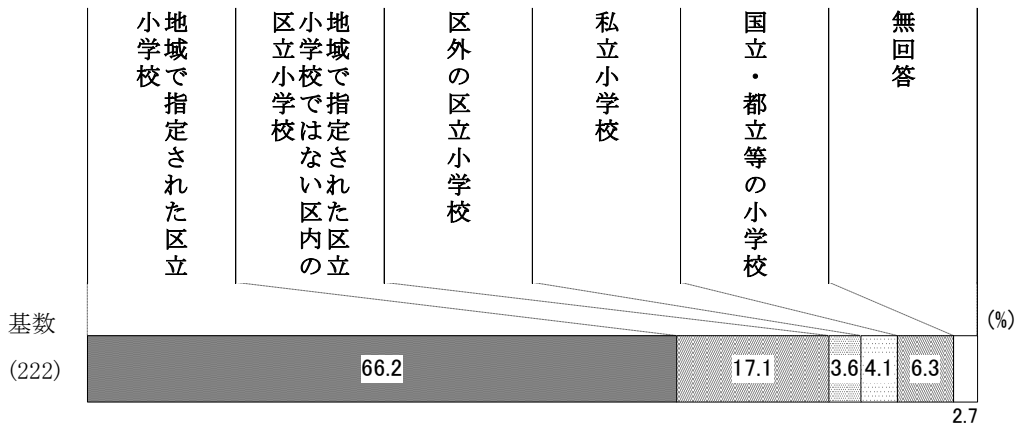


(5) 小学校への進学希望

問18. 来年4月に入学を希望している小学校は下記のうちのどの小学校でしょうか。

小学校への進学希望は、「地域で指定された区立小学校」が66.2%で最も高く、次いで「地域で指定された区立小学校ではない区内の区立小学校」が17.1%となっている。(図表4-5)

〈図表4-5〉小学校への進学希望

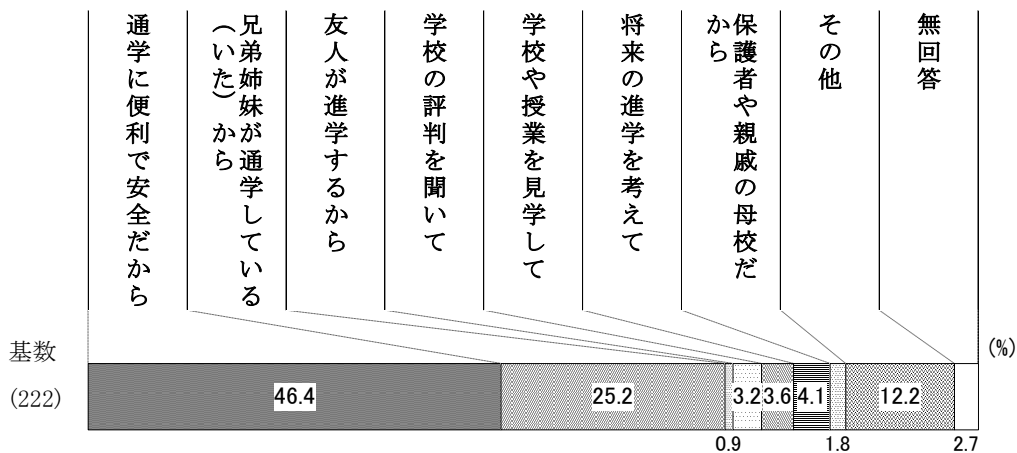


(6) 進学希望の小学校を選んだ理由

問19. 進学を希望する小学校を選んだ理由は何ですか。

前問で、進学希望の小学校を選んだ理由としては、「通学に便利で安全だから」が46.4%で最も高く、次いで「兄弟姉妹が通学している(いた)から」が25.2%となっている。(図表4-6)

〈図表4-6〉進学希望の小学校を選んだ理由



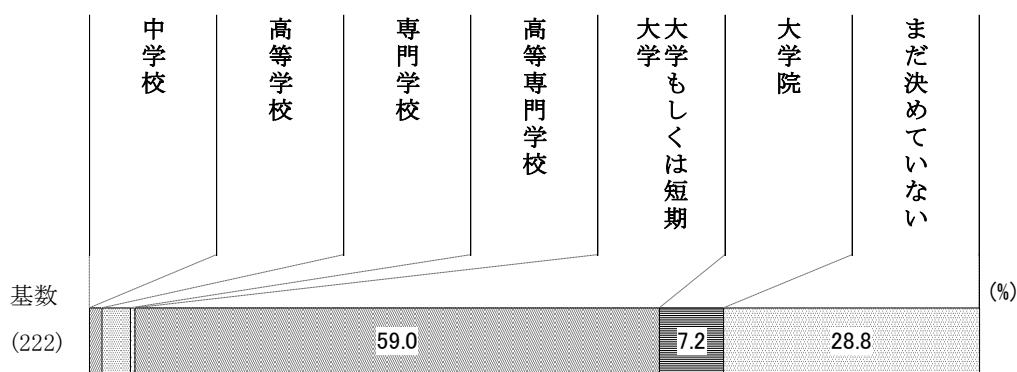
5 保護者が考える進路

(1) 保護者が考える進学的目標

問20. お子様の進学についてどのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。

保護者が考える進学的目標としては、「大学もしくは短期大学」が59.0%で最も高くなっている。一方、「まだ決めていない」は28.8%となっている。(図表5-1)

<図表5-1> 保護者が考える進学的目標



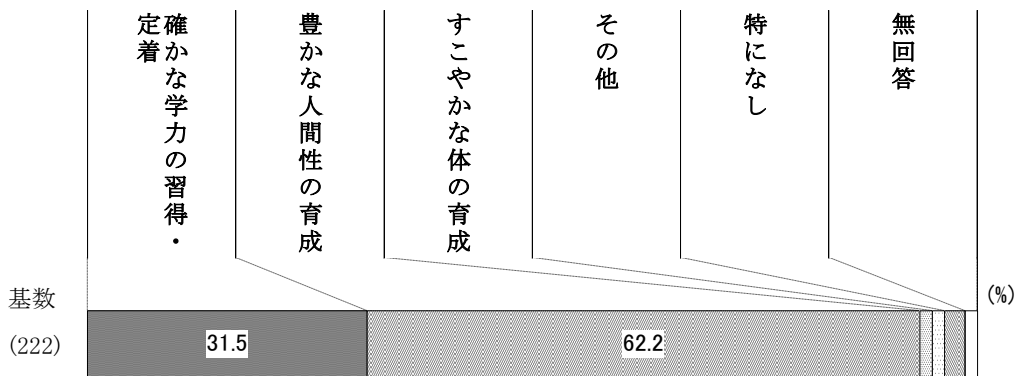
※<中学校>=-
<高等学校>=1.4%
<専門学校>=3.2%
<高等専門学校>=0.5%

(2) 入学予定の小学校で教育について重点をおいてほしいこと

問21. 来年入学する小学校では、お子様の教育についてどのようなことに重点をおいてほしいと思いますか。

入学予定の小学校で教育について重点をおいてほしいこととしては、「豊かな人間性の育成」が62.2%で最も高く、次いで「確かな学力の習得・定着」が31.5%となっている。(図表5-2)

＜図表5-2＞入学予定の小学校で教育について重点をおいてほしいこと



※＜すこやかな体の育成＞=1.4%
 ＜その他＞=1.4%
 ＜特になし＞=2.3%
 ＜無回答＞=1.4%

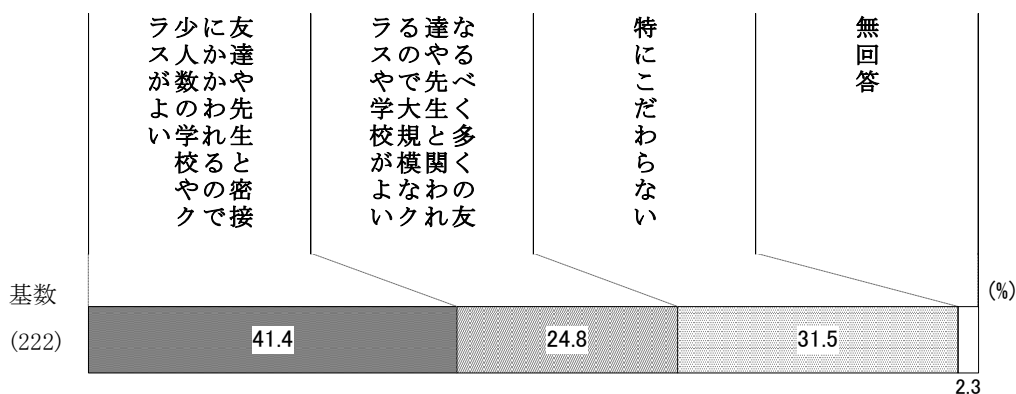
(3) 学校やクラスの児童数の規模についての考え方

問22. 学校やクラスの児童数の規模についてはどうお考えですか。

学校やクラスの児童数の規模についての考え方としては、「友達や先生と密接にかかわれるので少人数の学校やクラスがよい」が41.4%で最も高くなっている。

一方、「なるべく多くの友達や先生と関われるので大規模なクラスや学校がよい」が24.8%、また、「特にこだわらない」が31.5%である。(図表5-3)

＜図表5-3＞学校やクラスの児童数の規模についての考え方



6 教育改革の方策について

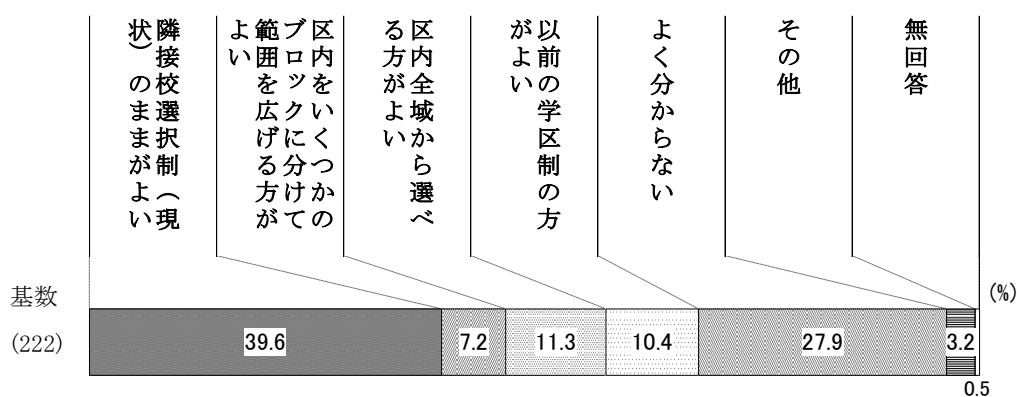
(1) 隣接校選択制の評価

問23. 豊島区では平成13年度から、学校教育の活性化や児童・生徒・保護者の意向を尊重するため、指定校と指定校に隣接する学校を選択できる「隣接校選択制」を導入し、小学校で20%程度、中学校で15%程度の方が利用しています。

あなたは、小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

隣接校選択制の評価は、「隣接校選択制（現状）のままがよい」が39.6%で最も高くなっている。次いで「区内全域から選べる方がよい」が11.3%、「以前の学区制の方がよい」が10.4%などである。一方、「よく分からない」も27.9%と高い。（図表6-1）

＜図表6-1＞隣接校選択制の評価

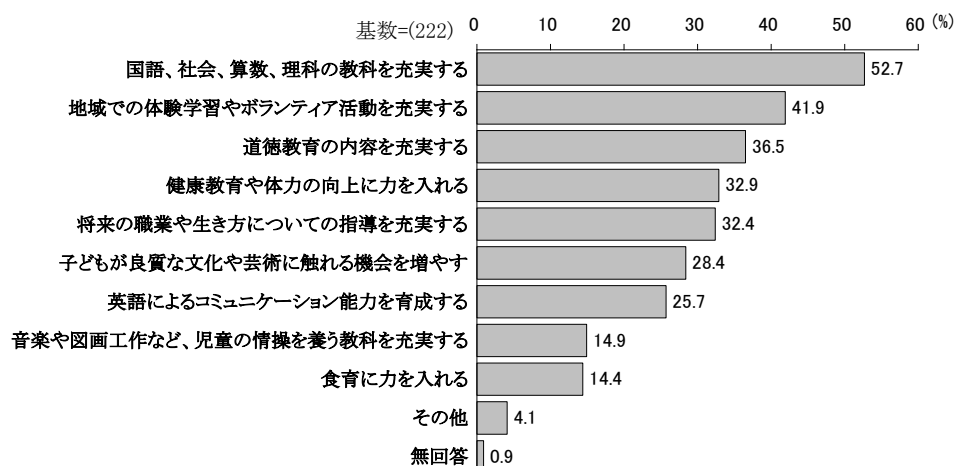


(2) 今後の教育政策で重点的に取り組むべきこと

問24. あなたは、今後の教育政策でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。(選択は3つまで)

今後の教育政策で重点的に取り組むべきこととしては、「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」が52.7%で最も高くなっている。次いで「地域での体験学習やボランティア活動を充実する」が41.9%、「道徳教育の内容を充実する」が36.5%などである。(図表6-2)

<図表6-2>今後の教育政策で重点的に取り組むべきこと



(3) 意見・希望

問25. 区立学校の教育や学校運営についてご意見・ご希望があればお書きください。

区立学校の教育や学校運営について自由に記述いただいたところ、112件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表6-3)

<図表6-3>意見・希望

内容	件数
教育内容について	32
学区・学校選択制について	7
制度(週休2日制、ゆとり教育、少人数学級)について	6
先生について(資質)	5
学童等(学校以外)について	5
設備について(校内防犯も含む)	4
支援を必要とする子どもについて	2
その他、複数の事項に関すること	51

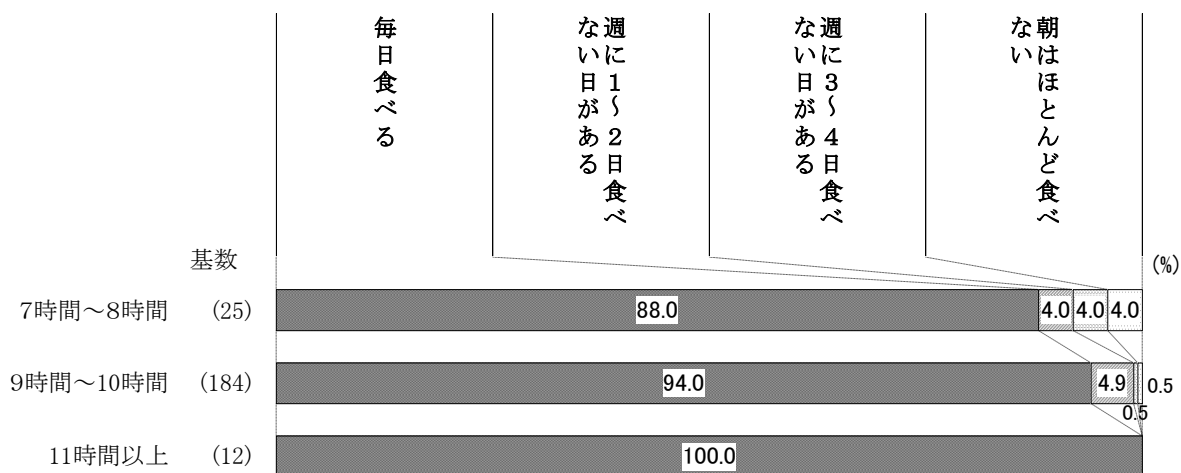
7 クロス集計結果

(1) 朝食をとる割合

問3. お子様は毎日朝食を食べていますか。

平均睡眠時間別については、基数が少ない時間帯が多いため参考であるが、「毎日食べる」は、平均睡眠時間の長い人ほど高い傾向がみられる。(図表7-1)

＜図表7-1＞朝食をとる割合／平均睡眠時間別（問6、7ページ）



11時間以上＜週に1〜2日食べない日がある＞＝
 ＜週に3〜4日食べない日がある＞＝
 ＜朝はほとんど食べない＞＝

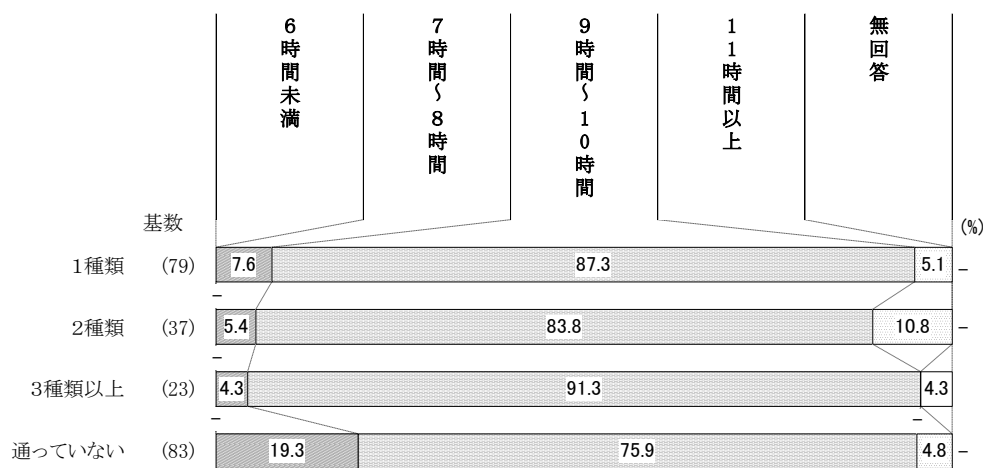
※6時間未満は基数が0人のため掲載せず。7時間〜8時間と11時間以上は基数が少ないため参考として図示している。

(2) 平均睡眠時間

問6. お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。

塾・習い事の状況別でみると、いずれの状況でも「9時間～10時間」に比率が集まっているものの、通っていない人で低くなっている。そして、通っていない人は、「7時間～8時間」で19.3%と他に比べて高くなっている。(図表7-2)

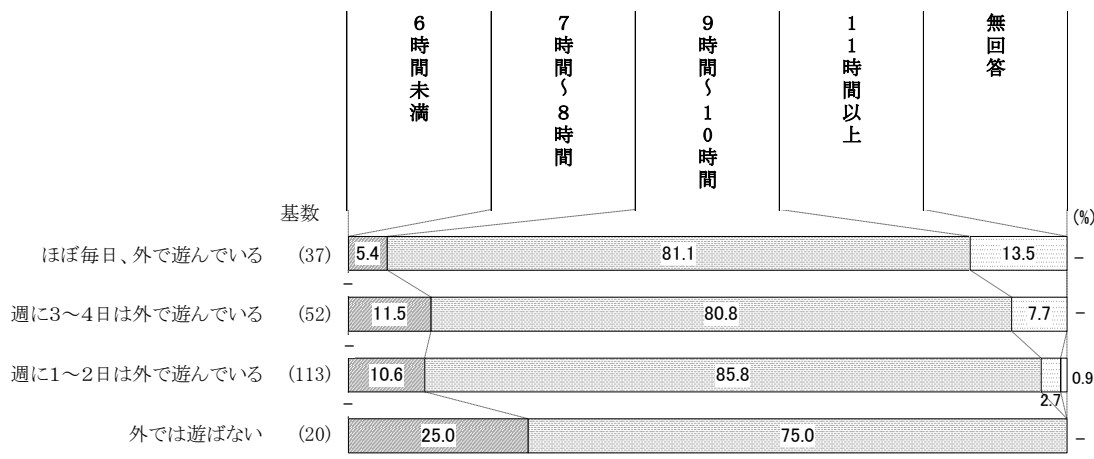
<図表7-2>平均睡眠時間/習い事の状況別(問7、8ページ)



※3種類以上は基数が少ないため参考として図示している。

運動の状況別でみると、いずれも「9時間～10時間」に比率が集まっており、週に1～2日は外で遊んでいる人で85.8%と他に比べて最も高い。一方、「11時間以上」は、外で遊んでいる人ほど高く、ほぼ毎日、外で遊んでいる人で13.5%となっている。(図表7-3)

<図表7-3>平均睡眠時間/運動の状況別(問12、11ページ)



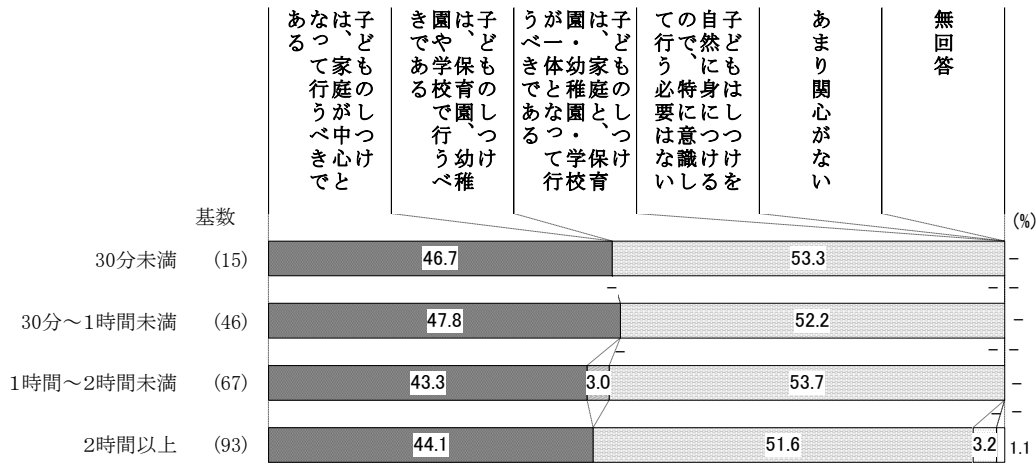
※外では遊ばないは基数が少ないため参考として図示している。

(3) 子どものしつけについての考え方

問9. 子どものしつけについて、どうあるべきだとお考えですか。

平日に家庭で子どもと向き合う時間別でみると、いずれも「子どものしつけは、家庭と保育園等が一体となって行うべきである」が高く、特に大きな違いはみられない。(図表7-4)

<図表7-4>子どものしつけについての考え方/平日に子どもと向き合う時間別(問10、10ページ)



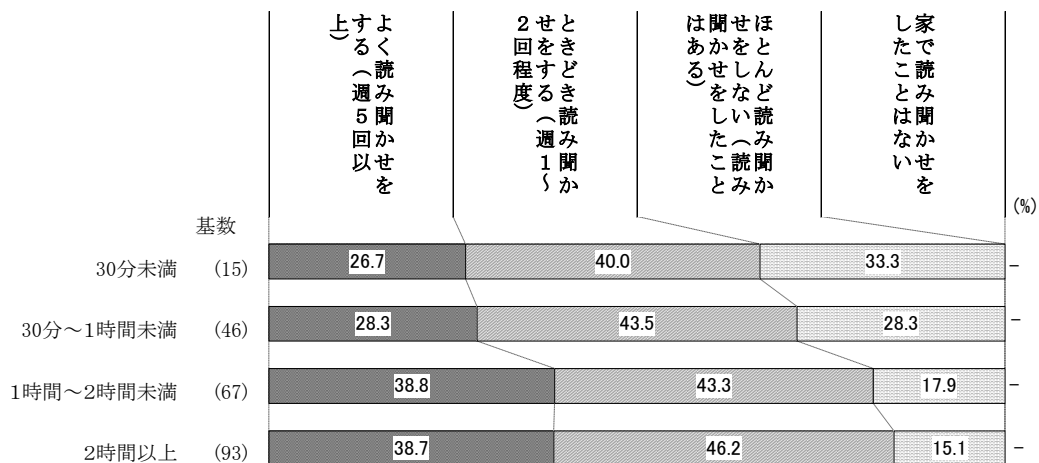
※30分未満は基数が少ないため参考として図示している。

(4) 子どもに本を読み聞かせる頻度

問11. ご家庭で本の読み聞かせなど、お子様が本に親しむ機会を作っていますか。

平日に家庭で子どもと向き合う時間別でみると、「よく読み聞かせをする(週5回以上)」と「ときどき読み聞かせをする(週1～2回程度)」は、おおむね向き合う時間が長い人で高くなっている。特に、「読み聞かせをする」としてみると、2時間以上の人で84.9%となる。一方、「ほとんど読み聞かせをしない(読み聞かせをしたことはある)」は、向き合う時間が短い人で高くなっている。(図表7-5)

<図表7-5>子どもに本を読み聞かせる頻度/平日に子どもと向き合う時間別(問10、10ページ)



※30分未満は基数が少ないため参考として図示している。

(5) 入園させた理由

問14. お子様^が現在通園している幼稚園・保育園に入園させた主な理由はなんですか。(選択は3つまで)

幼稚園・保育園に入園させた理由を保育園・幼稚園の種類別でみると、「働いているから」は、区立保育園で95.2%、私立保育園で76.3%と高くなっている。また、「自宅に近いから」でも区立保育園は73.0%と高い。一方、「園の雰囲気が良いから」は、私立幼稚園で75.5%、区立幼稚園で62.3%と高くなっており、「自分の目で見て、保育内容が優れていると思ったから」でも、私立幼稚園は63.3%と高い。(図表7-6)

<図表7-6>入園させた理由／保育園・幼稚園の種類別 (5ページ)

単位：%

	基数	働いているから	自宅に近いから	兄弟姉妹が通っているから	園の雰囲気が良いから	内容が優れていると 思ったから	自分の目で見て、保育 内容が優れていると 思ったから	友達や先生から 評判を聞いたから 良いから	魅力、園独自の延長保育が あるから	他に空きがなかったか	その他	無回答
私立保育園	38	<u>76.3</u>	52.6	21.1	28.9	23.7	7.9	31.6	7.9	10.5	-	
私立幼稚園	49	-	59.2	26.5	<u>75.5</u>	63.3	16.3	10.2	2.0	8.2	-	
区立保育園	63	<u>95.2</u>	73.0	17.5	27.0	6.3	1.6	1.6	7.9	9.5	-	
区立幼稚園	69	4.3	56.5	15.9	<u>62.3</u>	39.1	21.7	2.9	-	27.5	1.4	

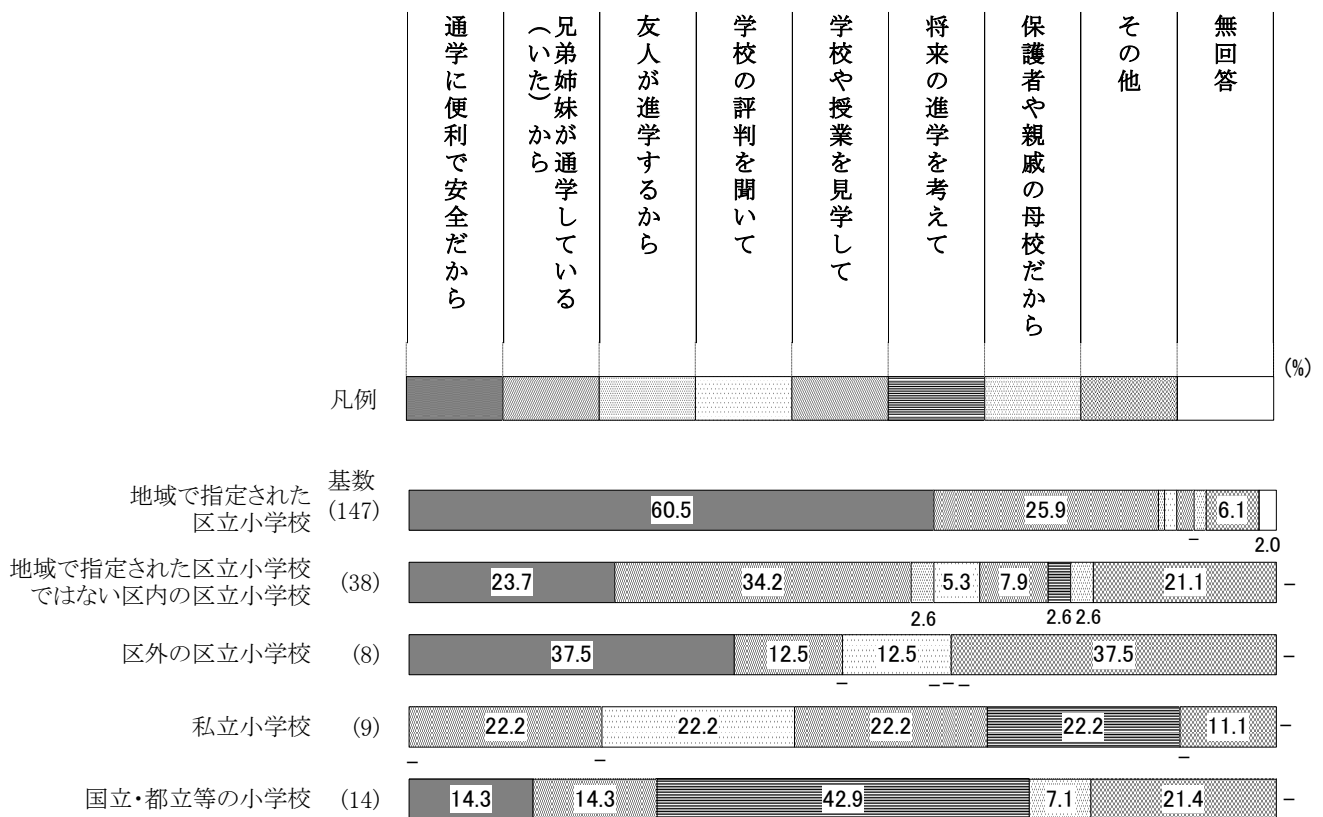
(6) 進学希望の小学校を選んだ理由

問19. 進学を希望する小学校を選んだ理由は何ですか。

小学校への進学希望別については、基数の少ない進学が多いことから、地域で指定された区立小学校を希望する人と、地域で指定された区立小学校ではない区内の区立小学校を希望する人に限定して述べる。

結果としては、「通学に便利で安全だから」は、地域で指定された区立小学校を希望する人で60.5と高くなっている。一方、「兄弟姉妹が通学している（いた）から」は、地域で指定された区立小学校ではない区内の区立小学校を希望する人で34.2%と高い。（図表7-7）

＜図表7-7＞進学希望の小学校を選んだ理由／小学校への進学希望別（問18、14ページ）



※地域で指定された区立小学校＜友人が進学するから＞=0.7%
 ＜学校の評判を聞いて＞=1.4%
 ＜学校や授業を見学して＞=2.0%
 ＜将来の進学を考えて＞=-
 ＜保護者や親戚の母校だから＞=1.4%

※区外の区立小学校、私立小学校、国立・都立等の小学校は基数が少ないため参考として図示している。

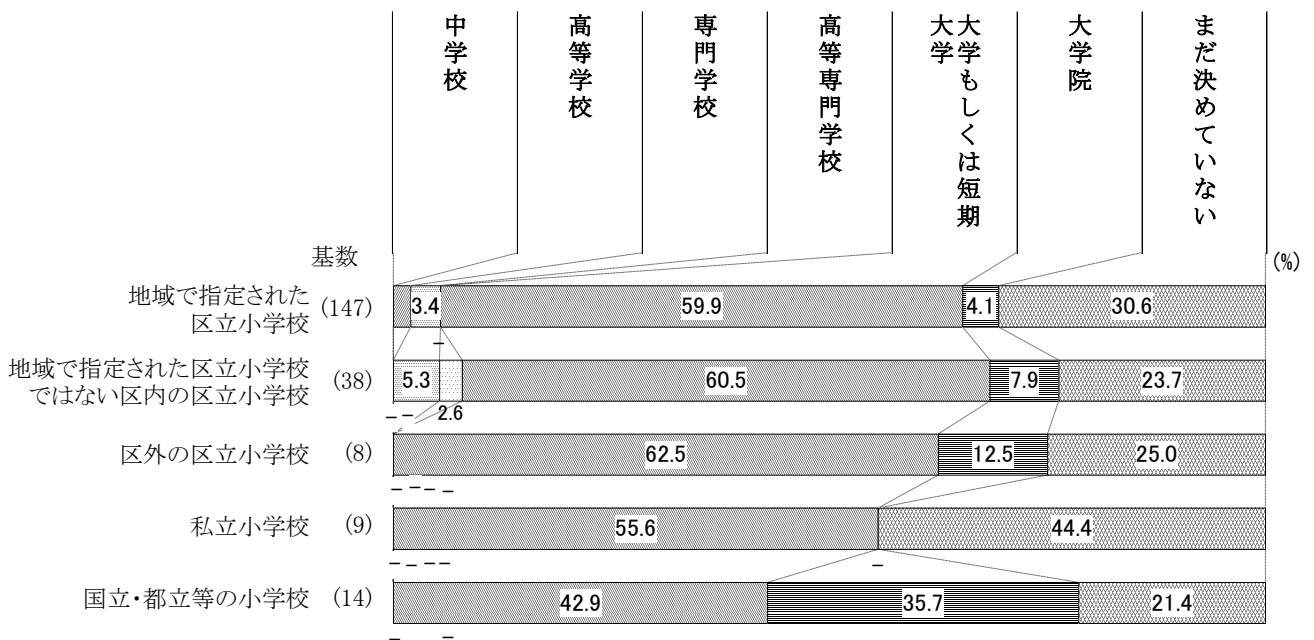
(7) 保護者が考える進学目標

問20. お子様の進学についてどのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。

小学校への進学希望別でみると、基数の少ない進学が多いことから、地域で指定された区立小学校を希望する人と、地域で指定された区立小学校ではない区内の区立小学校を希望する人に限定して述べる。

結果としては、いずれも「大学もしくは短期大学」が高くなっている。一方、「まだ決めていない」は地域で指定された区立小学校を希望する人で30.6%となっている。(図表7-8)

＜図表7-8＞保護者が考える進学目標／小学校への進学希望別（問18、14ページ）



※地域で指定された区立小学校＜中学校＞＝
 ＜高等学校＞＝2.0%

※区外の区立小学校、私立小学校、国立・都立等の小学校は基数が少ないため参考として図示している。

(8) 隣接校選択制の評価

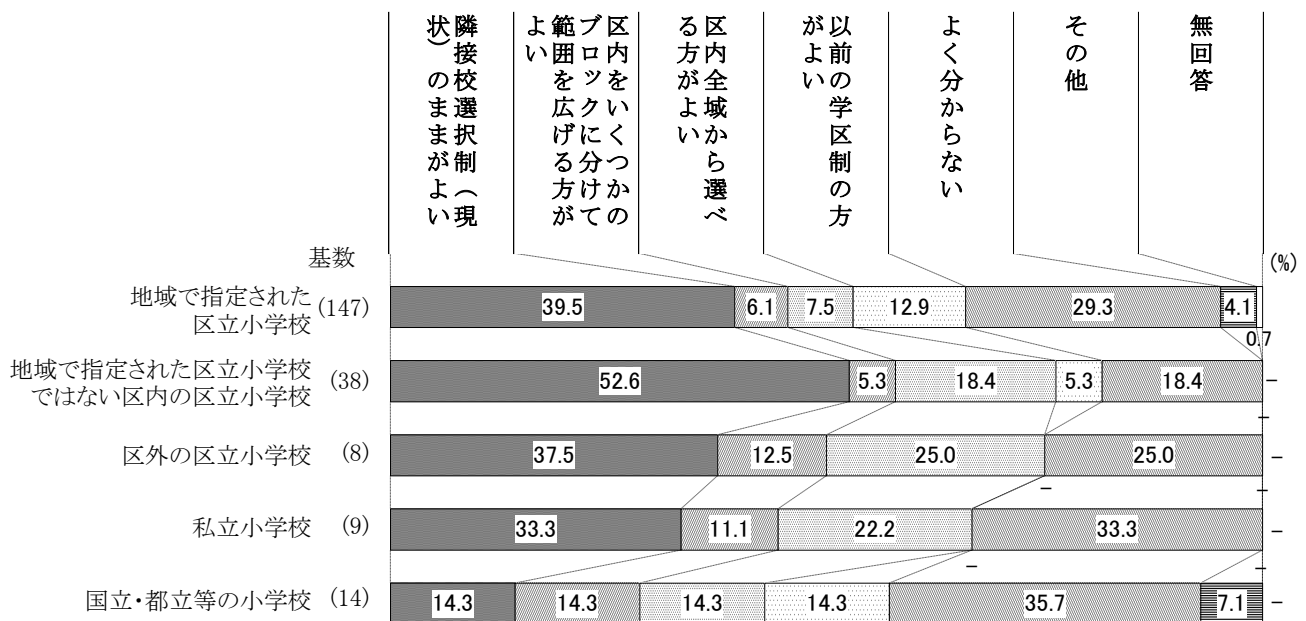
問23. 豊島区では平成13年度から、学校教育の活性化や児童・生徒・保護者の意向を尊重するため、指定校と指定校に隣接する学校を選択できる「隣接校選択制」を導入し、小学校で20%程度、中学校で15%程度の方が利用しています。

あなたは、小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

小学校への進学希望別でみると、基数の少ない進学が多いことから、地域で指定された区立小学校を希望する人と、地域で指定された区立小学校ではない区内の区立小学校を希望する人に限定して述べる。

結果としては、「隣接校選択制（現状）のままがよい」は、地域で指定された区立小学校ではない区内の区立小学校を希望する人で52.6%と高くなっている。（図表7-9）

＜図表7-9＞隣接校選択制の評価／小学校への進学希望別（問18、14ページ）



※区外の区立小学校、私立小学校、国立・都立等の小学校は基数が少ないため参考として図示している。

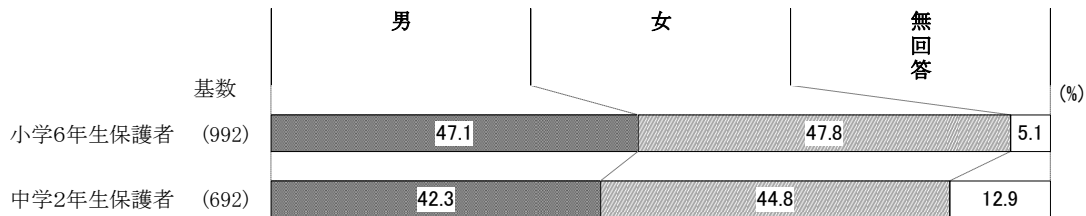
第3部 区立小・中学校保護者調査結果

第3部 区立小・中学校保護者調査結果

1 児童・生徒と保護者

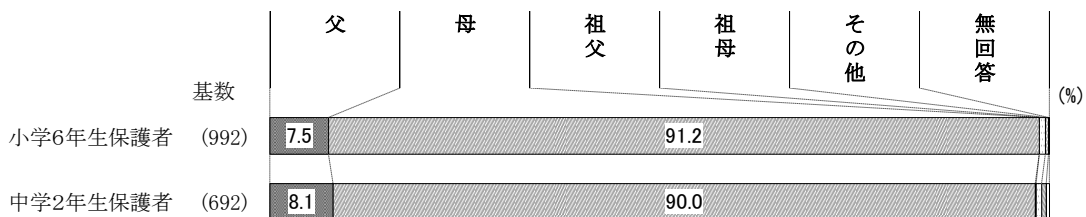
(1) 児童・生徒の性別

＜図表1-1＞性別



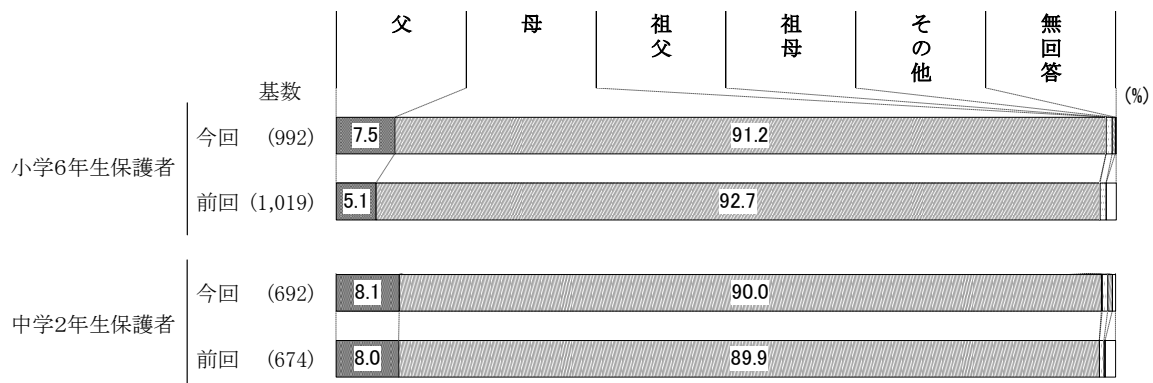
(2) 調査票の回答者

＜図表1-2＞調査票の回答者



※小学6年生保護者<祖父>=- 中学2年生保護者<祖父>=0.1%
 <祖母>=0.8% <祖母>=0.7%
 <その他>=0.4% <その他>=0.6%
 <無回答>=0.1% <無回答>=0.4%

＜図表1-3＞調査票の回答者（前回との比較）



※小学6年生保護者（今回）<祖父>=- （前回）<祖父>=0.1%
 <祖母>=0.8% <祖母>=0.8%
 <その他>=0.4% <その他>=-
 <無回答>=0.1% <無回答>=1.3%
 中学2年生保護者（今回）<祖父>=0.1% （前回）<祖父>=-
 <祖母>=0.7% <祖母>=0.6%
 <その他>=0.6% <その他>=0.1%
 <無回答>=0.4% <無回答>=1.3%

2 学校外での生活

(1) 朝食をとる割合

[小学6年生：問2、中学2年生：問2]

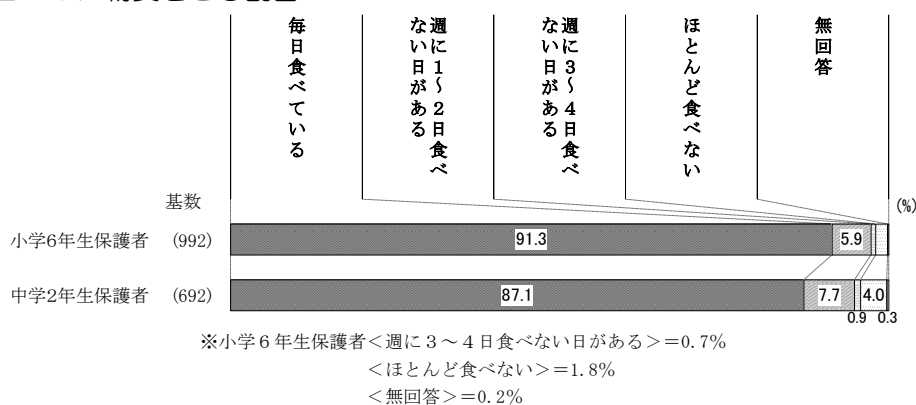
問 お子様は、毎日朝食を食べていますか。

小学6年生の朝食をとる割合は、「毎日食べている」が91.3%で最も高く、次いで「週に1～2日食べない日がある」が5.9%、「週に3～4日食べない日がある」が0.7%などとなっている。

中学2年生の朝食をとる割合は、「毎日食べている」が87.1%で最も高く、次いで「週に1～2日食べない日がある」が7.7%、「週に3～4日食べない日がある」が0.9%などである。

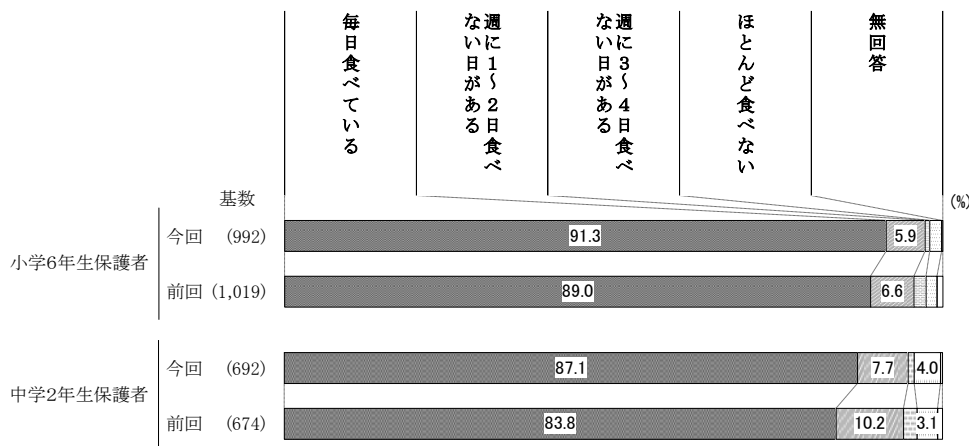
小学6年生と中学2年生を比べると、最も違いが大きいのは「毎日食べている」で、小学6年生の方が中学2年生よりも4.2ポイント高くなっている。(図表2-1)

<図表2-1>朝食をとる割合



前回と比較すると、中学2年生は「毎日食べている」(今回：87.1% 前回：83.8%)が3.3ポイント増加している。(図表2-2)

<図表2-2>朝食をとる割合(前回との比較)



※小学6年生保護者(今回) <週に3～4日食べない日がある>=0.7% (前回) <週に3～4日食べない日がある>=1.9%
 <ほとんど食べない>=1.8% <祖母>=1.7%
 <無回答>=0.2% <無回答>=0.9%
 中学2年生保護者(今回) <週に3～4日食べない日がある>=0.9% (前回) <週に3～4日食べない日がある>=2.1%
 <無回答>=0.3% <無回答>=0.7%

(2) 平均睡眠時間

[小学6年生：問3、中学2年生：問3]

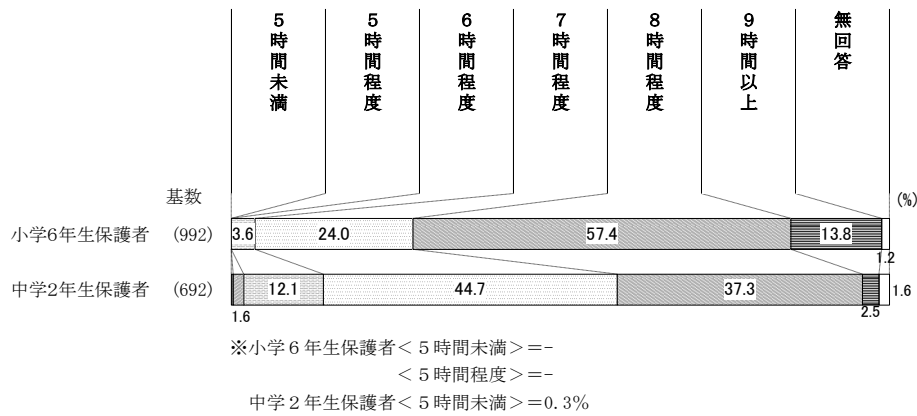
問 お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。

小学6年生の平均睡眠時間は、「8時間程度」が57.4%で最も高く、次いで「7時間程度」が24.0%、「9時間以上」が13.8%などとなっている。

中学2年生の平均睡眠時間は、「7時間程度」が44.7%で最も高く、次いで「8時間程度」が37.3%、「6時間程度」が12.1%などとなっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、中学2年生は小学6年生よりも「5時間程度」で8.5ポイント、「7時間程度」で20.7ポイント高くなっている。逆に、小学6年生は「8時間程度」で20.1ポイント、「9時間以上」で11.3ポイント高い。(図表2-3)

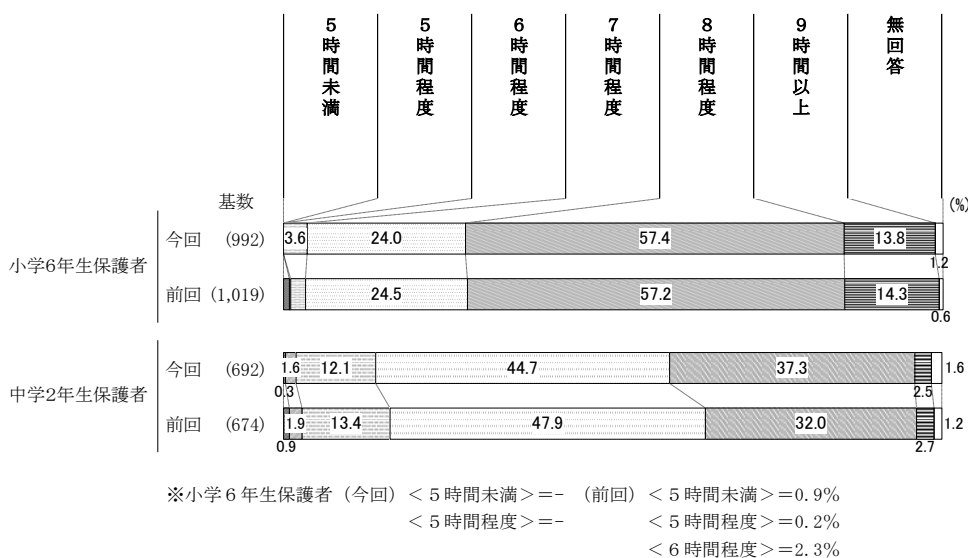
<図表2-3>平均睡眠時間



前回と比較すると、小学6年生では特に大きな違いはみられない。

一方、中学2年生では、「8時間程度」(今回：37.3% 前回：32.0%)が5.3ポイント増加し、「7時間程度」(今回：44.7% 前回：47.9%)が3.2ポイント減少している。(図表2-4)

<図表2-4>平均睡眠時間(前回との比較)



(3) 塾・習い事の状況

[小学6年生：問4、中学2年生：問4]

問 お子様は週何回、何時間程度、塾や習い事などに通っていますか。

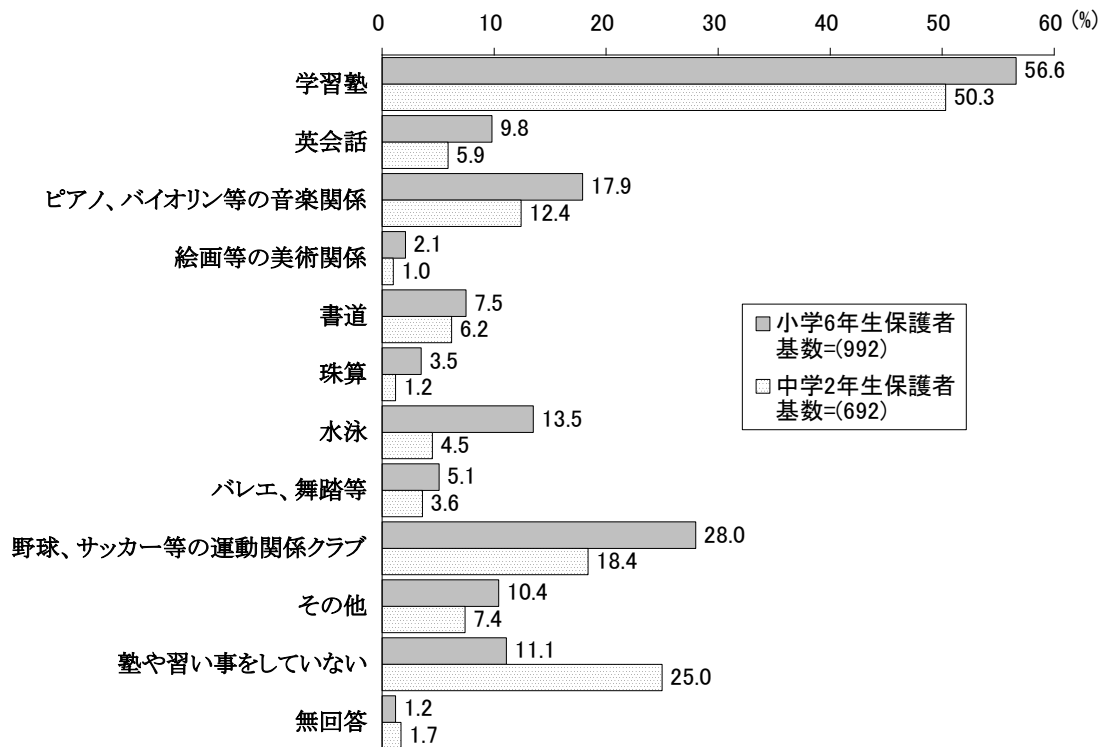
該当するもの全てを選んでください。①～⑩は、週の のべ回数 及び のべ時間も記入してください

小学6年生の塾・習い事の状況は、「学習塾」が56.6%で最も高く、次いで「野球、サッカー等の運動関係クラブ」が28.0%、「ピアノ、バイオリン等の音楽関係」が17.9%、「水泳」が13.5%などとなっている。一方、「塾や習い事をしていない」が11.1%である。

中学2年生の塾・習い事の状況は、「学習塾」が50.3%で最も高く、次いで「野球、サッカー等の運動関係クラブ」が18.4%、「ピアノ、バイオリン等の音楽関係」が12.4%などとなっている。一方、「塾や習い事をしていない」は25.0%である。

小学6年生と中学2年生を比べると、小学6年生は中学2年生よりも、「野球、サッカー等の運動関係クラブ」で9.6ポイント、「水泳」で9.0ポイント、「ピアノ、バイオリン等の音楽関係」で5.5ポイント高くなっている。逆に、中学2年生は「塾や習い事をしていない」で13.9ポイント高い。(図表2-5)

<図表2-5> 塾・習い事の状況



塾・習い事の状況では、一週あたりの延べ回数及び延べ時間をたずねている。それらの平均を算出してみたところ、小学6年生では、「学習塾」が最も回数が多く平均3.0回となっており、平均延べ時間は7.8時間となっている。

一方、中学2年生では、「珠算」が最も多く平均3.3回となっているが、平均延べ時間は、「野球、サッカー等の運動関係クラブ」が5.6時間と最も長くなっている。(図表2-6)

＜図表2-6＞塾・習い事の状況（一週あたりの平均延べ回数、一週あたりの平均延べ時間）

	小学6年生				中学2年生			
	基数	平均延べ回数	基数	平均延べ時間	基数	平均延べ回数	基数	平均延べ時間
学習塾	560	3.0	557	7.8	341	2.4	340	3.8
英会話	97	1.2	97	1.3	41	1.1	41	1.5
ピアノ、バイオリン等の音楽関係	177	1.1	175	1.0	86	1.2	86	1.0
絵画等の美術関係	21	1.0	21	1.4	7	1.0	7	2.2
書道	74	1.1	74	1.4	43	1.2	43	1.7
珠算	35	2.7	35	3.0	7	3.3	7	2.6
水泳	133	1.4	133	1.7	30	2.2	31	4.5
バレエ、舞踏等	51	1.9	51	3.7	25	1.8	25	3.2
野球、サッカー等の運動関係クラブ	277	2.0	276	4.8	127	2.1	124	5.6
その他	101	1.4	101	2.7	48	1.6	48	2.6

※一週あたりの回数に回答していても、時間に回答していないこともあるため、基数は必ずしも一致しない。

前回と比較すると、小学6年生では特に大きな違いはみられない。

一方、中学2年生では、「塾や習い事をしていない」(今回：25.0% 前回：21.4%)が3.6ポイント増加している。(図表2-7)

＜図表2-7＞塾・習い事の状況（前回との比較）

単位：%

		基数	学習塾	英会話	ピアノ、バイオリン等の音楽関係	絵画等の美術関係	書道	珠算	水泳	バレエ、舞踏等	野球、サッカー等の運動関係クラブ	その他	塾や習い事をしていない	無回答
小学6年生	今回	992	56.6	9.8	17.9	2.1	7.5	3.5	13.5	5.1	28.0	10.4	11.1	1.2
保護者	前回	1,019	56.2	12.2	18.4	1.8	9.1	4.1	13.4	3.9	30.3	9.4	11.6	1.3
中学2年生	今回	692	50.3	5.9	12.4	1.0	6.2	1.2	4.5	3.6	18.4	7.4	25.0	1.7
保護者	前回	674	50.7	6.1	12.8	1.8	5.2	0.6	2.4	2.7	17.7	8.3	21.4	3.4

(4) 学習塾に通わせる主な目的

[小学6年生：問4-1、中学2年生：問4-1]

問 お子様在学习塾に通っていると回答された方（問4で①を選択された方）にお聞きします。お子様を学习塾に通わせる目的は主にどのような理由ですか。

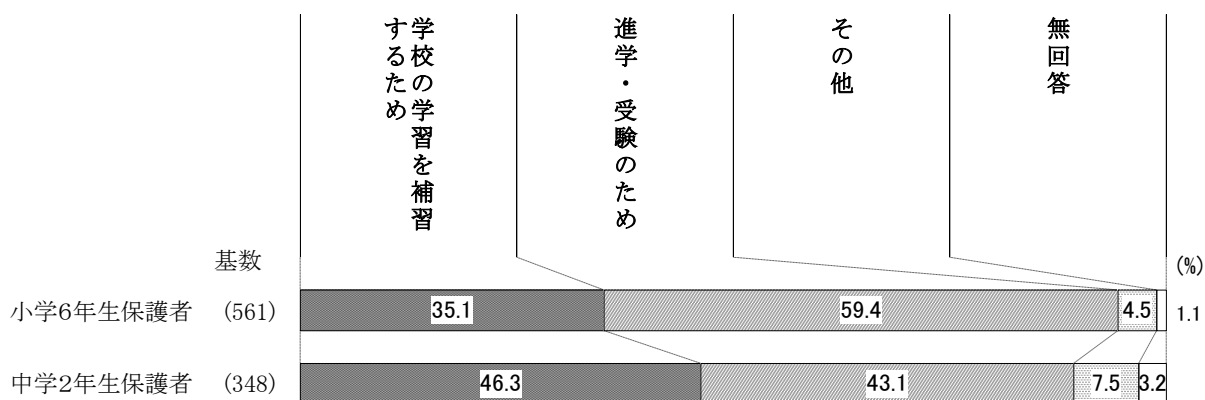
前問で、学习塾に通っていると回答した方に、その主な目的をたずねた。

小学6年生の学习塾に通わせる主な目的としては、「進学・受験のため」が59.4%で最も高く、次いで「学校の学习を補習するため」が35.1%となっている。

中学2年生の学习塾に通わせる主な目的としては、「学校の学习を補習するため」が46.3%で最も高く、次いで「進学・受験のため」が43.1%となっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、「学校の学习を補習するため」は中学2年生の方が小学6年生よりも11.2ポイント高くなっている。逆に、「進学・受験のため」は小学6年生の方が16.3ポイント高い。(図表2-8)

<図表2-8>学习塾に通わせる主な目的



(5) 平日の家庭での勉強時間

[小学6年生：問5、中学2年生：問5]

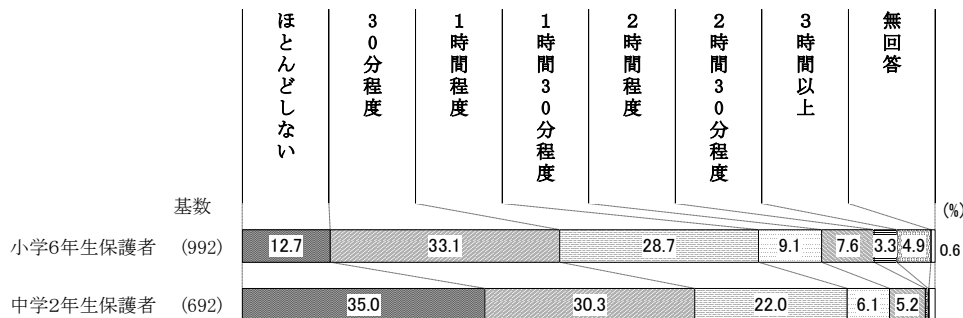
問 お子様は平日、学校の授業以外に1日平均どれくらい勉強しますか。塾や習い事の時間は除きます。

小学6年生の平日の家庭での勉強時間は、「30分程度」が33.1%で最も高く、次いで「1時間程度」が28.7%となっている。一方、「ほとんどしない」が12.7%である。

中学2年生の平日の家庭での勉強時間は、「30分程度」が30.3%、「1時間程度」が22.0%となっているが、「ほとんどしない」が35.0%で最も高い。

小学6年生と中学2年生を比べると、「ほとんどしない」は、中学2年生の方が小学6年生よりも22.3ポイント高くなっている。勉強している各時間では、小学6年生の方が高くなっており、特に、「1時間程度」で6.7ポイント、「3時間以上」で4.8ポイントの違いがみられる。(図表2-9)

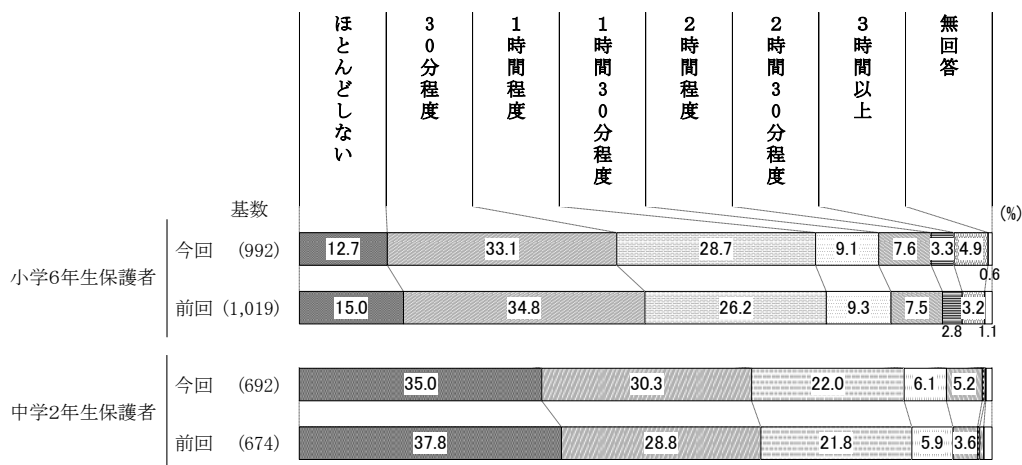
<図表2-9>平日の家庭での勉強時間



※中学2年生保護者 <2時間30分程度>=0.4%
 <3時間以上>=0.1%
 <無回答>=0.9%

前回と比較すると、小学6年生と中学2年生ともに、特に大きな違いはみられない。(図表2-10)

<図表2-10>平日の家庭での勉強時間(前回との比較)



※中学2年生保護者(今回) <2時間30分程度>=0.4% (前回) <2時間30分程度>=0.3%
 <3時間以上>=0.1% <3時間以上>=0.6%
 <無回答>=0.9% <無回答>=1.2%

(6) 運動の状況

[小学6年生：問6、中学2年生：問6]

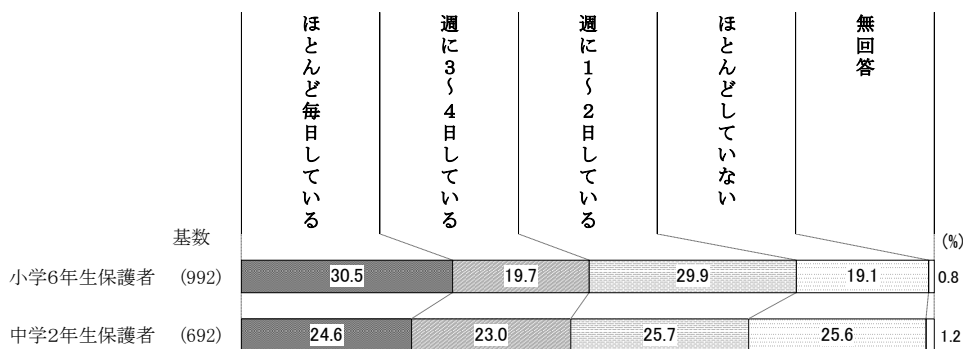
問 お子様は外で遊んだり運動したりしていますか。ただし、学校の体育の時間は除きます。

小学6年生の運動の状況は、「ほとんど毎日している」が30.5%で最も高く、次いで「週に1～2日している」が29.9%、「週に3～4日している」が19.7%となっている。これらを合わせると、《外遊びや運動をしている》は80.1%である。一方、「ほとんどしていない」は19.1%となっている。

中学2年生の運動の状況は、「週に1～2日している」が25.7%で最も高く、次いで「ほとんど毎日している」が24.6%、「週に3～4日している」が23.0%となっている。これらを合わせると、《外遊びや運動をしている》は73.3%である。一方、「ほとんどしていない」は25.6%となっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、《外遊びや運動をしている》は、小学6年生の方が中学2年生よりも6.8ポイント高くなっている。逆に、「ほとんどしていない」は、中学2年生の方が6.5ポイント高い。(図表2-11)

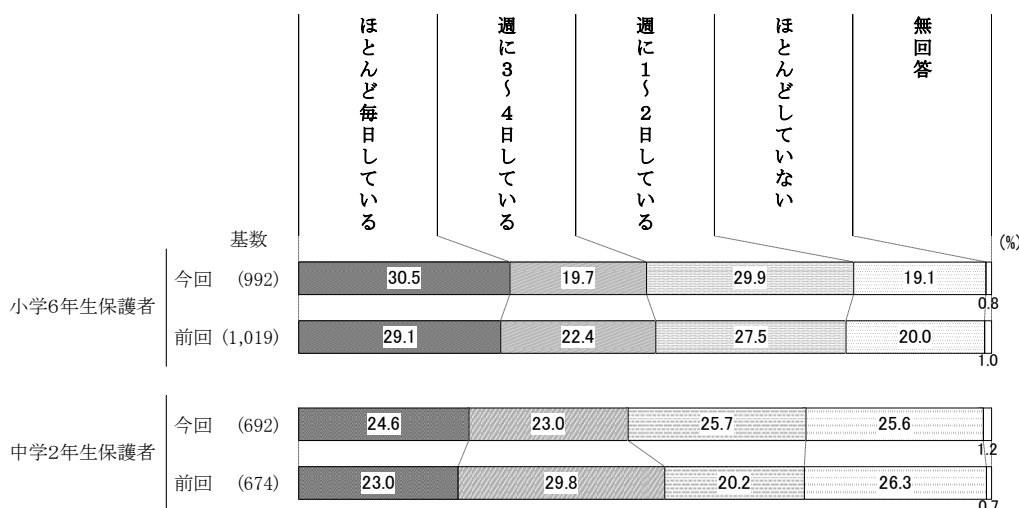
<図表2-11>運動の状況



前回と比較すると、小学6年生では、特に大きな違いはみられない。

一方、中学2年生では、「週に3～4日している」が6.8ポイント減少し、「週に1～2日している」が5.5ポイント増加している。(図表2-12)

<図表2-12>運動の状況(前回との比較)



3 保護者が考える進路

(1) 保護者が考える進学的目標

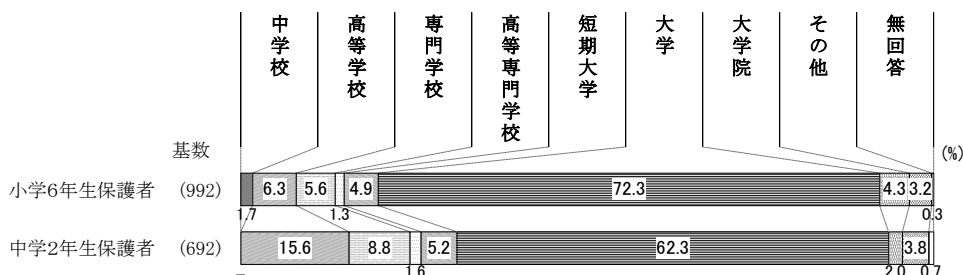
[小学6年生：問7、中学2年生：問7]

問 あなたは、お子様の進学についてどのように考えていますか。最終的な進学希望先についてお聞かせください。

小学6年生の保護者が考える進学的目標としては、「大学」が72.3%で最も高くなっている。
 中学2年生の保護者が考える進学的目標としては、「大学」が62.3%で最も高くなっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、「大学」は、小学6年生の方が中学2年生よりも10.0ポイント高くなっている。逆に、「高等学校」は、中学2年生の方が9.3ポイント高い。(図表3-1)

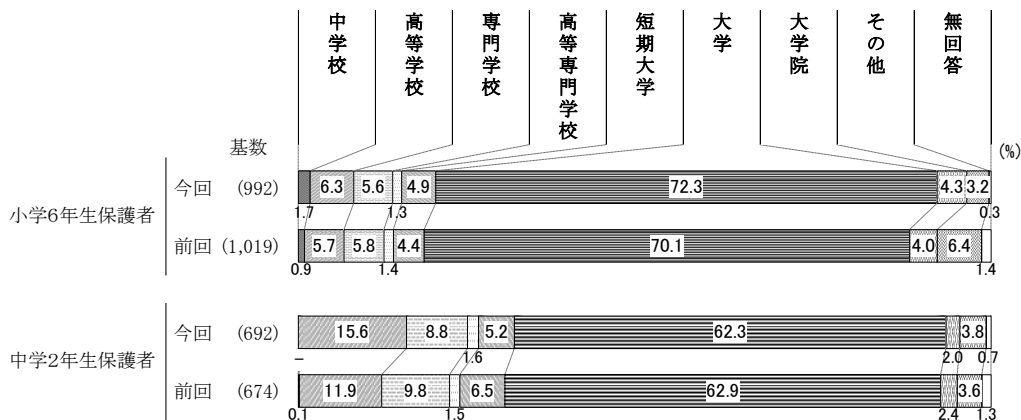
<図表3-1>保護者が考える進学的目標



前回と比較すると、小学6年生では、特に大きな違いはみられない。

一方、中学2年生では、「高等学校」(今回：15.6% 前回：11.9%)が3.7ポイント増加している。(図表3-2)

<図表3-2>保護者が考える進学的目標 (前回との比較)



4 学校について

(1) 入学させた理由

[小学6年生：問8、中学2年生：問8]

問 現在、お子様が通学している小学校に入学させた理由をお聞かせください。(選択は3つまで)

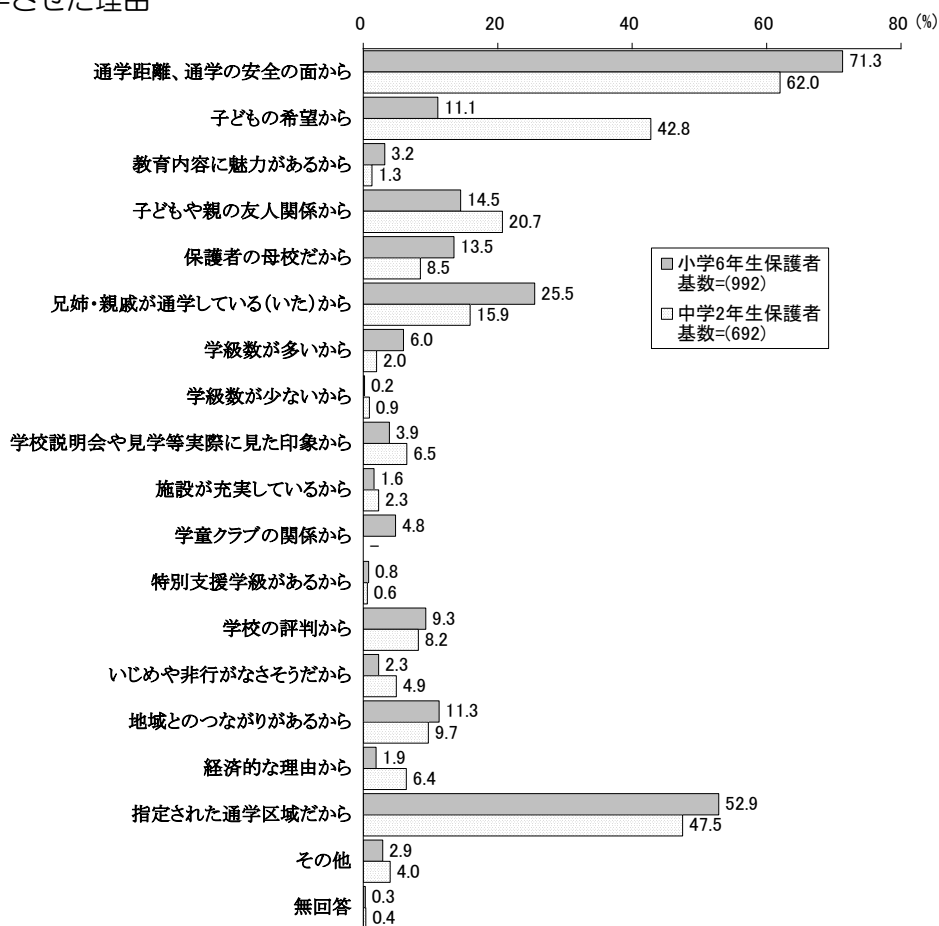
問 現在、お子様が通学している中学校に入学させた理由をお聞かせください。(選択は3つまで)

小学6年生の通学している小学校に入学させた理由としては、「通学距離、通学の安全の面から」が71.3%で最も高く、次いで「指定された通学区域だから」が52.9%、「兄弟・親戚が通学している(いた)から」が25.5%などとなっている。

中学2年生の通学している中学校に入学させた理由としては、「通学距離、通学の安全の面から」が62.0%で最も高く、次いで「指定された通学区域だから」が47.5%、「子どもの希望から」が42.8%などとなっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、特に小学6年生の方が中学2年生よりも高いのは、「兄弟・親戚が通学している(いた)から」で9.6ポイント、「通学距離、通学の安全の面から」で9.3ポイント差などとなっている。逆に、中学2年生は、「子どもの希望から」で31.7ポイント高い。(図表4-1)

<図表4-1>入学させた理由



選択肢数が異なるため参考ではあるが、前回と比較すると、小学6年生では、「通学距離、通学の安全の面から」が10.8ポイント、「兄弟・親戚が通学している（いた）から」が7.1ポイント増加している。

一方、中学2年生では、「子どもの希望から」が10.2ポイント、「通学距離、通学の安全の面から」と「兄弟・親戚が通学している（いた）から」が5.5ポイント増加している。逆に、「学童クラブの関係から」は7.1ポイント減少している。（図表4-2）

＜図表4-2＞入学させた理由（前回との比較）

単位：%

		基数	通学距離、通学の安全の面から	子どもの希望から	教育内容に魅力があるから	子どもや親の友人関係から	保護者の母校だから	兄弟・親戚が通学している（いた）から	学級数が多いから	学級数が少ないから	学校説明会や見学等実際に見た印象から	施設が充実しているから	学童クラブの関係から	特別支援学級があるから	学校の評判から	いじめや非行がなさそうだから	地域とのつながりがあるから	経済的な理由から	指定された通学区域だから	その他	無回答
			基数																		
小学6年生 保護者	今回	992	71.3	11.1	3.2	14.5	13.5	25.5	6.0	0.2	3.9	1.6	4.8	0.8	9.3	2.3	11.3	1.9	52.9	2.9	0.3
	前回	1,019	60.5	7.9	1.9	13.6	12.6	18.4	2.7	0.7	2.9	1.4	2.7	※	10.2	2.3	11.9	1.5	54.7	2.7	0.9
中学2年生 保護者	今回	692	62.0	42.8	1.3	20.7	8.5	15.9	2.0	0.9	6.5	2.3	-	0.6	8.2	4.9	9.7	6.4	47.5	4.0	0.4
	前回	674	56.5	32.6	1.2	18.0	6.7	10.4	3.3	0.6	4.0	2.5	-	※	7.7	4.5	10.8	5.9	46.6	9.8	0.6

※図表4-2の「特別支援学級があるから」は、今回新たに追加した。

(2) 学校の満足度

[小学6年生：問9、中学2年生：問9]

問 あなたは、現在お子様が通学している小学校に満足していますか。

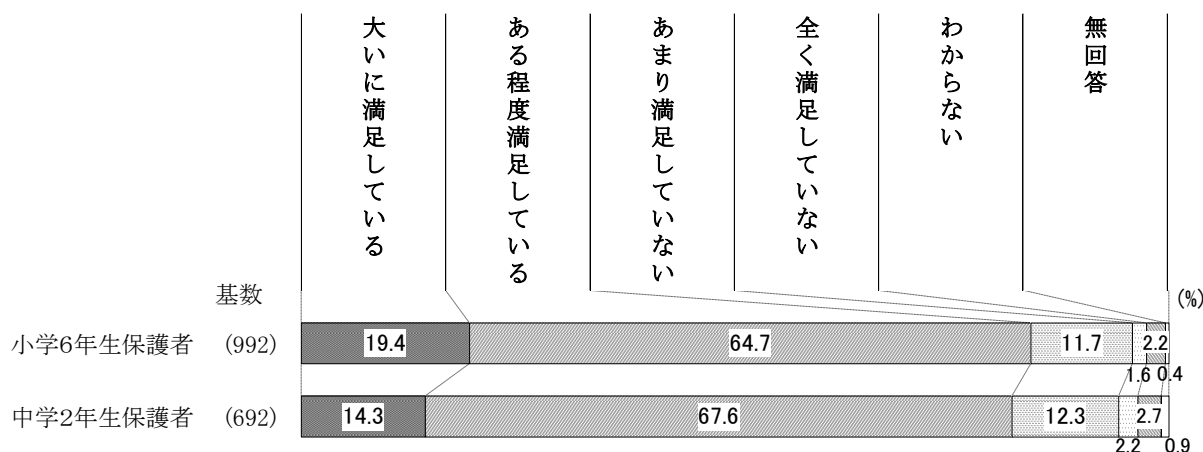
問 あなたは、現在お子様が通学している中学校に満足していますか。

小学6年生の学校の満足度は、「大いに満足している」が19.4%で、「ある程度満足している」が64.7%と最も高くなっている。これらを合わせると、「満足している」は84.1%である。一方、「あまり満足していない」が11.7%、「全く満足していない」が1.6%で、これらを合わせた《満足していない》は13.3%となっている。

中学2年生の学校の満足度は、「大いに満足している」が14.3%で、「ある程度満足している」が67.6%と最も高くなっている。これらを合わせると、「満足している」は81.9%である。一方、「あまり満足していない」が12.3%、「全く満足していない」が2.2%で、これらを合わせた《満足していない》は14.5%となっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、「大いに満足している」は、小学6年生の方が中学2年生よりも5.1ポイント高くなっている。なお、「満足している」としてみた場合の特に大きな違いはみられない。(図表4-3)

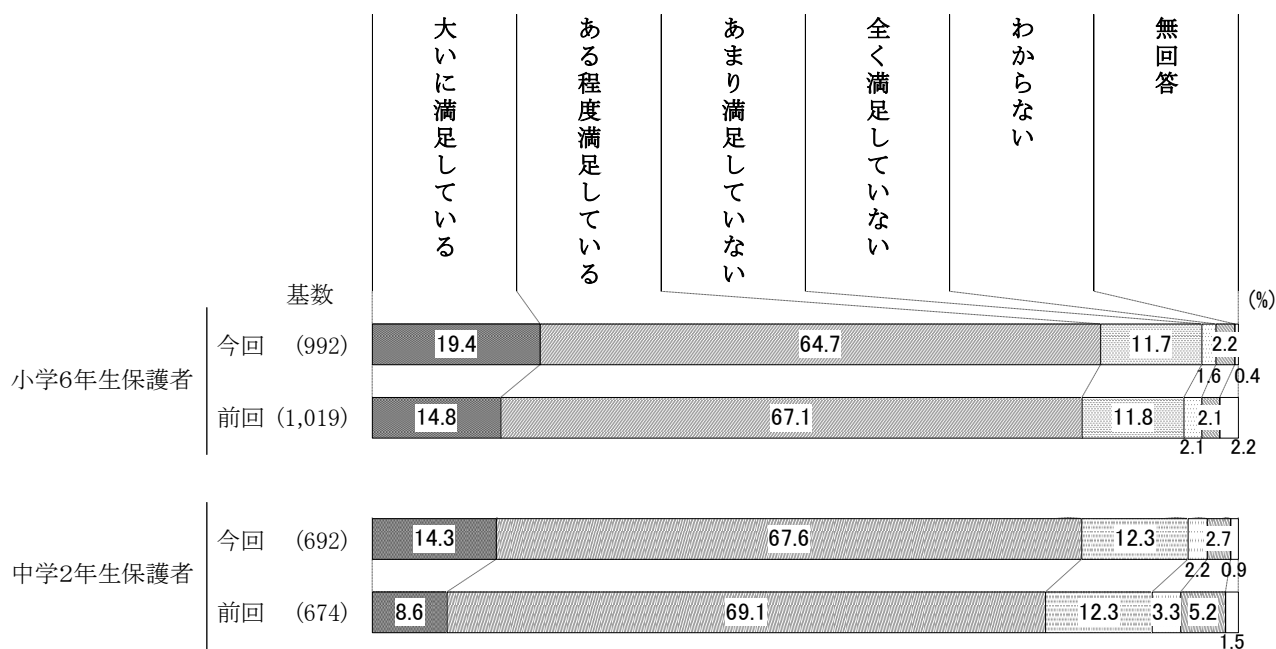
<図表4-3>学校の満足度



前回と比較すると、小学6年生では、「大いに満足している」（今回：19.4% 前回：14.8%）が4.6ポイント増加している。

一方、中学2年生では、「大いに満足している」（今回：14.3% 前回：8.6%）が5.7ポイント増加している。《満足している》（今回：81.9% 前回：77.7%）としてみた場合、今回は4.2ポイント増加している。（図表4-4）

＜図表4-4＞学校の満足度（前回との比較）



(3) 学校生活での楽しみの内容

[小学6年生：問10、中学2年生：問10]

問 お子様が小学校生活で楽しみにしていることは何ですか。(選択は3つまで)

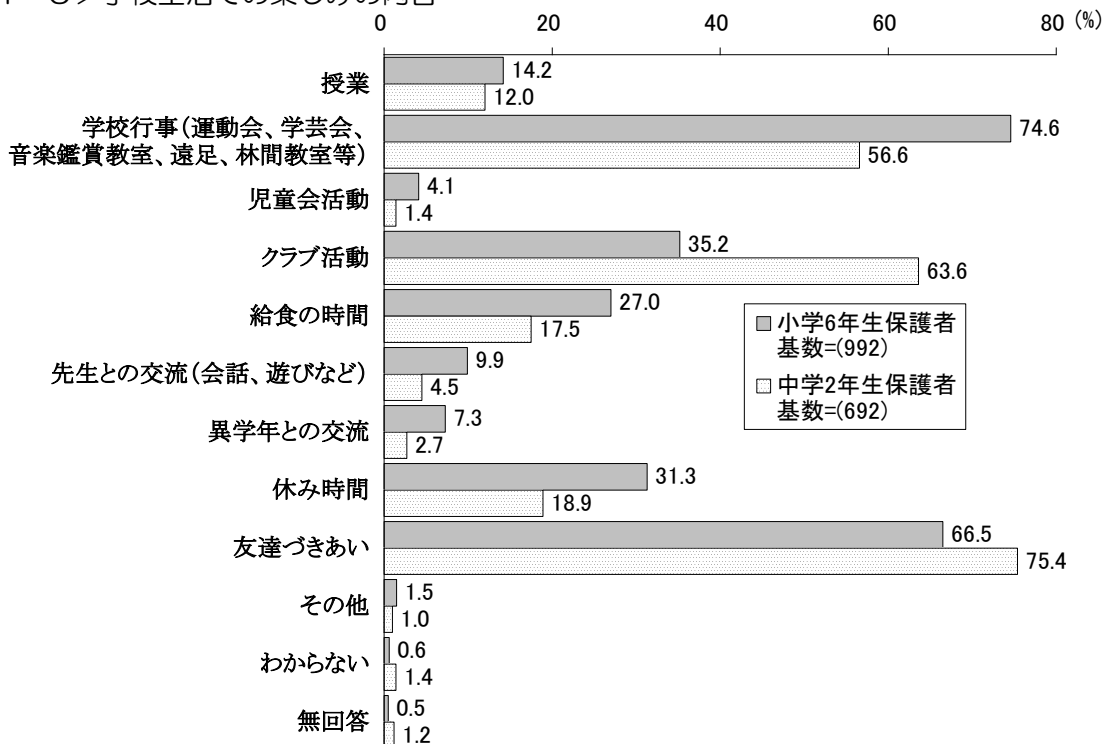
問 お子様が中学校生活で楽しみにしていることは何ですか。(選択は3つまで)

小学6年生の学校生活での楽しみの内容としては、「学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）」が74.6%で最も高く、次いで「友達づきあい」が66.5%、「クラブ活動」が35.2%、「休み時間」が31.3%などとなっている。

中学2年生の学校生活での楽しみの内容としては、「友達づきあい」が75.4%で最も高く、次いで「クラブ活動」が63.6%、「学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）」が56.6%などとなっている。

選択肢の文言が異なるため参考ではあるが、小学6年生と中学2年生を比べると、特に小学6年生の方が中学2年生よりも高いのは、「学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）」で18.0ポイント、「休み時間」で12.4ポイント、「給食の時間」で9.5ポイント差などとなっている。逆に、中学2年生は、「クラブ活動」で28.4ポイント、「友達づきあい」で8.9ポイント高い。(図表4-5)

<図表4-5>学校生活での楽しみの内容



※図表4-5の「学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）」は、中学2年生保護者調査では、「学校行事（運動会、学習発表会、合唱祭、移動教室、修学旅行等）」と聞いた。

※図表4-5の「児童会活動」は、中学2年生保護者調査では、「生徒会活動」と聞いた。

※図表4-5の「クラブ活動」は、中学2年生保護者調査では、「部活動」と聞いた。

前回と比較すると、小学6年生では、「学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）」（今回：74.6% 前回：56.6%）が18.0ポイント、「給食の時間」（今回：27.0% 前回：23.0%）で4.0ポイント増加し、「授業」（今回：14.2% 前回：18.9%）が4.7ポイント減少している。

一方、中学2年生では、「学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）」（今回：56.6% 前回：46.4%）が10.2ポイント、「友達づきあい」（今回：75.4% 前回：71.8%）が3.6ポイント増加している。（図表4-6）

＜図表4-6＞学校生活での楽しみの内容（前回との比較）

単位：%

		基数	授業	学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）	児童会活動	クラブ活動	給食の時間	先生との交流（会話、遊びなど）	異学年との交流	休み時間	友達づきあい	その他	わからない	無回答
小学6年生 保護者	今回	992	14.2	74.6	4.1	35.2	27.0	9.9	7.3	31.3	66.5	1.5	0.6	0.5
	前回	1,019	18.9	56.6	3.5	34.2	23.0	7.0	5.0	30.0	67.0	2.3	-	2.3
中学2年生 保護者	今回	692	12.0	56.6	1.4	63.6	17.5	4.5	2.7	18.9	75.4	1.0	1.4	1.2
	前回	674	11.9	46.4	1.6	63.5	14.8	4.6	1.5	18.0	71.8	1.3	4.3	1.5

※図表4-6の「学校行事（運動会、学芸会、音楽鑑賞教室、遠足、林間教室等）」は、中学2年生保護者調査では、「学校行事（運動会、学習発表会、合唱祭、移動教室、修学旅行等）」と聞いた。

※図表4-6の「児童会活動」は、中学2年生保護者調査では、「生徒会活動」と聞いた。

※図表4-6の「クラブ活動」は、中学2年生保護者調査では、「部活動」と聞いた。

(4) 学校生活での不安の内容

[小学6年生：問11、中学2年生：問11]

問 お子様が小学校生活で悩んだり不安に思っていることは何ですか。(選択は3つまで)

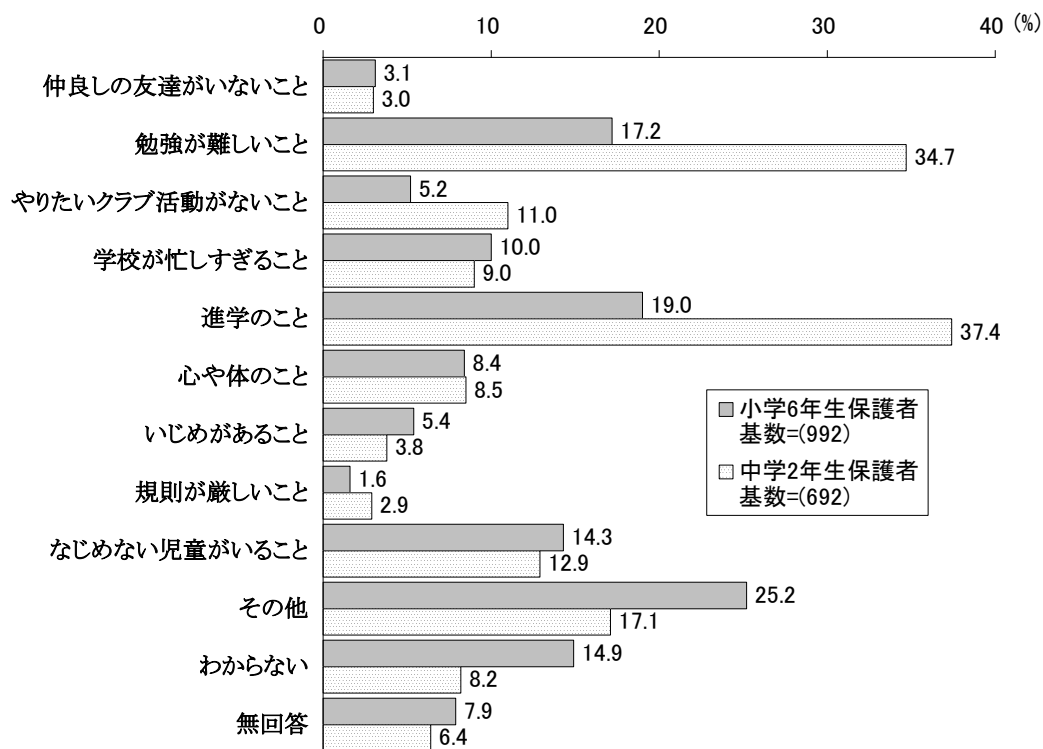
問 お子様が中学校生活で悩んだり不安に思っていることは何ですか。(選択は3つまで)

小学6年生の学校生活での不安の内容としては、「進学のこと」が19.0%で最も高く、次いで「勉強が難しいこと」が17.2%、「なじめない児童がいること」が14.3%などとなっている。

中学2年生の学校生活での不安の内容としては、「進学のこと」が37.4%で最も高く、次いで「勉強が難しいこと」が34.7%などとなっている。

選択肢の文言が異なるため参考ではあるが、小学6年生と中学2年生を比べると、多くは中学2年生の方が小学6年生よりも高く、中でも、「進学のこと」は18.4ポイント、「勉強が難しいこと」は17.5ポイント、「やりたいクラブ活動がないこと」は5.8ポイント差などとなっている。(図表4-7)

<図表4-7>学校生活での不安の内容



※図表4-7の「やりたいクラブ活動がないこと」は、中学2年生保護者調査では、「やりたい部活動がないこと」と聞いた。

※図表4-7の「なじめない児童がいること」は、中学2年生保護者調査では、「なじめない生徒がいること」と聞いた。

なお、小学6年生の「その他」が25.2%と高いが、その主な内容は、次のとおりである。

内容	件数
特にない	173
先生とのこと	27
友だち関係のこと	19

また、中学2年生の「その他」が17.1%と高いが、その主な内容は、次のとおりである。

内容	件数
特にない	68
先生とのこと	13
勉強や授業のこと	11
友だちや先輩関係のこと	10

前回と比較すると、小学6年生では、「進学のこと」（今回：19.0% 前回：15.1%）が3.9ポイント、「勉強が難しいこと」（今回：17.2% 前回：14.0%）が3.3ポイント増加している。逆に、「いじめがあること」（今回：5.4% 前回：8.6%）が3.2ポイント減少している。

一方、中学2年生では、「進学のこと」（今回：37.4% 前回：30.9%）が6.5ポイント増加し、「いじめがあること」（今回：3.8% 前回：8.0%）が4.2ポイント減少している。（図表4-8）

＜図表4-8＞学校生活での不安の内容（前回との比較）

		単位：%												
		基数	仲良しの友達がいないこと	勉強が難しいこと	やりたいクラブ活動がないこと	学校が忙しすぎる事	進学のこと	心や体のこと	いじめがあること	規則が厳しいこと	なじめない児童がいること	その他	わからない	無回答
小学6年生 保護者	今回	992	3.1	17.2	5.2	10.0	19.0	8.4	5.4	1.6	14.3	25.2	14.9	7.9
	前回	1,019	2.9	13.9	5.0	7.5	15.1	7.3	8.6	1.5	13.2	26.3	16.6	12.0
中学2年生 保護者	今回	692	3.0	34.7	11.0	9.0	37.4	8.5	3.8	2.9	12.9	17.1	8.2	6.4
	前回	674	3.4	35.8	9.1	8.2	30.9	7.1	8.0	4.9	12.2	13.5	13.5	8.3

※図表4-8の「やりたいクラブ活動がないこと」は、中学2年生保護者調査では、「やりたい部活動がないこと」と聞いた。

※図表4-8の「なじめない児童がいること」は、中学2年生保護者調査では、「なじめない生徒がいること」と聞いた。

(5) 区立学校への要望

[小学6年生：問12、中学2年生：問12]

問 あなたは、区立小学校に対してどのようなことを望みますか。(選択は3つまで)

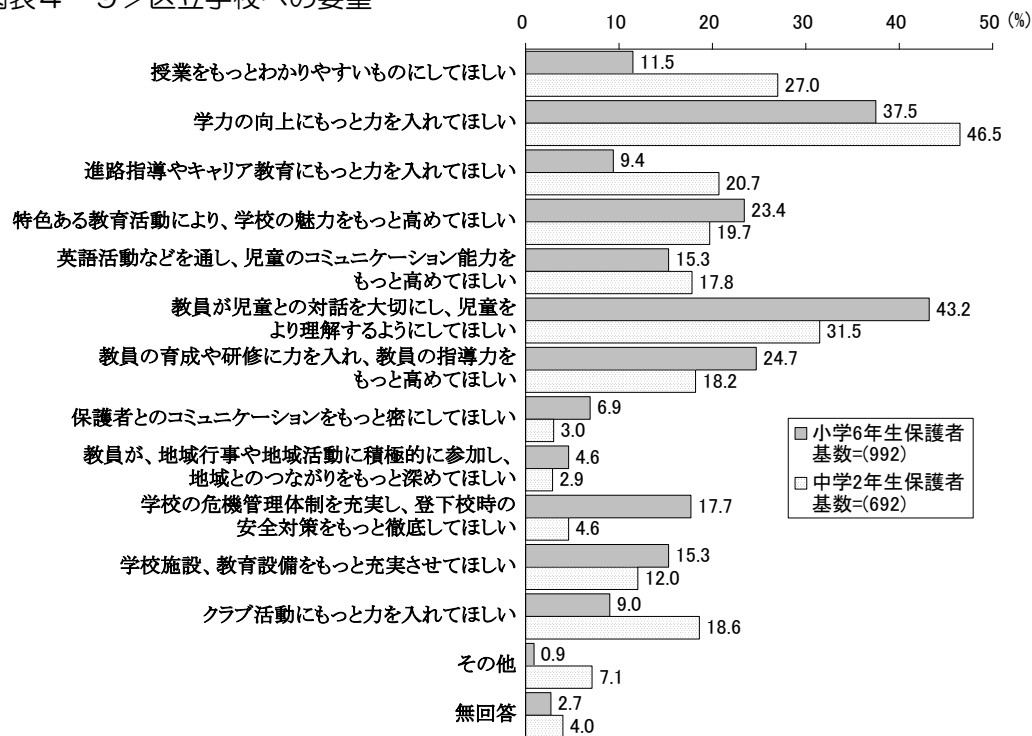
問 あなたは、区立中学校に対してどのようなことを望みますか。(選択は3つまで)

小学6年生の区立学校への要望としては、「教員が児童との対話を大切にし、児童をより理解するようにしてほしい」が43.2%で最も高く、次いで「学力の向上にもっと力を入れてほしい」が37.5%、「教員の育成や研修に力を入れ、教員の指導力をもっと高めてほしい」が24.7%、「特色ある教育活動により、学校の魅力をもっと高めてほしい」が23.4%などとなっている。

中学2年生の区立学校への要望としては、「学力の向上にもっと力を入れてほしい」が46.5%で最も高く、次いで「教員が児童との対話を大切にし、児童をより理解するようにしてほしい」が31.5%、「授業をもっとわかりやすいものにしてほしい」が27.0%などとなっている。

選択肢の文言が異なるため参考ではあるが、小学6年生と中学2年生を比べると、特に小学6年生の方が中学2年生よりも高いのは、「学校の危機管理体制を充実し登下校時の安全対策をもっと徹底してほしい」で13.1ポイント、「教員が児童との対話を大切にし、児童をより理解するようにしてほしい」で11.7ポイント、「教員の育成や研修に力を入れ、教員の指導力をもっと高めてほしい」で6.5ポイント差などとなっている。逆に、中学2年生の方が、「授業をもっとわかりやすいものにしてほしい」で15.5ポイント、「進路指導やキャリア教育にもっと力を入れてほしい」で11.3ポイント、「クラブ活動にもっと力を入れてほしい」で9.6ポイント、「学力の向上にもっと力を入れてほしい」で9.0ポイント高くなっている。(図表4-9)

<図表4-9>区立学校への要望



※図表4-9の「英語活動などを通し、児童のコミュニケーション能力をもっと高めてほしい」は、中学2年生保護者調査では、「生徒のコミュニケーション能力をもっと高めてほしい」と聞いた。

※図表4-9の「教員が児童との対話を大切にし、児童をより理解するようにしてほしい」は、中学2年生保護者調査では、「教員が生徒との対話を大切にし、生徒をより理解するようにしてほしい」と聞いた。

※図表4-9の「クラブ活動にもっと力を入れてほしい」は、中学2年生保護者調査では、「部活動にもっと力を入れてほしい」と聞いた。

前回と比較すると、小学6年生では、「保護者とのコミュニケーションをもっと密にしてほしい」（今回：6.9% 前回：3.5%）が3.4ポイント増加している。逆に、「教員の育成や研修に力を入れ、教員の指導力をもっと高めてほしい」（今回：24.7% 前回：32.4%）が7.7ポイント、「進路指導やキャリア教育にもっと力を入れてほしい」（今回：9.4% 前回：13.2%）が3.8ポイント減少している。

一方、中学2年生では、「学力の向上にもっと力を入れてほしい」（今回：46.5% 前回：38.3%）が8.2ポイント、「英語活動などを通し、児童のコミュニケーション能力をもっと高めてほしい」（今回：17.8% 前回：13.6%）が4.2ポイント増加している。逆に、「教員の育成や研修に力を入れ、教員の指導力をもっと高めてほしい」（今回：18.2% 前回：26.0%）が7.8ポイント減少している。（図表4-10）

<図表4-10>区立学校への要望（前回との比較）

単位：%

		基数	授業をもっとわかりやすいものにしてほしい	学力の向上にもっと力を入れてほしい	進路指導やキャリア教育にもっと力を入れてほしい	特色ある教育活動により、学校の魅力をもっと高めてほしい	英語活動などを通し、児童のコミュニケーション能力をもっと高めてほしい	教員が児童との対話を大切に、児童をより理解するようにしてほしい	教員の育成や研修に力を入れ、教員の指導力をもっと高めてほしい	保護者とのコミュニケーションをもっと密にしてほしい	教員が、地域とのつながりや地域活動に積極的に参加し、地域とのつながりをもっと深めてほしい	学校の危機管理体制を充実し、登下校時の安全対策をもっと徹底してほしい	学校施設、教育設備をもっと充実させてほしい	クラブ活動にもっと力を入れてほしい	その他	無回答
小学6年生保護者	今回	992	11.5	37.5	9.4	23.4	15.3	<u>43.2</u>	24.7	6.9	4.6	17.7	15.3	9.0	0.9	2.7
	前回	1,019	11.1	38.3	13.2	20.6	14.0	<u>42.1</u>	32.4	3.5	5.1	18.4	13.9	6.5	8.3	5.0
中学2年生保護者	今回	692	27.0	<u>46.5</u>	20.7	19.7	17.8	31.5	18.2	3.0	2.9	4.6	12.0	18.6	7.1	4.0
	前回	674	26.6	<u>38.3</u>	22.1	17.1	13.6	32.9	26.0	4.6	2.8	4.6	11.7	20.3	5.0	4.2

※図表4-10の「英語活動などを通し、児童のコミュニケーション能力をもっと高めてほしい」は、中学2年生保護者調査では、「生徒のコミュニケーション能力をもっと高めてほしい」と聞いた。

※図表4-10の「教員が児童との対話を大切に、児童をより理解するようにしてほしい」は、中学2年生保護者調査では、「教員が生徒との対話を大切に、生徒をより理解するようにしてほしい」と聞いた。

※図表4-10の「クラブ活動にもっと力を入れてほしい」は、中学2年生保護者調査では、「部活動にもっと力を入れてほしい」と聞いた。

(6) 学校教育で身につけさせたい能力、態度

[小学6年生：問13、中学2年生：問13]

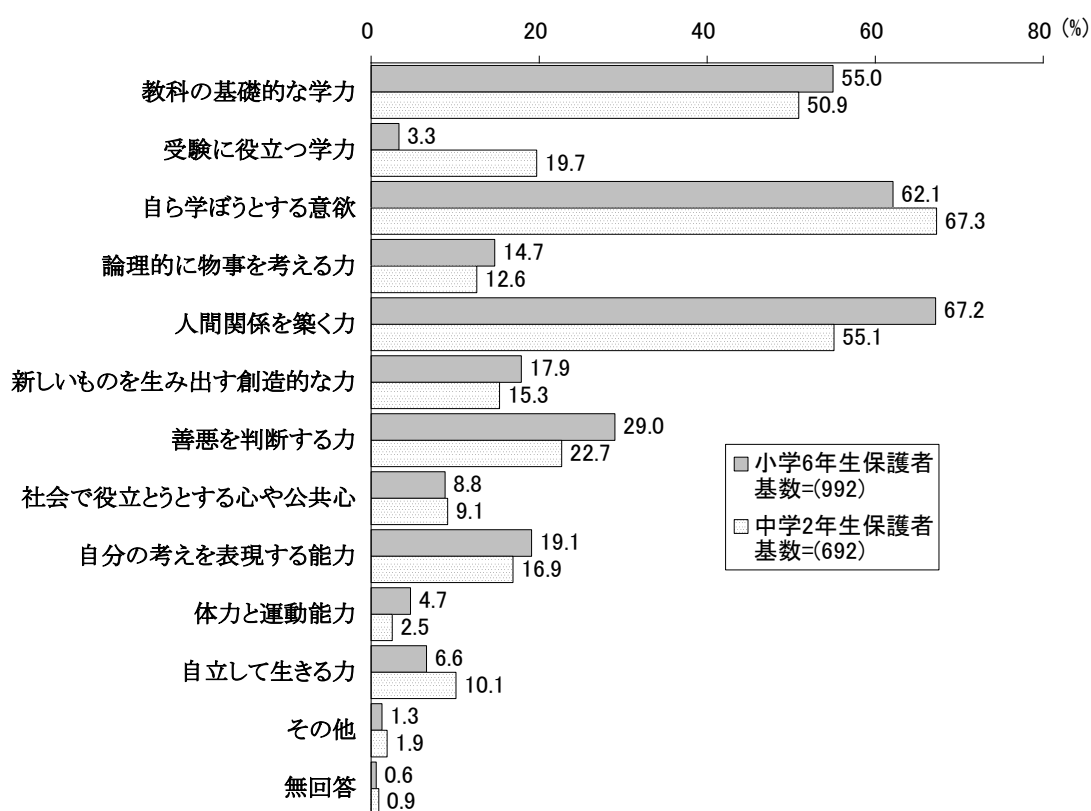
問 お子様が、どんな能力や態度を学校教育で身につけてほしいと思いますか。(選択は3つまで)

小学6年生の学校教育で身につけさせたい能力、態度としては、「人間関係を築く力」が67.2%で最も高く、次いで「自ら学ぼうとする意欲」が62.1%、「教科の基礎的な学力」が55.0%などとなっている。

中学2年生の学校教育で身につけさせたい能力、態度としては、「自ら学ぼうとする意欲」が67.3%で最も高く、次いで「人間関係を築く力」が55.1%、「教科の基礎的な学力」が50.9%などとなっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、小学6年生の方が中学2年生よりも、「人間関係を築く力」で12.1ポイント、「善悪を判断する力」で6.3ポイント、「教科の基礎的な学力」で4.1ポイント高くなっている。逆に、中学2年生の方が、「受験に役立つ学力」で16.4ポイント、「自ら学ぼうとする意欲」で5.2ポイント、「自立して生きる力」で3.5ポイント高い。(図表4-11)

＜図表4-11＞学校教育で身につけさせたい能力、態度



前回と比較すると、小学6年生では、特に大きく増加したものには、「自ら学ぼうとする意欲」（今回：62.1% 前回：38.0%）の24.1ポイント、「人間関係を築く力」（今回：67.2% 前回：53.8%）の13.4ポイント増加などがある。逆に、特に大きく減少したものには、「自分の考えを表現する能力」（今回：19.1% 前回：39.8%）の20.7ポイント、「社会で役立とうとする心や公共心」（今回：8.8% 前回：26.3%）の17.5ポイント減少などがある。

一方、中学2年生では、特に大きく増加したものには、「自ら学ぼうとする意欲」（今回：67.3% 前回：46.6%）の20.7ポイント、「新しいものを生み出す創造的な力」（今回：15.3% 前回：8.2%）の7.1ポイント増加などがある。逆に、特に大きく減少したものには、「自分の考えを表現する能力」（今回：16.9% 前回：35.3%）の18.4ポイント、「社会で役立とうとする心や公共心」（今回：9.1% 前回：26.0%）の16.9ポイント減少などがある。（図表4-12）

<図表4-12>学校教育で身につけさせたい能力、態度（前回との比較）

単位：%

		基数	教科の基礎的な学力	受験に役立つ学力	自ら学ぼうとする意欲	論理的に物事を考える力	人間関係を築く力	新しいものを生み出す創造的な力	善悪を判断する力	社会で役立とうとする心や公共心	自分の考えを表現する能力	体力と運動能力	自立して生きる力	その他	無回答
小学6年生 保護者	今回	992	55.0	3.3	62.1	14.7	67.2	17.9	29.0	8.8	19.1	4.7	6.6	1.3	0.6
	前回	1,019	54.6	3.3	38.0	9.3	53.8	10.2	23.9	26.3	39.8	9.3	9.2	1.2	2.6
中学2年生 保護者	今回	692	50.9	19.7	67.3	12.6	55.1	15.3	22.7	9.1	16.9	2.5	10.1	1.9	0.9
	前回	674	48.7	13.5	46.6	8.9	48.7	8.2	20.2	26.0	35.3	8.2	13.9	0.4	1.6

5 教育改革の方策について

(1) 隣接校選択制の評価

[小学6年生：問14、中学2年生：問14]

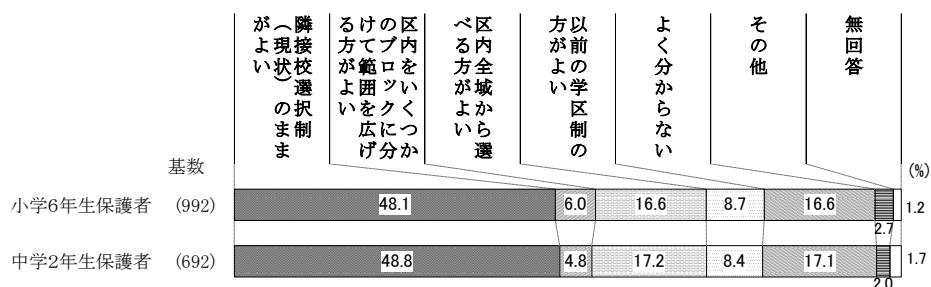
問 豊島区では平成13年度から、学校教育の活性化や児童・生徒・保護者の意向を尊重するため、指定校と指定校に隣接する学校を選択できる「隣接校選択制」を導入し、小学校で20%程度、中学校で15%程度の方が利用しています。
あなたは、小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

小学6年生の隣接校選択制の評価は、「隣接校選択制（現状）のままがよい」が48.1%で最も高く、次いで、「区内全域から選べる方がよい」が16.6%となっている。

中学2年生の隣接校選択制の評価は、「隣接校選択制（現状）のままがよい」が48.8%で最も高く、次いで「区内全域から選べる方がよい」が17.2%となっている。

小学6年生と中学2年生を比べたところ、特に大きな違いはみられない。（図表5-1）

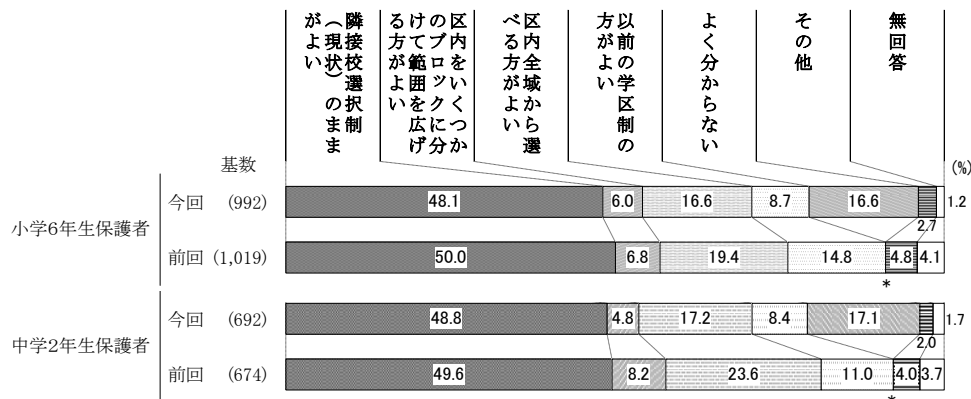
<図表5-1> 隣接校選択制の評価



選択肢数が異なるため参考ではあるが、前回と比較すると、小学6年生では、「以前の学区制の方がよい」（今回：8.7% 前回：14.8%）が6.1ポイント減少している。

一方、中学2年生では、「区内全域から選べる方がよい」（今回：17.2% 前回：23.6%）で6.4ポイント、「区内をいくつかのブロックに分けて範囲を広げる方がよい」（今回：4.8% 前回：8.2%）で3.4ポイント減少している。（図表5-2）

<図表5-2> 隣接校選択制の評価（前回との比較）



※図表5-2の「よく分からない」は、今回新たに追加した。

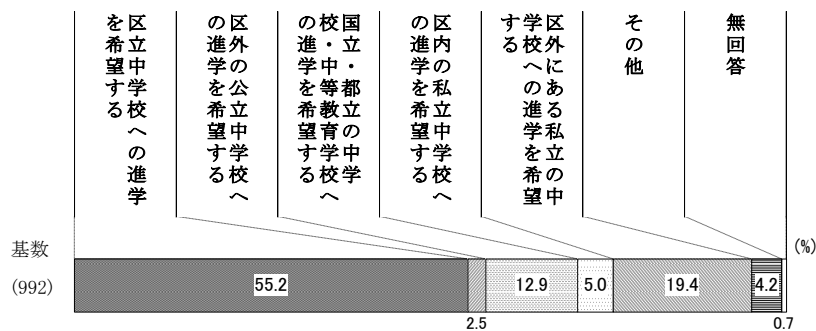
(2) 中学校への進学希望

[小学6年生：問15]

問 あなたは、次のどの中学校にお子様を進学させることを希望されていますか。

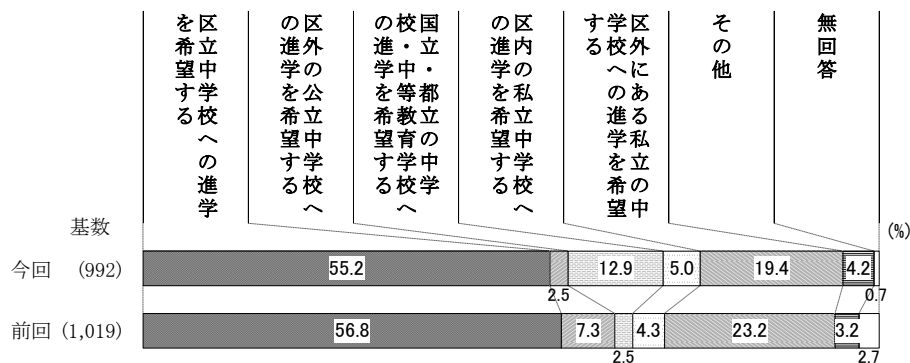
小学6年生の中学校への進学希望は、「区立中学校への進学を希望する」が55.2%で最も高く、次いで「区外にある私立の中学校への進学を希望する」が19.4%、「国立・都立の中学校・中等教育学校への進学を希望する」が12.9%などとなっている。(図表5-3)

＜図表5-3＞中学校への進学希望



選択肢の文言が異なるため参考ではあるが、前回と比較すると、「国立・都立の中学校・中等教育学校への進学を希望する」(今回：12.9% 前回：2.5%)が10.4ポイント増加している。逆に、「区外の公立中学校への進学を希望する」(今回：2.5% 前回：7.3%)が4.8ポイント、「区外にある私立の中学校への進学を希望する」(今回：19.4% 前回：23.2%)が3.8ポイント減少している。(図表5-4)

＜図表5-4＞中学校への進学希望（前回との比較）



※図表5-4の「国立・都立の中学校・中等教育学校への進学を希望する」は、前回は、「国立の中学校に進学させる」と聞いた。

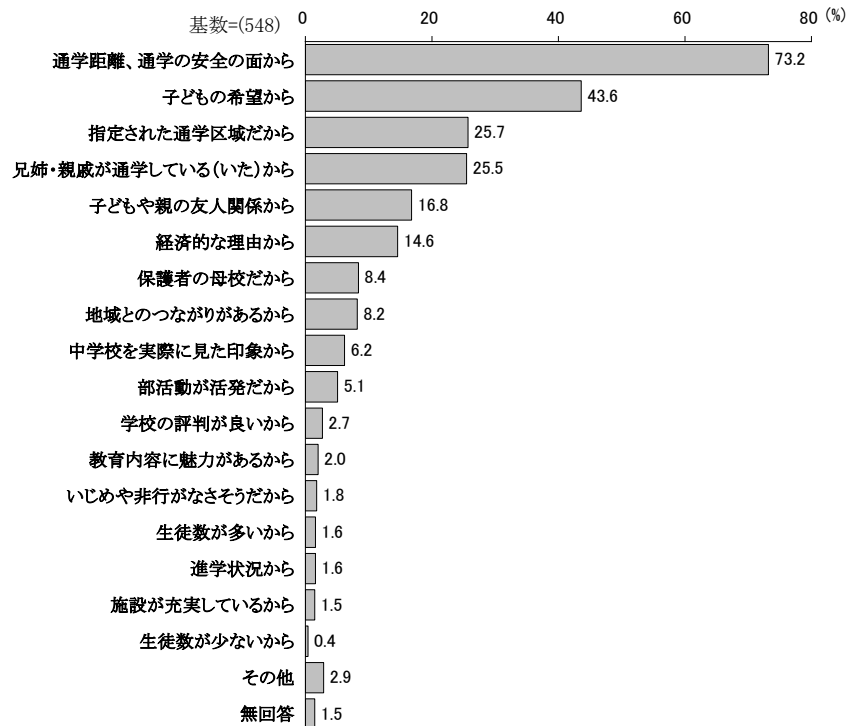
(3) 区立中学校を選んだ理由

[小学6年生：問15-1]

問 区立中学校への進学を希望する（問15①）を選んだ方にお聞きします。学校選択の理由をお聞かせください。（選択は3つまで）

前問で、区立中学校への進学を希望すると回答した方に、その理由をたずねたところ、「通学距離、通学の安全の面から」が73.2%で最も高くなっている。次いで「子どもの希望から」が43.6%、「指定された通学区域だから」が25.7%、「兄弟・親戚が通学している（いた）から」が25.5%などとなっている。（図表5-5）

＜図表5-5＞区立中学校を選んだ理由



前回と比較すると、特に大きく増加したのものには、「通学距離、通学の安全の面から」（今回：73.2% 前回：65.5%）の7.7ポイント、「兄弟・親戚が通学している（いた）から」（今回：25.5% 前回：19.2%）の6.3ポイント増加などがある。逆に、特に大きく減少したのものには、「学校の評判が良いから」（今回：2.7% 前回：9.5%）の6.8ポイント、「子どもや親の友人関係から」（今回：16.8% 前回：23.1%）の6.3ポイント減少などがある。（図表5-6）

＜図表5-6＞区立中学校を選んだ理由（前回との比較）

		基数	理由														その他	無回答			
			通学距離、通学の安全の面から	子どもの希望から	教育内容に魅力があるから	子どもや親の友人関係から	保護者の母校から	兄弟・親戚が通学している（いた）から	生徒数が多いから	生徒数が少ないから	中学校を実際に見た印象から	施設が充実しているから	部活動が活発だから	学校の評判が良いから	進学状況から	いじめや非行がなさそうだから			地域とのつながりがあるから	指定された通学区域だから	経済的な理由から
小学6年生保護者	今回	548	73.2	43.6	2.0	16.8	8.4	25.5	1.6	0.4	6.2	1.5	5.1	2.7	1.6	1.8	8.2	25.7	14.6	2.9	1.5
	前回	579	65.5	39.0	0.9	23.1	5.4	19.2	0.7	0.3	2.2	2.1	3.3	9.5	1.4	1.9	8.8	30.1	16.4	4.1	0.2

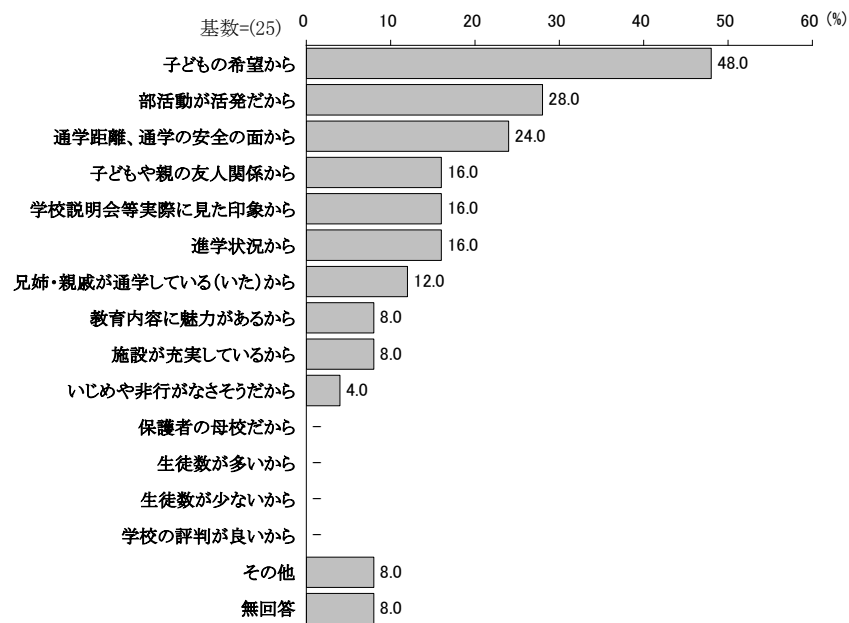
(4) 区外公立中学校を選んだ理由

[小学6年生：問15-2]

問 区外の公立中学校への進学を希望する（問15②）を選んだ方にお聞きします。学校選択の理由をお聞かせください。（選択は3つまで）

前問で、区外の公立中学校への進学を希望すると回答した方に、その理由をたずねた。基数が25人と少ないので参考ではあるが、「子どもの希望から」が48.0%で最も高く、次いで「部活動が活発だから」が28.0%、「通学距離、通学の安全の面から」が24.0%などとなっている。（図表5-7）

＜図表5-7＞区外公立中学校を選んだ理由



前回と比較すると、特に大きく増加したのものには、「部活動が活発だから」（今回：28.0% 前回：9.5%）の18.5ポイント、「子どもの希望から」（今回：48.0% 前回：33.8%）の14.2ポイント、「子どもや親の友人関係から」（今回：16.0% 前回：4.1%）の11.9ポイント増加などがある。逆に、特に大きく減少したのものには、「教育内容に魅力があるから」（今回：8.0% 前回：41.9%）の33.9ポイント、「学校の評判が良いから」（今回：0.0% 前回：31.1%）の31.1ポイント減少などがある。（図表5-8）

＜図表5-8＞区外公立中学校を選んだ理由（前回との比較）

	基数	理由																
		通学距離、通学の安全の面から	子どもの希望から	教育内容に魅力があるから	子どもや親の友人関係から	保護者の母校だから	兄弟・親戚が通学している(いた)から	生徒数が多いから	生徒数が少ないから	学校説明会等実際に見た印象から	施設が充実しているから	部活動が活発だから	学校の評判が良いから	進学状況から	いじめや非行がなさそうだから	その他	無回答	
小学6年生保護者	今回	25	24.0	48.0	8.0	16.0	-	12.0	-	-	16.0	8.0	28.0	-	16.0	4.0	8.0	8.0
	前回	74	14.9	33.8	41.9	4.1	1.4	4.1	1.4	-	24.3	6.8	9.5	31.1	18.9	4.1	16.2	-

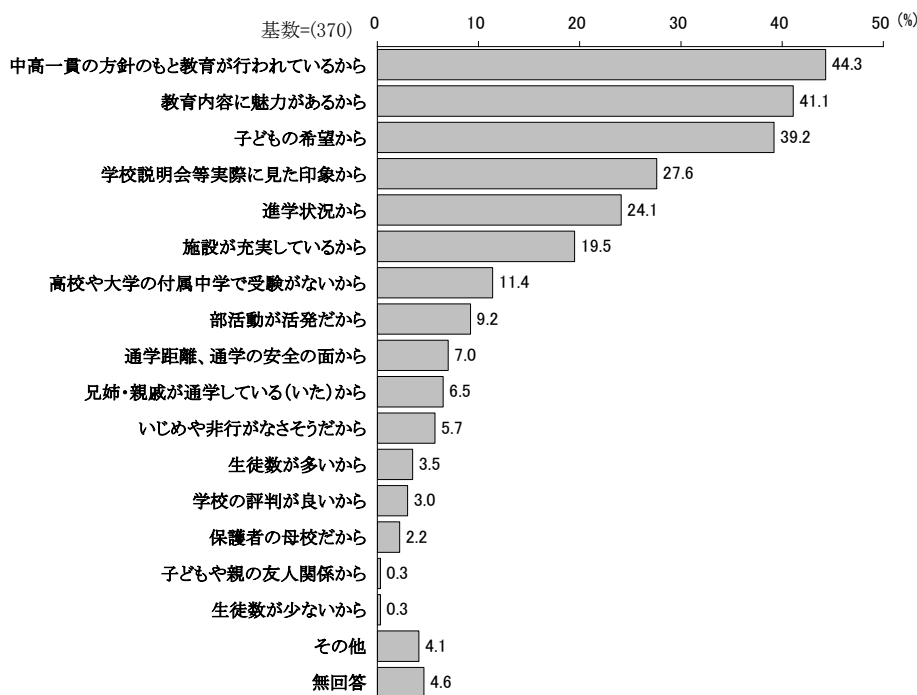
(5) 国立・都立・私立中学校を選んだ理由

[小学6年生：問15-3]

問 国立・都立・私立中学校のいずれかへの進学を希望する（問15③④⑤）を選んだ方にお聞きします。学校選択の理由をお聞かせください。（選択は3つまで）

前問で、国立・都立・私立中学校への進学を希望すると回答した方に、その理由をたずねたところ、「中高一貫の方針のもと教育が行われているから」が44.3%で最も高く、次いで「教育内容に魅力があるから」が41.1%、「子どもの希望から」が39.2%などとなっている。（図表5-9）

<図表5-9>国立・都立・私立中学校を選んだ理由



前回と比較すると、「学校説明会等実際に見た印象から」（今回：27.6% 前回：21.6%）が6.0ポイント、「施設が充実しているから」（今回：19.5% 前回：15.7%）が3.8ポイント増加している。逆に、「中高一貫の方針のもと教育が行われているから」（今回：44.3% 前回：57.0%）が12.7ポイント、「高校や大学の付属中学で受験がないから」（今回：11.4% 前回：19.7%）が8.3ポイント、「学校の評判が良いから」（今回：3.0% 前回：6.2%）が3.2ポイント減少している。（図表5-10）

<図表5-10>国立・都立・私立中学校を選んだ理由（前回との比較）

		単位：%																		
		基数	通学距離、通学の安全の面から	子どもの希望から	教育内容に魅力があるから	子どもや親の友人関係から	保護者の母校だから	兄弟・親戚が通学している(いた)から	生徒数が多いから	生徒数が少ないから	学校説明会等実際に見た印象から	施設が充実しているから	部活動が活発だから	学校の評判が良いから	進学状況から	いじめや非行がなさそうだから	中高一貫の方針のもと教育が行われているから	高校や大学の付属中学で受験がないから	その他	無回答
小学6年生保護者	今回	370	7.0	39.2	41.1	0.3	2.2	6.5	3.5	0.3	27.6	19.5	9.2	3.0	24.1	5.7	44.3	11.4	4.1	4.6
	前回	305	8.9	37.0	41.6	1.0	4.3	5.6	2.0	1.3	21.6	15.7	12.1	6.2	25.9	6.6	57.0	19.7	5.6	0.7

(6) 区立学校支援事業の認知度

[小学6年生：問16、中学2年生：問15]

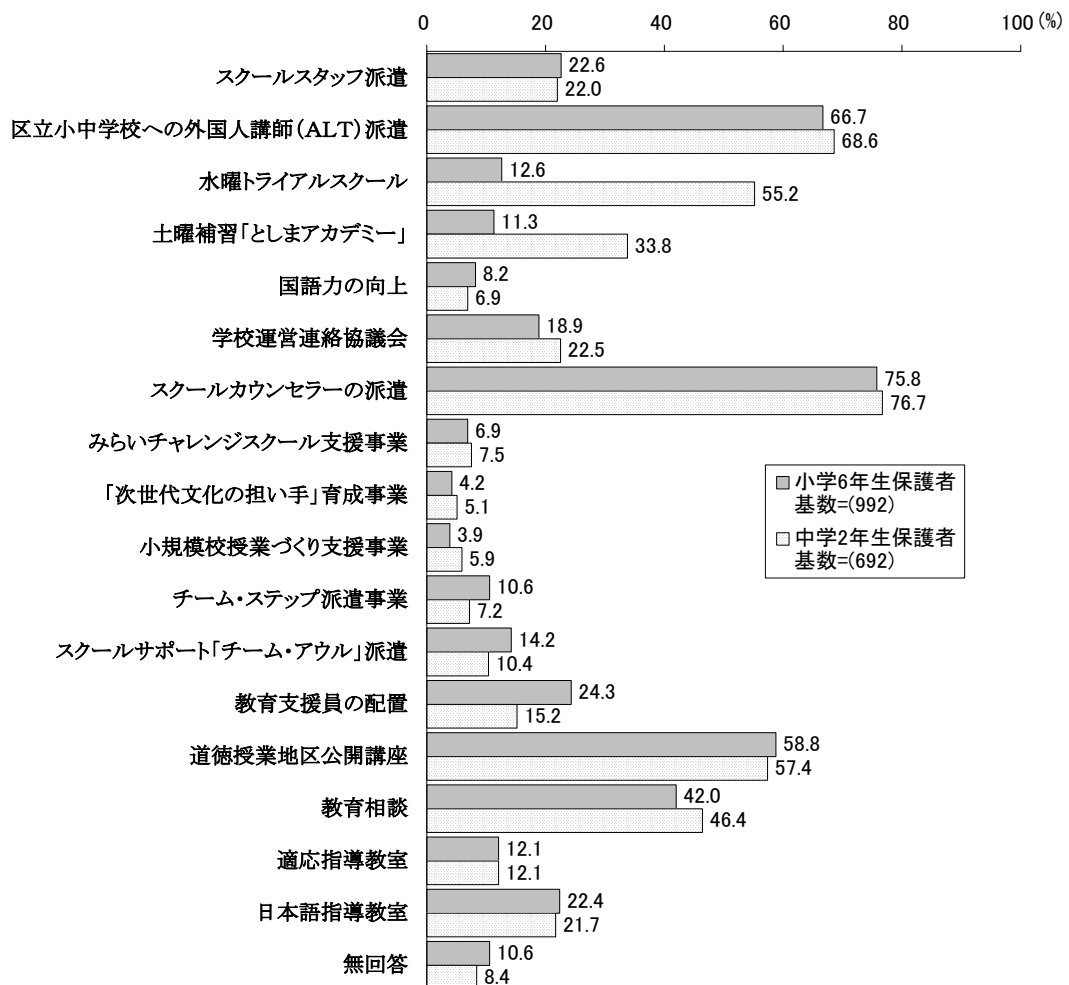
問 あなたは、教育委員会で行っている以下の区立学校支援事業を知っていますか。(該当するものをすべて選んでください)

小学6年生の区立学校支援事業の認知度は、「スクールカウンセラーの派遣」が75.8%で最も高く、次いで「区立小中学校への外国人講師（ALT）派遣」が66.7%、「道徳授業地区公開講座」が58.8%などとなっている。

中学2年生の区立学校支援事業の認知度は、「スクールカウンセラーの派遣」が76.7%で最も高く、次いで「区立小中学校への外国人講師（ALT）派遣」が68.6%、「道徳授業地区公開講座」が57.4%、「水曜トライアルスクール」が55.2%などとなっている。

小学6年生と中学2年生を比べて特に違いが大きいのは、「水曜トライアルスクール」で中学2年生の方が小学6年生よりも42.6ポイント高く、「土曜補習「としまアカデミー」」でも中学2年生の方が22.5ポイント高いことである。(図表5-11)

<図表5-11> 区立学校支援事業の認知度



選択肢数が大きく異なるため、前回との比較は、参考として図示するとどめる。(図表5-12)

＜図表5-12＞区立学校支援事業の認知度（前回との比較）

単位：%

		基数	スクールスタッフ派遣	区立小中学校への外国人講師（ALT）派遣	水曜トライアルスクール	土曜補習「としまアカデミー」	国語力の向上	学校運営連絡協議会	スクールカウンセラーの派遣	みらいチャレンジスクール支援事業	「次世代文化の担い手」育成事業	小規模校授業づくり支援事業	チーム・ステップ派遣事業	スクールサポート「チーム・アウル」派遣	教育支援員の配置	道徳授業地区公開講座	教育相談	適応指導教室	日本語指導教室	無回答	プロポーザル事業	中学校の少人数指導	スクールライブラリー活性化事業
小学6年生保護者	今回	992	22.6	66.7	12.6	11.3	8.2	18.9	75.8	6.9	4.2	3.9	10.6	14.2	24.3	58.8	42.0	12.1	22.4	10.6	※	※	※
	前回	1,019	11.5	64.7	15.9	※	※	21.2	77.6	※	4.4	※	※	※	※	※	※	※	※	14.1	2.7	18.6	5.6
中学2年生保護者	今回	692	22.0	68.6	55.2	33.8	6.9	22.5	76.7	7.5	5.1	5.9	7.2	10.4	15.2	57.4	46.4	12.1	21.7	8.4	※	※	※
	前回	674	14.4	61.4	52.4	※	※	25.8	78.5	※	4.2	※	※	※	※	※	※	※	※	12.0	2.7	42.9	3.9

※図表5-12の「土曜補習『としまアカデミー』」、「国語力の向上」、「みらいチャレンジスクール支援事業」、「小規模校授業づくり支援事業」、「チーム・ステップ派遣事業」、「スクールサポート『チーム・アウル』派遣」、「教育支援員の配置」、「道徳授業地区公開講座」、「教育相談」、「適応指導教室」、「日本語指導教室」は、今回新たに追加した。

※図表5-12の「プロポーザル事業」、「中学校の少人数指導」、「スクールライブラリー活性化事業」は、今回は聞いていない。

＜参考＞ 区立学校支援事業の説明

- ①スクールスタッフ派遣；総合的な学習の時間等への地域人材活用事業
- ②区立小中学校への外国人講師（ALT）派遣；英語を母語とする外国人の小中学校への派遣事業
- ③水曜トライアルスクール；中学校の英語・数学能力・漢字検定・パソコン検定に向けた指導教室
- ④土曜補習「としまアカデミー」；中学校1・2年生を対象に3学期末に行う補習授業
- ⑤国語力の向上；豊島区教育委員会推薦図書120冊の選定、国語力向上キットの開発と活用
- ⑥学校運営連絡協議会；学校運営や教育活動を公開し学校・家庭・地域が協働して運営するための協議会
- ⑦スクールカウンセラーの派遣；児童・生徒の心の悩みや身体の相談を行う専門職の派遣事業
- ⑧みらいチャレンジスクール支援事業；各学校の提案による特色ある学校づくり支援事業
- ⑨「次世代文化の担い手」育成事業；区内にある芸術関係NPO法人等から新進気鋭の芸術家を学校に派遣し、直接児童・生徒を指導する事業
- ⑩小規模校授業づくり支援事業；小学校の単学級校に学習指導支援のための非常勤職員を配置
- ⑪チーム・ステップ派遣事業；特別支援教育巡回指導員の派遣事業
- ⑫スクールサポート「チーム・アウル」派遣；いじめや学級の荒れ等に対する予防と対応支援のために、心理職等を含む支援員を派遣
- ⑬教育支援員の配置；小学校1年生入門期対応・特別支援教育などの授業補助に臨時職員を配置
- ⑭道徳授業地区公開講座；年1回道徳の授業を地域・保護者に公開し、協議会を開催して意見交換を行う
- ⑮教育相談；教育センターにおいて電話や来所による教育相談に対応
- ⑯適応指導教室；不登校児童・生徒の学校復帰を支援する事業
- ⑰日本語指導教室；外国籍児童・生徒の初歩的な日本語や生活の指導を行う

(7) 学校教育で重点的に取り組むべきこと

[小学6年生：問17、中学2年生：問16]

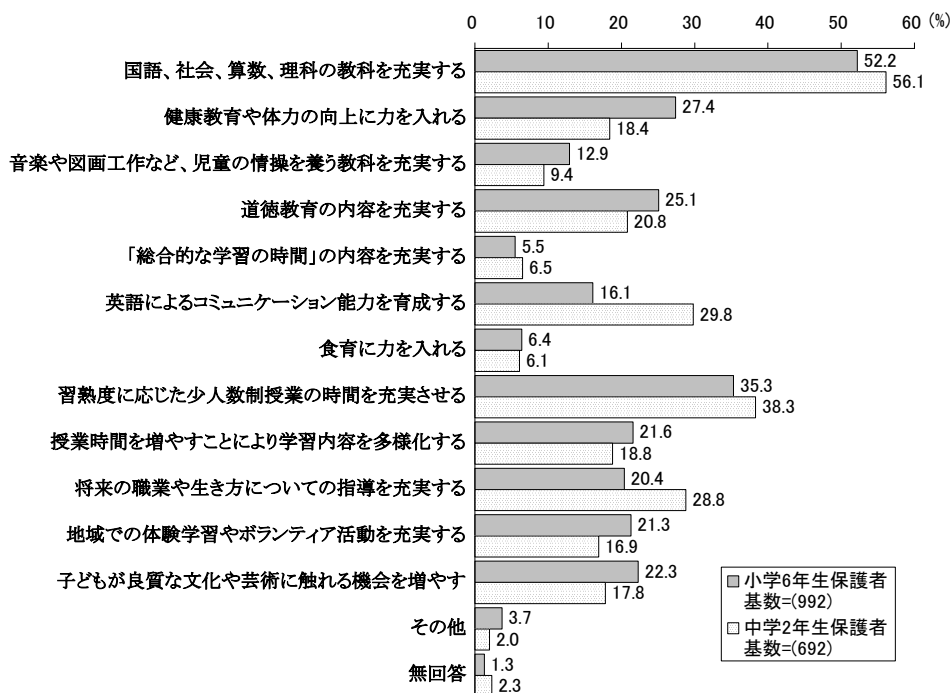
問 あなたは、学校教育でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。(選択は3つまで)

小学6年生の学校教育で重点的に取り組むべきこととしては、「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」が52.2%で最も高く、次いで「習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる」が35.3%、「健康教育や体力の向上に力を入れる」が27.4%、「道徳教育の内容を充実する」が25.1%などとなっている。

中学2年生の学校教育で重点的に取り組むべきこととしては、「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」が56.1%で最も高く、次いで「習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる」が38.3%、「英語によるコミュニケーション能力を育成する」が29.8%、「将来の職業や生き方についての指導を充実する」が28.8%などとなっている。

選択肢の文言が異なるため参考ではあるが、小学6年生と中学2年生を比べると、特に小学6年生の方が中学2年生よりも高いのは、「健康教育や体力の向上に力を入れる」で9.0ポイント差などとなっている。逆に、特に中学2年生の方が高いのは、「英語によるコミュニケーション能力を育成する」で13.7ポイント、「将来の職業や生き方についての指導を充実する」で8.4ポイント差などである。(図表5-13)

<図表5-13>学校教育で重点的に取り組むべきこと



※図表5-13の「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」は、中学2年生保護者調査では、「国語、社会、数学、理科、英語の教科を充実する」と聞いた。

※図表5-13の「音楽や図画工作など、児童の情操を養う教科を充実する」は、中学2年生保護者調査では、「音楽や美術など、生徒の情操を養う教科を充実する」と聞いた。

選択肢数が異なるため参考ではあるが、前回と比較すると、小学6年生では、「習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる」（今回：35.3% 前回：18.0%）が17.3ポイント、「健康教育や体力の向上に力を入れる」（今回：27.4% 前回：20.4%）が7.0ポイント増加している。

一方、中学2年生では、「習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる」（今回：38.3% 前回：21.8%）が16.5ポイント、「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」（今回：56.1% 前回：46.4%）が9.7ポイント、「英語によるコミュニケーション能力を育成する」（今回：29.8% 前回：21.1%）が8.7ポイント増加している。逆に、「道徳教育の内容を充実する」（今回：20.8% 前回：26.7%）が5.9ポイント減少している。（図表5-14）

＜図表5-14＞学校教育で重点的に取り組むべきこと（前回との比較）

単位：%

		基数	国語、社会、算数、理科の教科を充実する	健康教育や体力の向上に力を入れる	音楽や図画工作など、児童の情操を養う教科を充実する	道徳教育の内容を充実する	「総合的な学習の時間」の内容を充実する	英語によるコミュニケーション能力を育成する	食育に力を入れる	習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる	授業時間を増やすことにより学習内容を多様化する	将来の職業や生き方についての指導を充実する	地域での体験学習やボランティア活動を充実する	子どもが良質な文化や芸術に触れる機会を増やす	その他	無回答	TT（チームティーチング）や少人数制授業を充実する
小学6年生 保護者	今回	992	52.2	27.4	12.9	25.1	5.5	16.1	6.4	35.3	21.6	20.4	21.3	22.3	3.7	1.3	※
	前回	1,019	48.9	20.4	9.7	28.3	7.9	14.5	4.8	18.0	21.7	16.7	18.1	20.8	2.9	2.2	25.5
中学2年生 保護者	今回	692	56.1	18.4	9.4	20.8	6.5	29.8	6.1	38.3	18.8	28.8	16.9	17.8	2.0	2.3	※
	前回	674	46.4	16.0	7.6	26.7	7.0	21.1	3.9	21.8	16.2	24.0	15.3	18.8	2.4	4.0	28.3

※図表5-14の「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」は、中学2年生保護者調査では、「国語、社会、数学、理科、英語の教科を充実する」と聞いた。

※図表5-14の「音楽や図画工作など、児童の情操を養う教科を充実する」は、中学2年生保護者調査では、「音楽や美術など、生徒の情操を養う教科を充実する」と聞いた。

※図表5-14の「TT（チームティーチング）や少人数制授業を充実する」は、今回は聞いていない。

(8) 学校と地域の連携の進め方

[小学6年生：問18、中学2年生：問17]

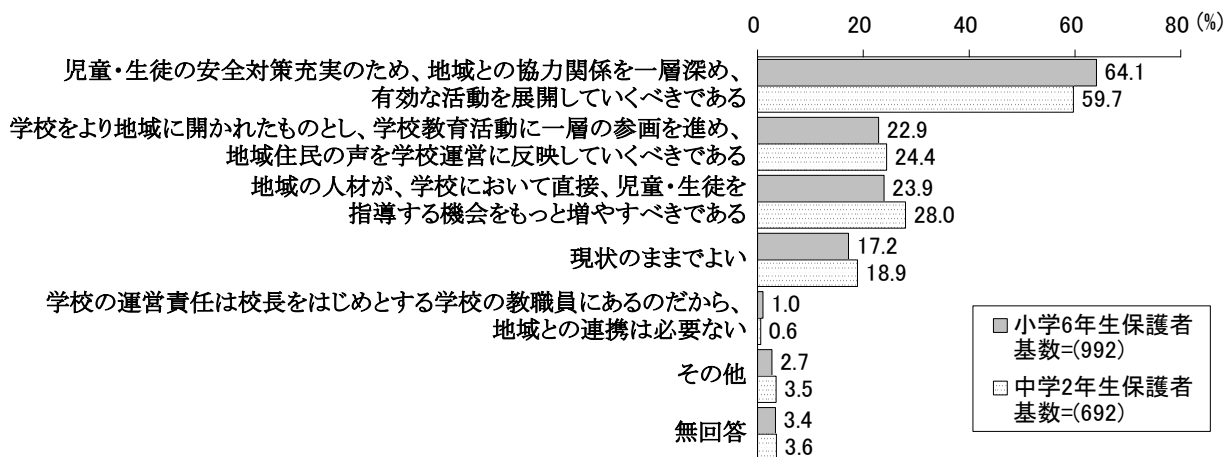
問 あなたは、学校と地域との連携はどのように進めていくべきだと思いますか。(選択は2つまで)

小学6年生の学校と地域の連携の進め方としては、「児童・生徒の安全対策充実のため、地域との協力関係を一層深め、有効な活動を展開していくべきである」が64.1%で最も高く、次いで「地域の人材が、学校において直接、児童・生徒を指導する機会をもっと増やすべきである」が23.9%、「学校をより地域に開かれたものとし、学校教育活動に一層の参画を進め、地域住民の声を学校運営に反映していくべきである」が22.9%などとなっている。

中学2年生の学校と地域の連携の進め方としては、「児童・生徒の安全対策充実のため、地域との協力関係を一層深め、有効な活動を展開していくべきである」が59.7%で最も高く、次いで「地域の人材が、学校において直接、児童・生徒を指導する機会をもっと増やすべきである」が28.0%、「学校をより地域に開かれたものとし、学校教育活動に一層の参画を進め、地域住民の声を学校運営に反映していくべきである」が24.4%などとなっている。

小学6年生と中学2年生を比べると、「児童・生徒の安全対策充実のため、地域との協力関係を一層深め、有効な活動を展開していくべきである」は、小学6年生の方が中学2年生よりも4.4ポイント高くなっている。逆に、「地域の人材が、学校において直接、児童・生徒を指導する機会をもっと増やすべきである」は、中学2年生の方が4.1ポイント高い。(図表5-15)

<図表5-15>学校と地域の連携の進め方



前回と比較すると、小学6年生では、「児童・生徒の安全対策充実のため、地域との協力関係を一層深め、有効な活動を展開していくべきである」（今回：64.1% 前回：68.8%）が4.7ポイント減少している。逆に、「現状のままでよい」（今回：17.2% 前回：13.1%）が4.1ポイント増加している。

一方、中学2年生では、「地域の人材が、学校において直接、児童・生徒を指導する機会をもっと増やすべきである」（今回：28.0% 前回：23.4%）が4.6ポイント増加しているのと同時に、「現状のままでよい」（今回：18.9% 前回：14.4%）も4.5ポイント増加している。（図表5-16）

<図表5-16>学校と地域の連携の進め方（前回との比較）

単位：%

		基数	児童・生徒の安全対策を充実し、地域との協力関係を深めるべきである	学校より地域の活動に声をかけ、学校運営に積極的に参加する	地域の人材や生徒が、学校において直接指導する機会を増やすべきである	現状のままでよい	学校の運営責任は校長をはじめとする教職員に必要ない	その他	無回答
小学6年生 保護者	今回	992	64.1	22.9	23.9	17.2	1.0	2.7	3.4
	前回	1,019	68.8	23.2	23.4	13.1	1.7	2.7	4.2
中学2年生 保護者	今回	692	59.7	24.4	28.0	18.9	0.6	3.5	3.6
	前回	674	62.0	24.6	23.4	14.4	2.2	2.8	7.0

(9) 区立学校のイメージや意見

[小学6年生：問19、中学2年生：問18]

問 魅力ある区立学校のイメージ、もしくは学校教育についてご意見があればお書きください。

魅力ある区立学校のイメージ、もしくは学校教育について自由に記述いただいたところ、小学6年生で280件、中学2年生で160件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表5-17)

<図表5-17>区立学校のイメージや意見

内容	小学6年生	中学2年生
学力向上・教育内容に関する事	75	42
学校経営、小・中の連携、一貫教育に関する事	7	0
授業日数、学期制に関する事	8	7
教員に関する事	50	8
教育委員会に関する事	2	1
教員と学力向上・教育内容に関する事	27	21
クラブ活動・部活動に関する事	2	11
学校行事に関する事	2	1
P T A・保護者に関する事	4	1
地域等とのかかわりに関すること	5	1
学校設備に関する事	4	0
その他、複数の事項に関する事	94	67

6 クロス集計結果

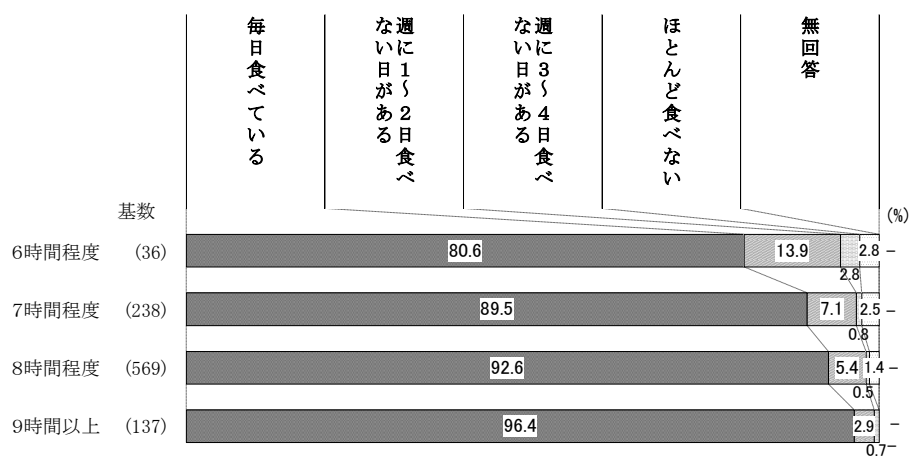
(1) 朝食をとる割合

[小学6年生：問2、中学2年生：問2]

問 お子様は、毎日朝食を食べていますか。

小学6年生の平均睡眠時間別でみると、「毎日食べている」が平均睡眠時間の長い人ほど高く、特に、9時間以上で96.4%となっている。(図表6-1)

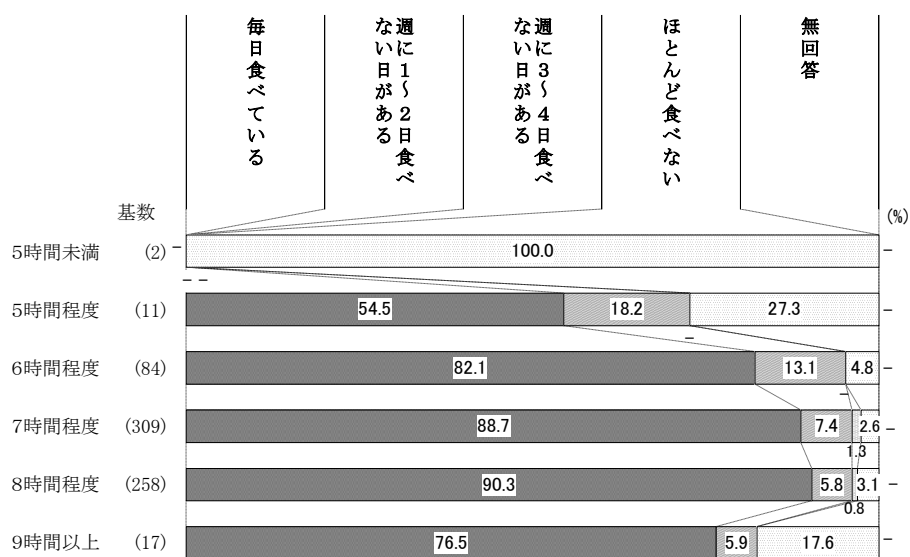
<図表6-1>朝食をとる割合／平均睡眠時間別（小学6年生、問3、29ページ）



※5時間未満と5時間程度は基数が0人のため掲載せず。

中学2年生の平均睡眠時間別では、「毎日食べている」がおおむね平均睡眠時間の長い人ほど高く、特に、8時間程度で90.3%となっている。(図表6-2)

<図表6-2>朝食をとる割合／平均睡眠時間別（中学2年生、問3、29ページ）



※5時間未満、5時間程度と9時間以上は基数が少ないため参考として図示している。

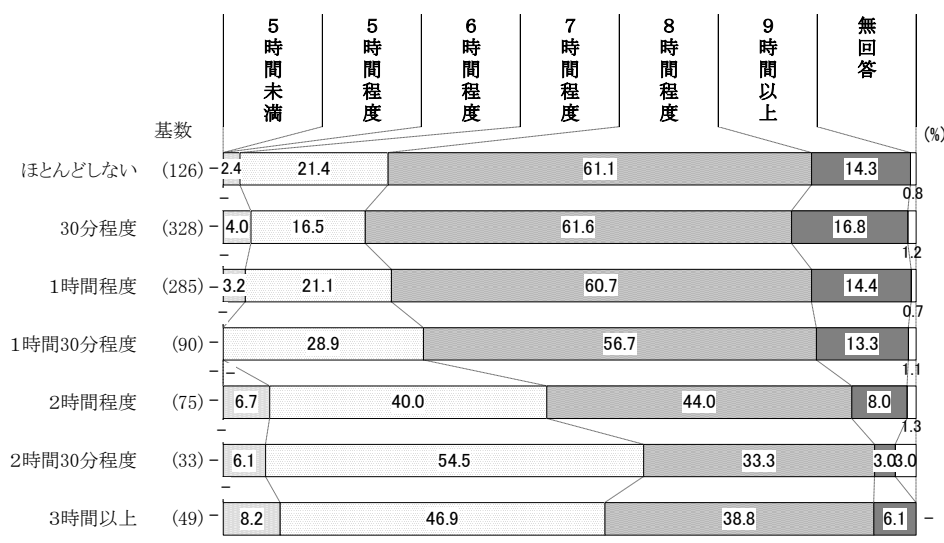
(2) 平均睡眠時間

[小学6年生：問3、中学2年生：問3]

問 お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。

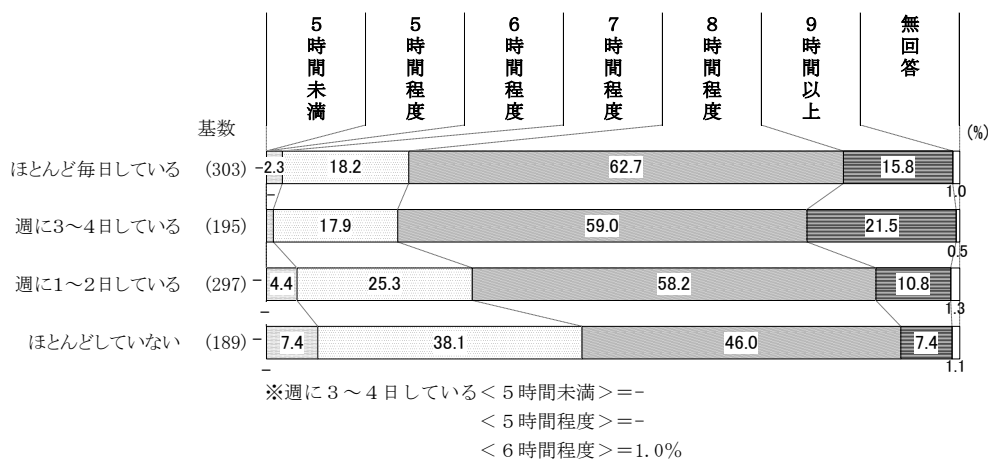
小学6年生の平日の家庭での勉強時間別でみると、「7時間程度」がおおむね勉強時間の長い人ほど高く、特に、2時間30分程度の人で54.5%となっている。逆に、「8時間程度」と「9時間以上」は、勉強時間の短い人ほど高い傾向がみられる。特に、「8時間程度」は、ほとんどしない人で61.1%、30分程度の人で61.6%、1時間程度の人で60.7%などとなっている。(図表6-3)

<図表6-3>平均睡眠時間/平日の家庭での勉強時間別(小学6年生、問5、33ページ)



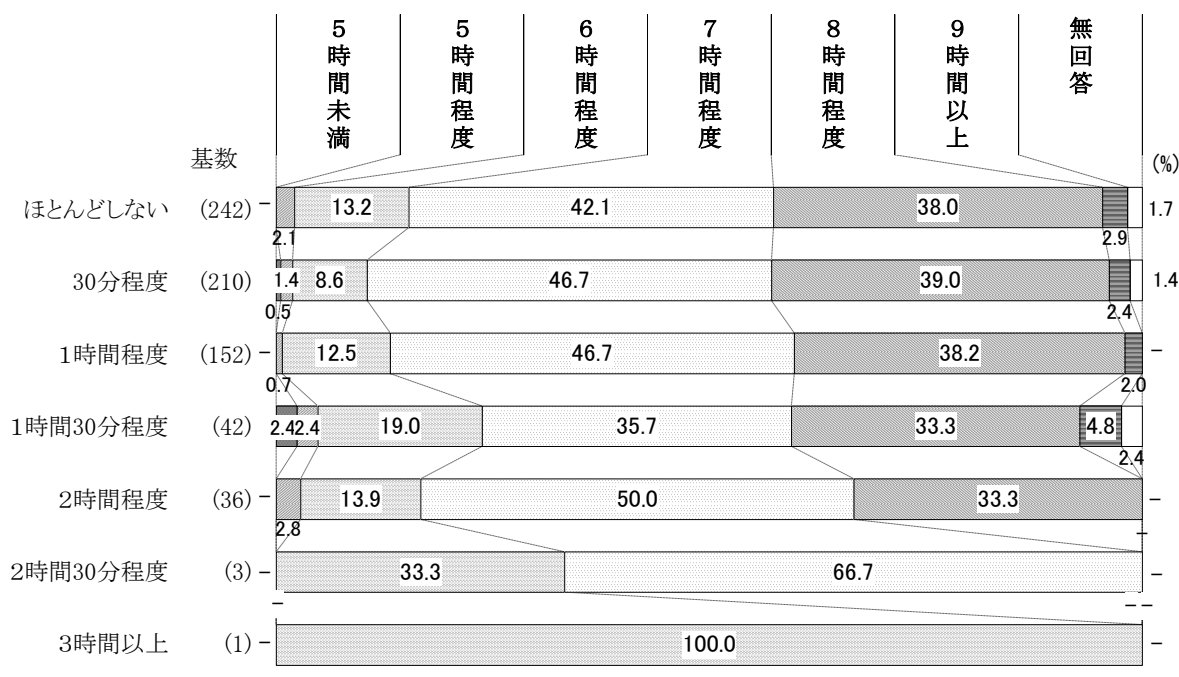
小学6年生の運動の状況別でみると、「7時間程度」が運動をしていない人ほど高く、ほとんどしていない人で38.1%となっている。逆に、「8時間程度」は、運動している人ほど高く、特に、「8時間程度」はほとんど毎日している人で62.7%となっている。(図表6-4)

<図表6-4>平均睡眠時間/運動の状況別(小学6年生、問6、34ページ)



中学2年生の平日の家庭での勉強時間別で見ると、いずれの勉強時間でも「7時間程度」に比率が集まり、中でも、2時間程度の人で50.0%と他に比べて高くなっている。(図表6-5)

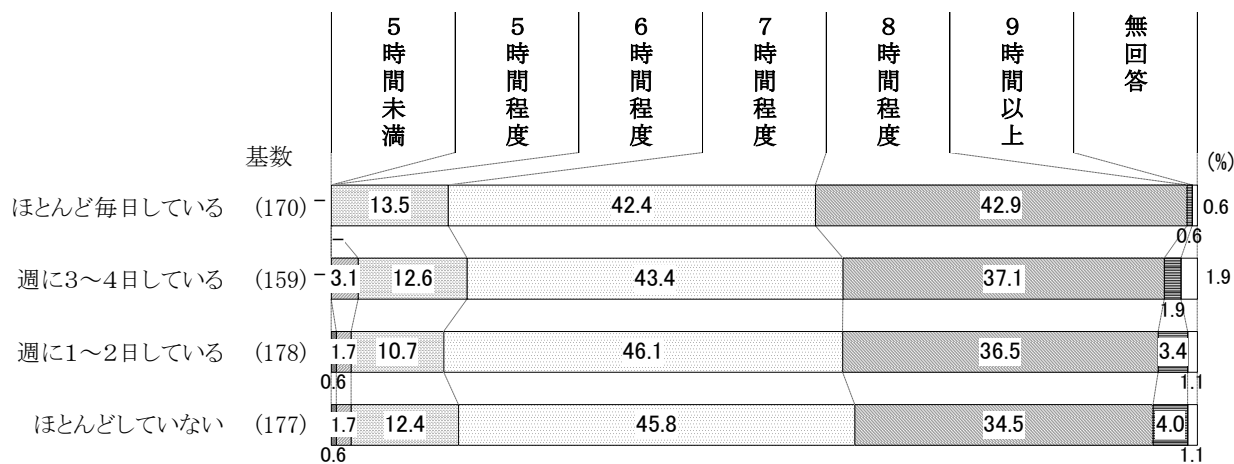
＜図表6-5＞平均睡眠時間／平日の家庭での勉強時間別（中学2年生、問5、33ページ）



※ 2時間30分程度と3時間以上は基数が少ないため参考として図示している。

中学2年生の運動の状況別で見ると、いずれの運動状況でも「7時間程度」に比率が集まり大きな違いはみられないが、「8時間程度」は、ほとんど毎日している人で42.9%と他に比べて高くなっている。(図表6-6)

＜図表6-6＞平均睡眠時間／運動の状況別（中学2年生、問6、34ページ）



(3) 平日の家庭での勉強時間

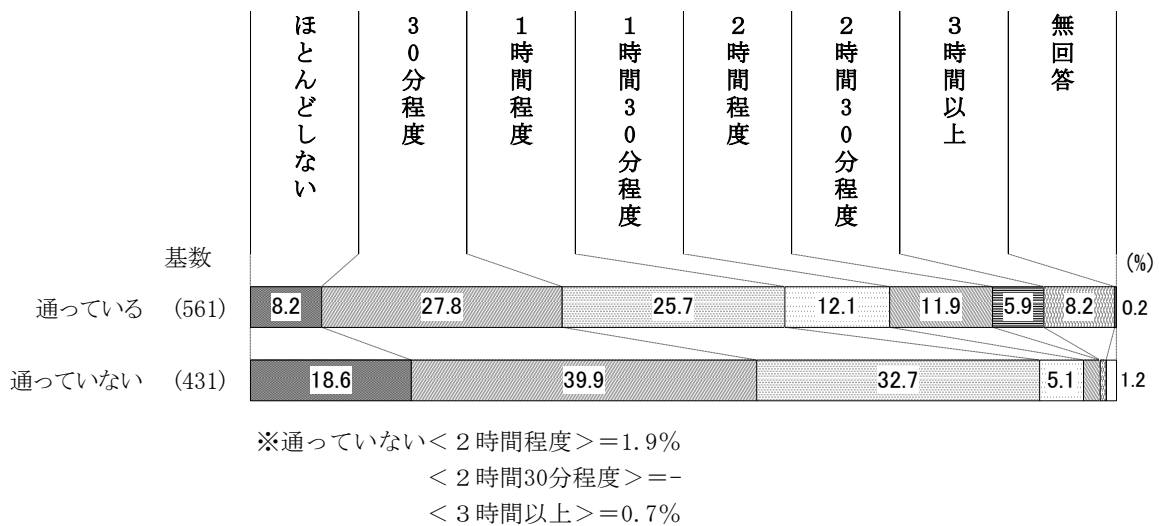
[小学6年生：問5、中学2年生：問5]

問 お子様は平日、学校の授業以外に1日平均どれくらい勉強しますか。塾や習い事の時間は除きます。

小学6年生の平日の家庭での勉強時間を学習塾に通っている状況別でみると、学習塾に通っていないの方が、通っている人よりも、「ほとんどしない」、「30分程度」、「1時間程度」で高くなっており、特に「30分程度」は12.1ポイントの違いがみられる。(図表6-7)

<図表6-7>平日の家庭での勉強時間/学習塾に通っている状況別

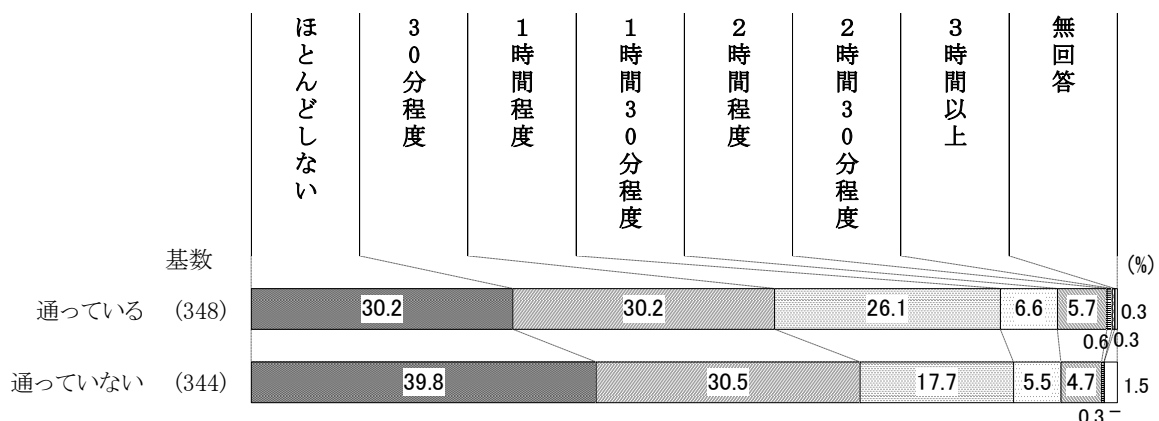
(小学6年生、問4、30ページ)



中学2年生の平日の家庭での勉強時間を学習塾に通っている状況別でみると、「ほとんどしない」は、学習塾に通っていないの方が通っている人よりも9.6ポイント高く、逆に、「1時間」は通っている人の方が8.4ポイント高くなっている。(図表6-8)

<図表6-8>平日の家庭での勉強時間/学習塾に通っている状況別

(中学2年生、問4、30ページ)



(4) 保護者が考える進学的目標

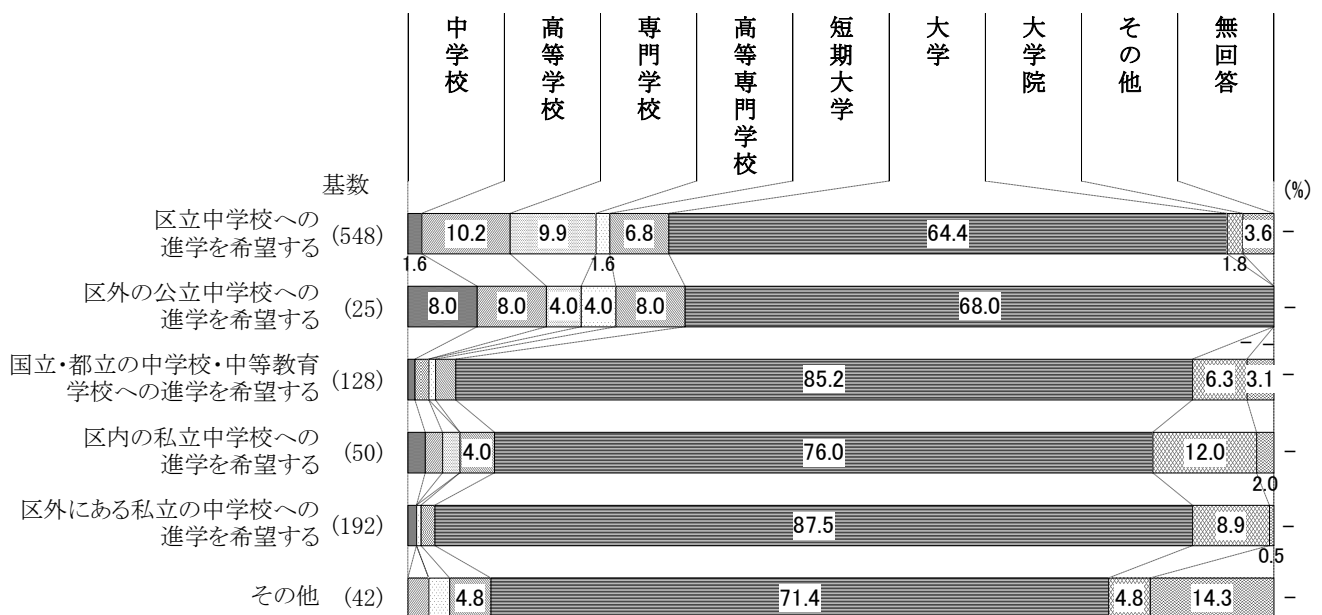
[小学6年生：問7、中学2年生：問7]

問 あなたは、お子様の進学についてどのように考えていますか。最終的な進学希望先についてお聞かせください。

小学6年生の中学校への進学希望別でみると、いずれの運動状況でも「大学」が高く、中でも、区外にある私立の中学校への進学を希望する人で87.5%、国立・都立の中学校・中等教育学校への進学を希望する人で85.2%、区内の私立中学校への進学を希望する人で76.0%などとなっている。
(図表6-9)

<図表6-9>保護者が考える進学的目標／中学校への進学希望別

(小学6年生、問15、49ページ)



※国立・都立の中学校・中等教育学校への進学を希望する
 <中学校>=0.8%
 <高等学校>=1.6%
 <専門学校>=-
 <高等専門学校>=0.8%
 <短期大学>=2.3%
 区内の私立中学校への進学を希望する
 <中学校>=2.0%
 <高等学校>=2.0%
 <専門学校>=2.0%
 <高等専門学校>=-
 区外にある私立の中学校への進学を希望する
 <中学校>=1.0%
 <高等学校>=-
 <専門学校>=-
 <高等専門学校>=0.5%
 <短期大学>=1.6%
 その他
 <中学校>=-
 <高等学校>=2.4%
 <専門学校>=-
 <高等専門学校>=2.4%

※区外の公立中学校への進学を希望するは基数が少ないため参考として図示している。

(5) 隣接校選択制の評価

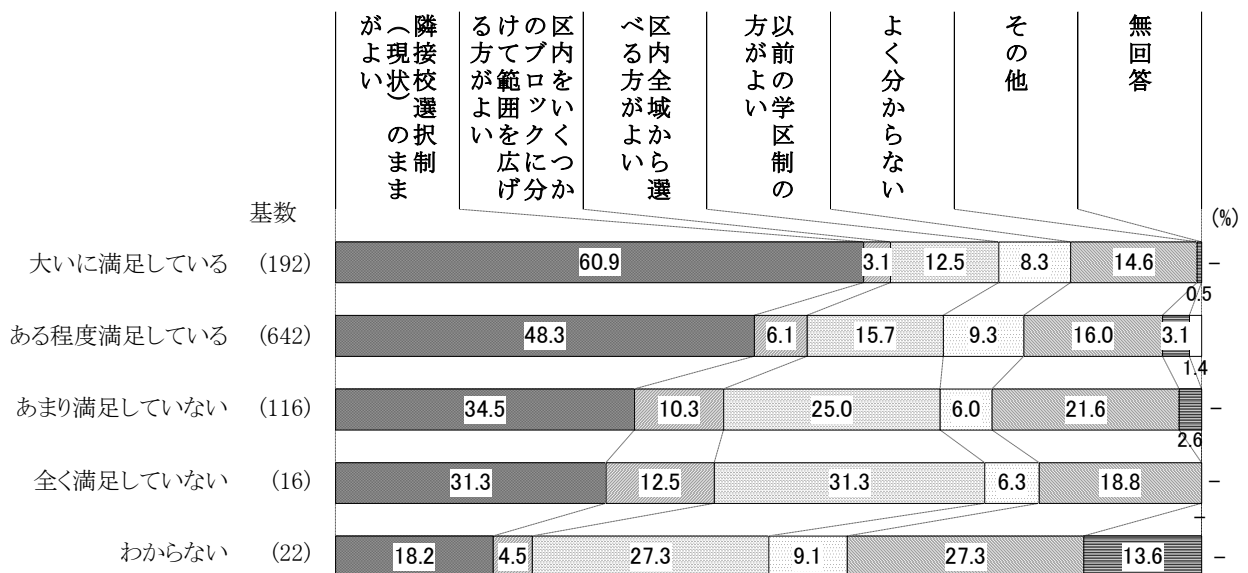
[小学6年生：問14、中学2年生：問14]

問 豊島区では平成13年度から、学校教育の活性化や児童・生徒・保護者の意向を尊重するため、指定校と指定校に隣接する学校を選択できる「隣接校選択制」を導入し、小学校で20%程度、中学校で15%程度の方が利用しています。

あなたは、小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

小学6年生の学校の満足度別でみると、「隣接校選択制（現状）のままがよい」は、学校に満足している人ほど高く、特に、おおいに満足している人で60.9%となっている。一方で、「区内全域から選べる方がよい」は、おおむね満足していない人ほど高い傾向がみられる。（図表6-10）

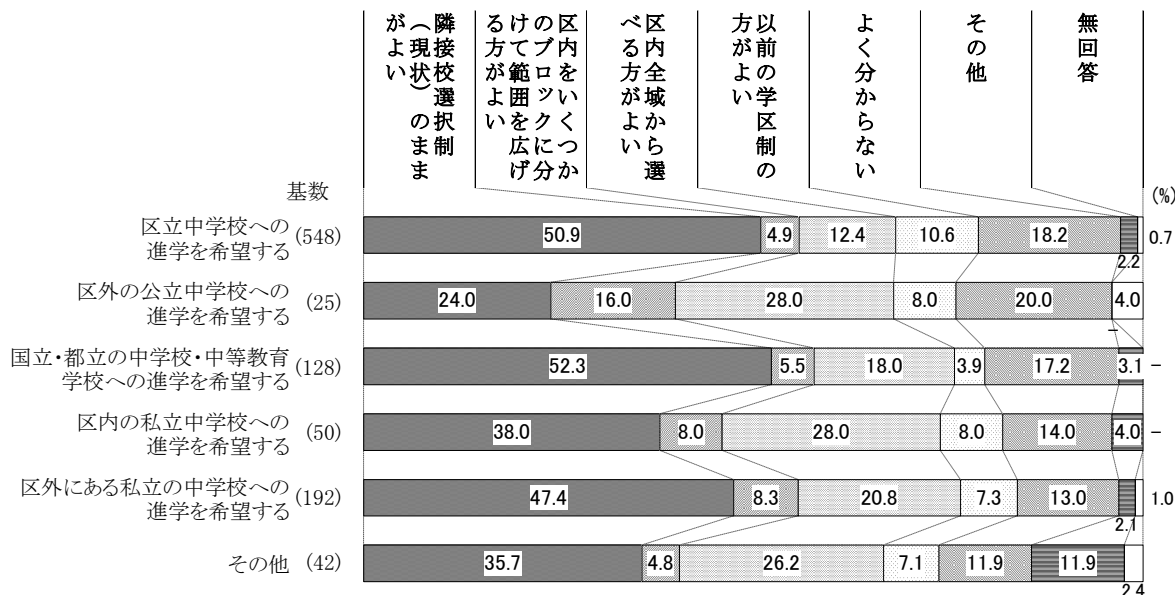
<図表6-10>隣接校選択制の評価／学校の満足度別（小学6年生、問9、38ページ）



※全く満足していないとわからないは基数が少ないため参考として図示している。

小学6年生の中学校への進学希望別でみると、「隣接校選択制（現状）のままがよい」は、国立・都立の中学校・中等教育学校への進学を希望する人で52.3%、区立中学校への進学を希望する人で50.9%と他に比べて高い。また、「区内全域から選べる方がよい」は、区外の公立中学校への進学を希望する人と区内の私立中学校への進学を希望する人で28.0%となっている。（図表6-11）

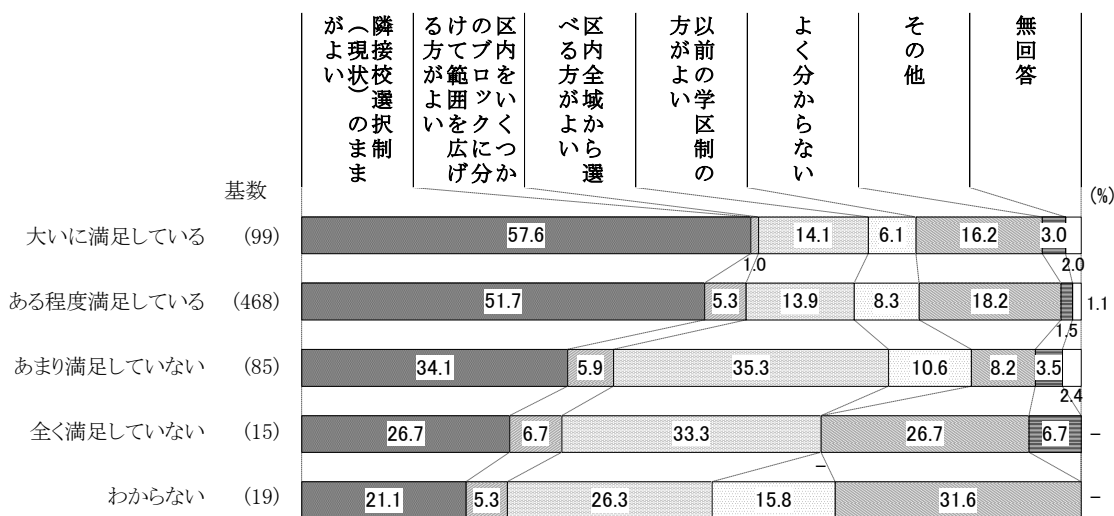
＜図表6-11＞隣接校選択制の評価／中学校への進学希望別（小学6年生、問15、49ページ）



※区外の公立中学校への進学を希望するは基数が少ないため参考として図示している。

中学2年生の学校の満足度別でみると、「隣接校選択制（現状）のままがよい」は、学校に満足している人ほど高く、特に、おおいに満足している人で57.6%、ある程度満足している人で51.7%となっている。一方で、「区内全域から選べる方がよい」は、あまり満足していない人で35.3%と高い。（図表6-12）

＜図表6-12＞隣接校選択制の評価／学校の満足度別（中学2年生、問9、38ページ）



※全く満足していないとわからないは基数が少ないため参考として図示している。

(6) 中学校への進学希望

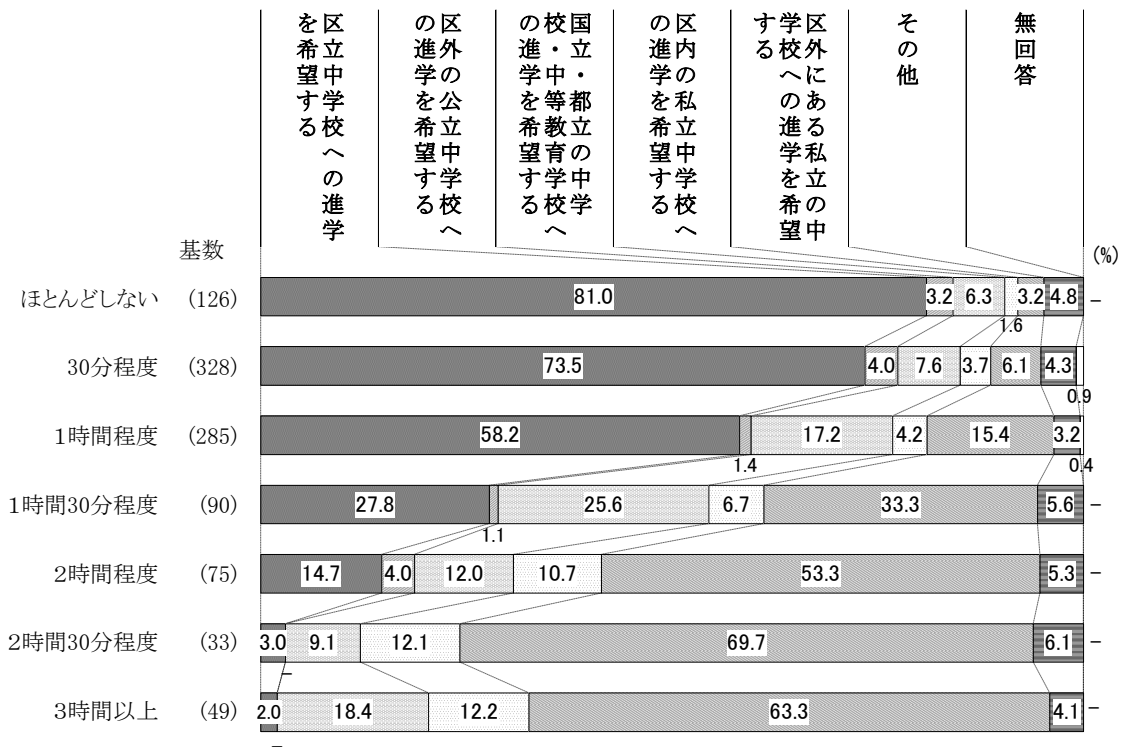
[小学6年生：問15]

問 あなたは、次のどの中学校にお子様を進学させることを希望されていますか。

小学6年生の平日の家庭での勉強時間別でみると、「区立中学校への進学を希望する」は、勉強時間の短い人ほど高く、ほとんどしない人で81.0%となっている。一方で、「区内の私立中学校への進学を希望する」と「区外にある私立の中学校への進学を希望する」は、おおむね勉強時間の長い人ほど高い。特に、「区外にある私立の中学校への進学を希望する」では、2時間30分程度の人で69.7%、3時間以上の人で63.3%などとなっている。(図表6-13)

<図表6-13> 中学校への進学希望／平日の家庭での勉強時間別

(小学6年生、問5、33ページ)



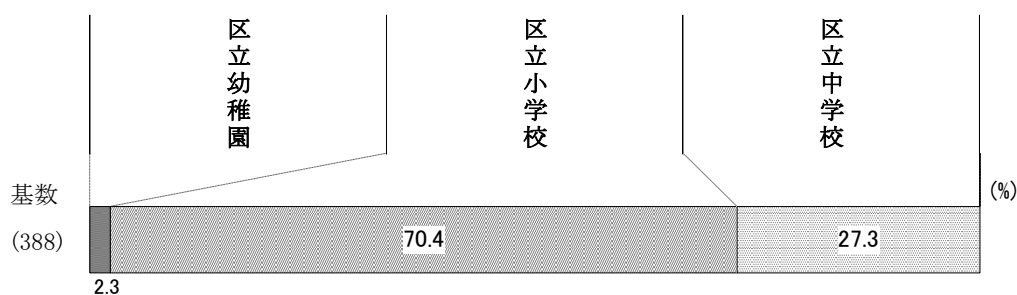
第4部 区立幼稚園・区立小・中学校教員調査結果

第4部 区立幼稚園・区立小・中学校教員調査結果

1 回答者について

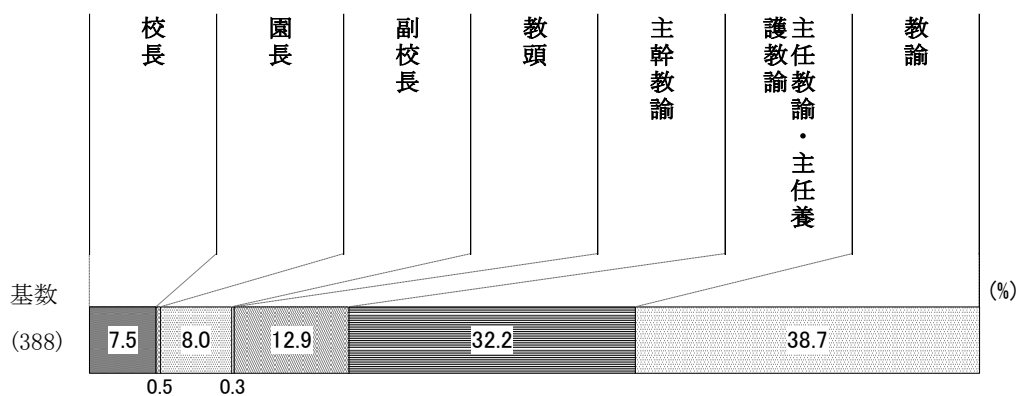
(1) 所属

<図表1-1>所属



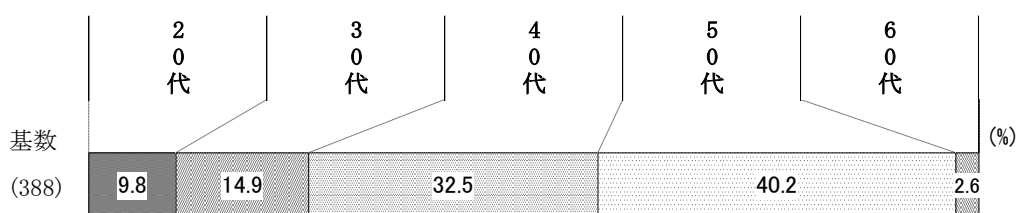
(2) 職層

<図表1-2>職層



(3) 年代

<図表1-3>年代



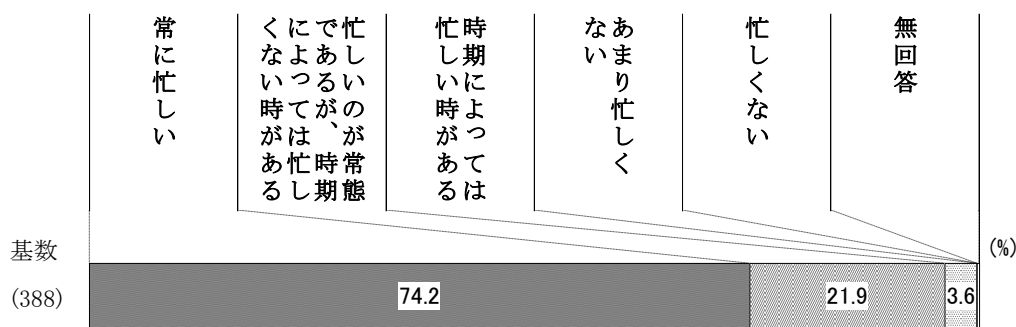
2 職務や学校施設など

(1) 職務の状況

問4. 現在の職務の状況についてどのように感じていますか。

職務の状況は、「常に忙しい」が74.2%で最も高く、次いで「忙しいのが常態であるが、時期によっては忙しくない時がある」が21.9%となっている。(図表2-1)

＜図表2-1＞職務の状況



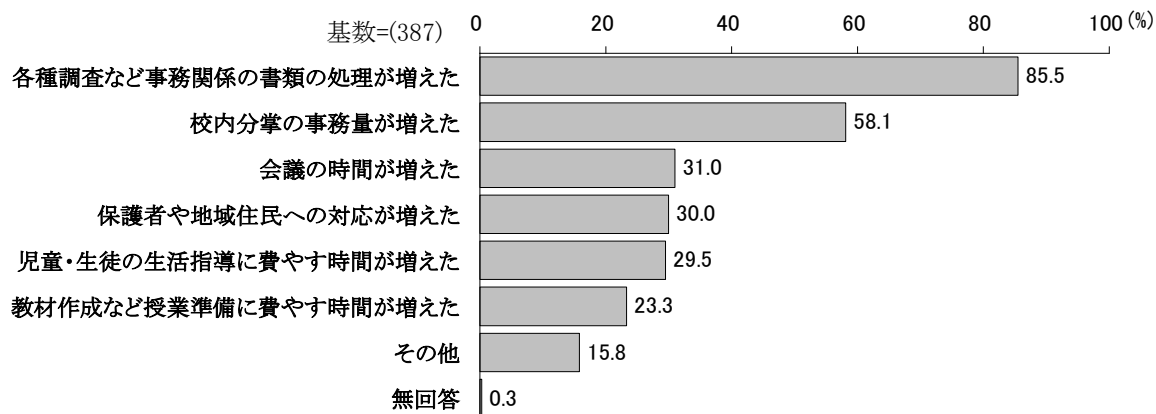
※＜あまり忙しくない＞＝
 ＜忙しくない＞＝
 ＜無回答＞＝0.3%

(2) 忙しさの原因

問4-1. 問4で①～③を選んだ方にお聞きします。特にどのような職務の増加で忙しくなっていると感じますか。(選択は3つ)

前問で、忙しいあるいは忙しい時があると回答した方に、その原因をたずねたところ、「各種調査など事務関係の書類の処理が増えた」が85.5%で最も高く、次いで「校内分掌の事務量が増えた」が58.1%などとなっている。(図表2-2)

＜図表2-2＞忙しさの原因



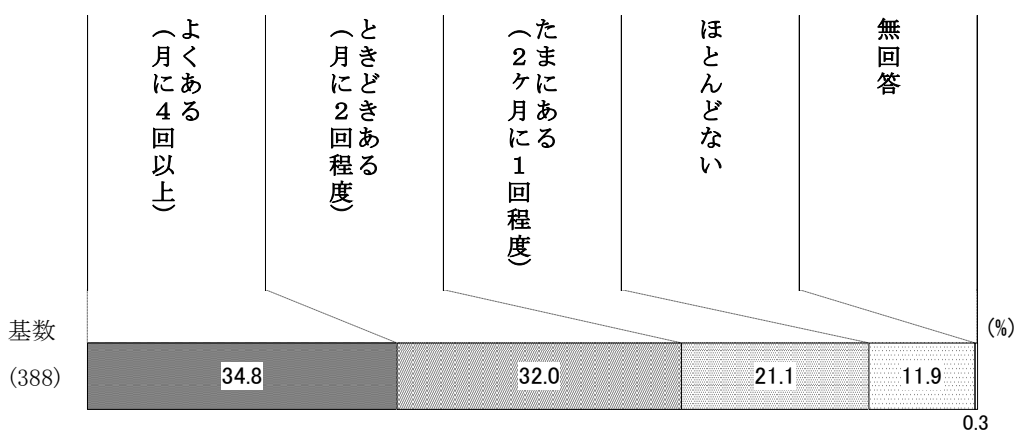
(3) 休日勤務の状況

問5. 週休日や休日に勤務することがありますか。

休日勤務の状況は、「よくある（月に4回以上）」が34.8%で最も高く、次いで「ときどきある（月に2回程度）」が32.0%、「たまにある（2ヶ月に1回程度）」が21.1%となっている。これらを合わせると、《ある》は87.9%となっている。

一方、「ほとんどない」は11.9%である。（図表2-3）

＜図表2-3＞休日勤務の状況



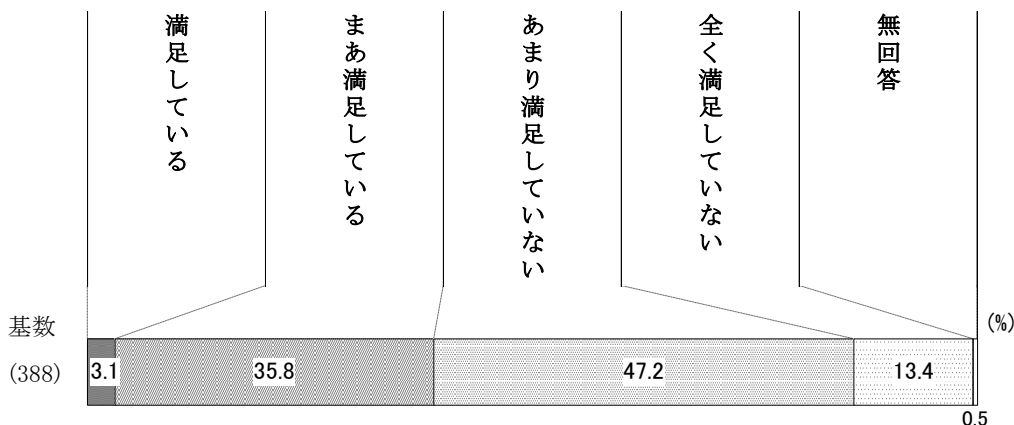
(4) 学校の施設・設備の満足度

問6. 現在の学校の施設・設備に満足していますか。

学校の施設・設備の満足度は、「満足している」が3.1%で、「まあ満足している」が35.8%となっている。これらを合わせると、《満足している》は38.9%となっている。

一方、「あまり満足していない」は47.2%で最も高く、「全く満足していない」が13.4%で、これらを合わせると、《満足していない》は60.6%である。（図表2-4）

＜図表2-4＞学校の施設・設備の満足度



3 「目指す子ども像」について

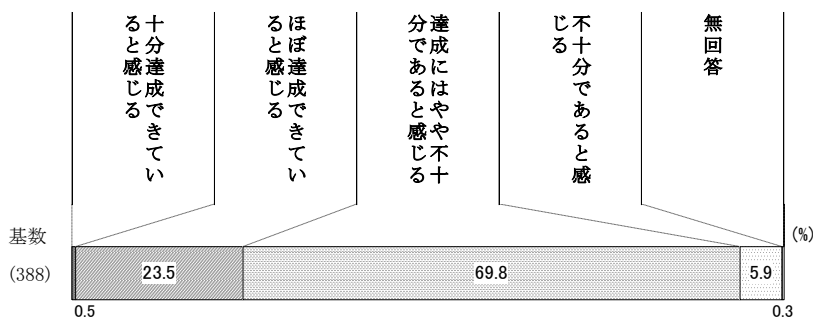
(1) 「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標の達成度

問7-1. あなたは、児童・生徒について、「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標がどの程度達成できていると感じますか。

「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標の達成度は、「十分達成できていると感じる」が0.5%、「ほぼ達成できていると感じる」が23.5%となっている。これらを合わせると、「達成できていると感じる」は24.0%となっている。

一方、「達成にはやや不十分であると感じる」は69.8%で最も高く、「不十分であると感じる」が5.9%で、これらを合わせると、「不十分であると感じる」は75.7%である。(図表3-1)

<図表3-1> 「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標の達成度



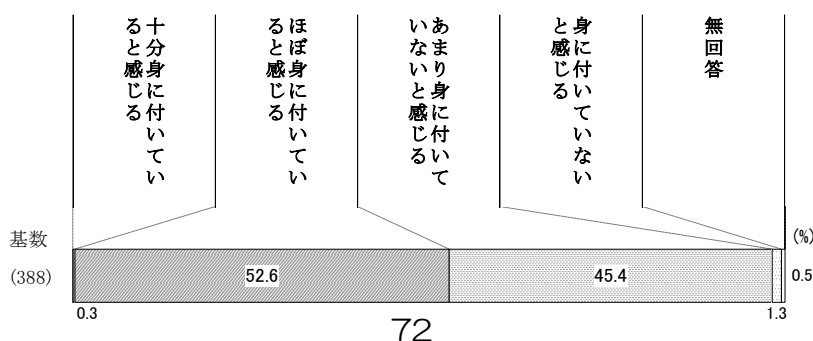
(2) 「自他を認め合い、思いやりのある心豊かな子ども」という目標が身についていると感じる程度

問7-2. あなたは、児童・生徒について「自他を認め合い、思いやりのある心豊かな子ども」という目標がどの程度身についていると感じますか。

児童・生徒に「自他を認め合い、思いやりのある心豊かな子ども」という目標が身についていると感じる程度は、「十分身に付いていると感じる」が0.3%で、「ほぼ身に付いていると感じる」が52.6%と最も高くなっている。これらを合わせると、「身に付いていると感じる」は52.9%となっている。

一方、「あまり身に付いていないと感じる」は45.4%、「身に付いていないと感じる」は1.3%で、これらを合わせると、「身に付いていないと感じる」は46.7%である。(図表3-2)

<図表3-2> 「自他を認め合い、思いやりのある心豊かな子ども」という目標が身についていると感じる程度



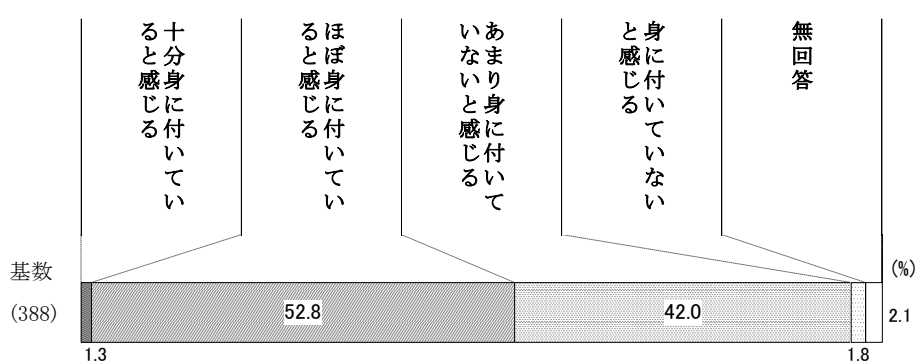
(3) 「健康でたくましく生きる子ども」という目標が身についていると感じる程度

問7-3. あなたは、児童・生徒について、「健康でたくましく生きる子ども」という目標については、どの程度身につけてきていると感じますか。

児童・生徒に「健康でたくましく生きる子ども」という目標が身についていると感じる程度は、「十分身に付いていると感じる」が1.3%で、「ほぼ身に付いていると感じる」が52.8%と最も高くなっている。これらを合わせると、《身に付いていると感じる》は54.1%となっている。

一方、「あまり身に付いていないと感じる」は42.0%、「身に付いていないと感じる」は1.8%で、これらを合わせると、《身に付いていないと感じる》は43.8%である。(図表3-3)

＜図表3-3＞「健康でたくましく生きる子ども」がという目標が身についていると感じる程度



(4) 重点施策

問7-4. 児童・生徒の育成・指導にあたって、「目指す子ども像」に近づけていくために、今後特に力を入れていかなければならない施策は何だと考えますか。

児童・生徒の育成・指導にあたって、「目指す子ども像」に近づけていくために、今後特に力を入れていかなければならない施策について自由に記述いただいたところ、301件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表3-4)

＜図表3-4＞重点施策

内容	件数
教育内容の充実	81
教育環境の充実 (少人数制学級、時間的余裕、施設の充実等)	62
教員の増加、質向上 (授業力アップ等)	29
道徳教育に力を入れる	27
家庭教育 (正しい生活習慣を含む)	14
保護者・地域との連携	8
安全な生活環境 (遊べる環境含む)	4
その他、複数の事項に関すること	76

4 「目指す教師像」について

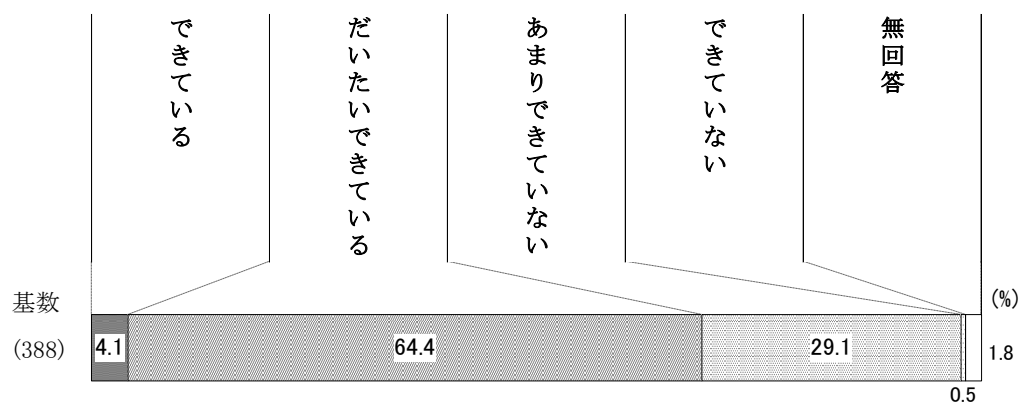
(1) 「楽しく・分かる授業」の自己評価

問8-1. あなたは「楽しく・分かる授業」ができていますか。

「楽しく・分かる授業」の自己評価は、「できている」が4.1%で、「だいたいできている」が64.4%と最も高くなっている。これらを合わせると、「《できている》」は68.5%となっている。

一方、「あまりできていない」は29.1%、「できていない」は0.5%で、これらを合わせると、「《できていない》」は29.6%である。(図表4-1)

〈図表4-1〉「楽しく・分かる授業」の自己評価



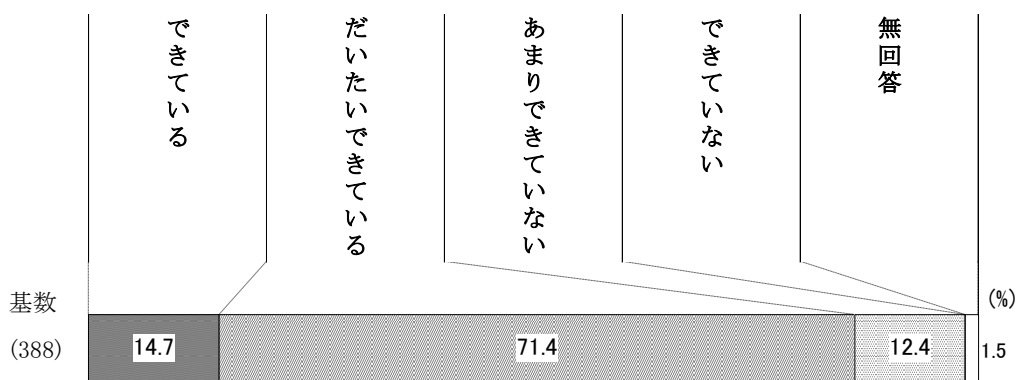
(2) 「子どもの話に耳と心を傾ける」の自己評価

問8-2. あなたは「子どもの話に耳と心を傾ける」ことができていますか。

「子どもの話に耳と心を傾ける」がの自己評価は、「できている」が14.7%で、「だいたいできている」が71.4%と最も高くなっている。これらを合わせると、「《できている》」は86.1%となっている。

一方、「あまりできていない」は12.4%、「できていない」は皆無である。(図表4-2)

〈図表4-2〉「子どもの話に耳と心を傾ける」の自己評価



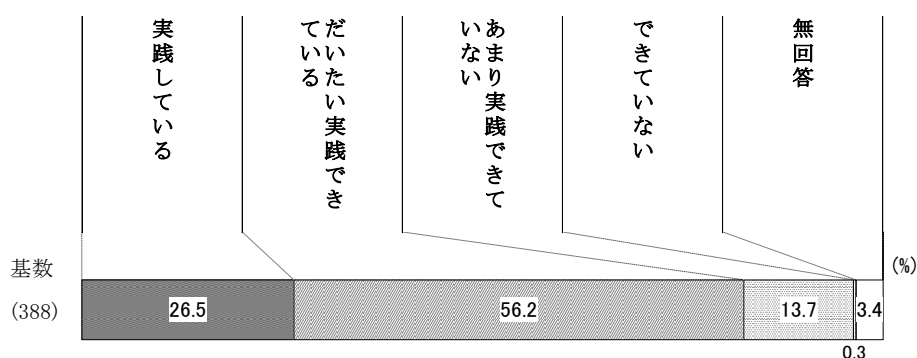
(3) 「自ら学び続ける教師」の実践度

問8-3. あなたは「自ら学び続ける教師」を実践していますか。

「自ら学び続ける教師」の実践度は、「実践している」が26.5%で、「だいたい実践できている」が56.2%と最も高くなっている。これらを合わせると、「実践している」は82.7%となっている。

一方、「あまり実践できていない」は13.7%、「できていない」は0.3%で、これらを合わせると、「実践できていない」は14.0%である。(図表4-3)

〈図表4-3〉「自ら学び続ける教師」の実践度



(4) 自己啓発

問8-4. あなたは教科指導に必要な知識・技術の習得など専門性を高めるための自己啓発を何かしていますか。

教科指導に必要な知識・技術の習得など専門性を高めるための自己啓発について自由に記述いただいたところ、312件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表4-4)

〈図表4-4〉自己啓発

内容	件数
研修会や講演会に参加する	125
専門書や資料、インターネット等からの情報収集	41
目標を設定し、自学自習する	11
専門技術の習得・向上（歌、ピアノ、書道、パソコン、英会話）に努める	5
先輩、管理職、他教職員との情報交換	4
校内の研究会、研修会に参加	4
資格の取得	2
その他、複数の事項に関すること	120

(5) 重点施策

問8-5. 区立幼稚園、区立小・中学校の教員が教育ビジョンの「目指す教師像」に近づいていくためには、今後どのような施策に重点を置いていくべきだと考えますか。

区立幼稚園、区立小・中学校の教員が教育ビジョンの「目指す教師像」に近づいていくために重点を置いていくべき施策について自由に記述いただいたところ、275件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表4-5)

<図表4-5>重点施策

内容	件数
時間的ゆとりを確保し、子どもと向き合い授業に専念できるようにする	85
指導力の向上	49
研修の強化、改善	38
制度、支援体制、行政、予算等	20
教員の人員を増やす	6
子どもを理解する	6
教師の人間性向上	4
その他、複数の事項に関する事	67

5 「目指す学校像」について

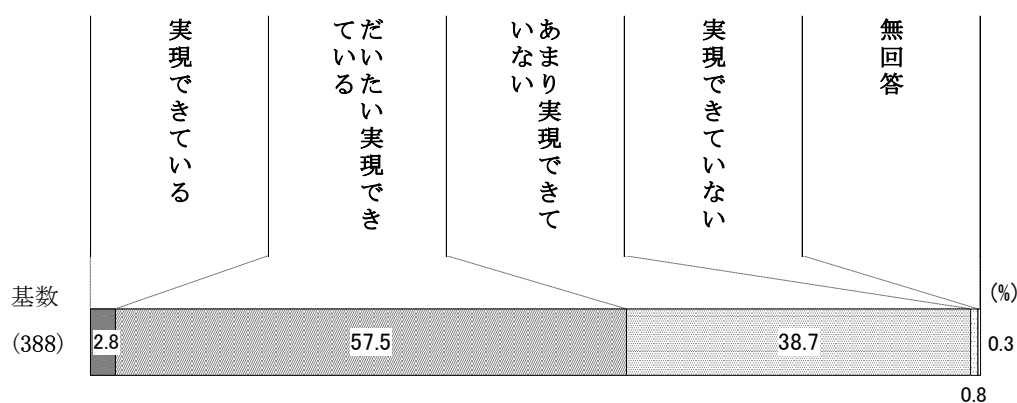
(1) 「子どもが進んで学ぶ学校」の自己評価

問9-1. あなたの学校は、「子どもが進んで学ぶ学校」を実現できていると思いますか。

「子どもが進んで学ぶ学校」の自己評価は、「実現できている」が2.8%で、「だいたい実現できている」が57.5%と最も高くなっている。これらを合わせると、「《実現できている》」は60.3%となっている。

一方、「あまり実現できていない」は38.7%、「実現できていない」は0.8%で、これらを合わせると、「《実現できていない》」は39.5%である。(図表5-1)

＜図表5-1＞「子どもが進んで学ぶ学校」の自己評価



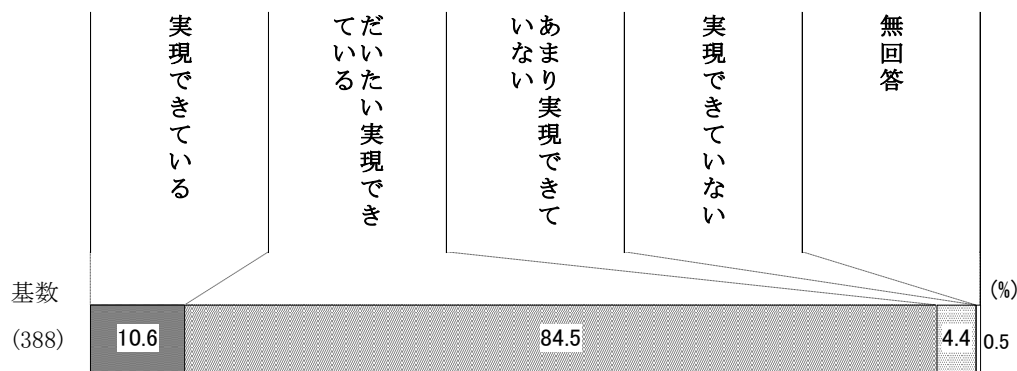
(2) 「子どもが喜んで通う学校」の自己評価

問9-2. あなたの学校は、「子どもが喜んで通う学校」が実現できていると思いますか。

「子どもが喜んで通う学校」の自己評価は、「実現できている」が10.6%で、「だいたい実現できている」が84.5%と最も高くなっている。これらを合わせると、「《実現できている》」は95.1%となっている。

一方、「あまり実現できていない」は4.4%、「実現できていない」は皆無である。(図表5-2)

＜図表5-2＞「子どもが喜んで通う学校」の自己評価



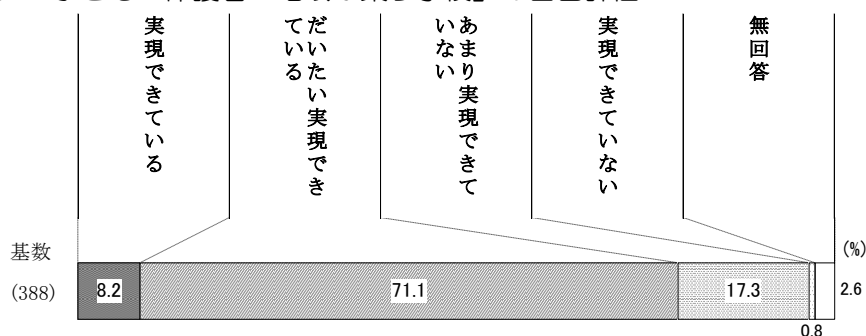
(3) 「子ども・保護者・地域が集う学校」の自己評価

問9-3. あなたの学校は、「子ども・保護者・地域が集う学校」が実現できていると思いますか。

「子ども・保護者・地域が集う学校」の自己評価は、「実現できている」が8.2%で、「だいたい実現できている」が71.1%と最も高くなっている。これらを合わせると、「《実現できている》」は79.3%となっている。

一方、「あまり実現できていない」は17.3%、「実現できていない」は0.8%で、これらを合わせると、「《実現できていない》」は18.1%である。(図表5-3)

＜図表5-3＞「子ども・保護者・地域が集う学校」の自己評価



(4) 必要な施策

問9-4. 「目指す学校像」に近づけるために、今後特に必要となる施策は何だと思えますか。

「目指す学校像」に近づけるために、今後特に必要となる施策について自由に記述いただいたところ、254件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表5-4)

＜図表5-4＞必要な施策

内容	件数
学校のPR・学校公開	11
保護者との連携を強める	10
地域との連携	10
学習内容の充実	7
学習施設・学習設備の充実	7
教員の指導力の向上	7
職員の時間数・人員をふやす	6
児童と関わる時間・児童（生徒）との信頼関係	6
専門知識のある人材を確保する（スクールカウンセラーなど）	6
教育予算の増額	5
職員間の連携	4
少人数学級	4
児童（生徒）の学力の向上	4
職員の仕事量の削減（時間がない）	3
管理職（校長・副校長）の指導力	3
良い教育環境をつくる	3
特別な支援を必要とする児童・生徒に十分な対応をする	2
学校数、校区の問題	2
その他、複数の事項に関すること	154

6 「目指す地域像」について

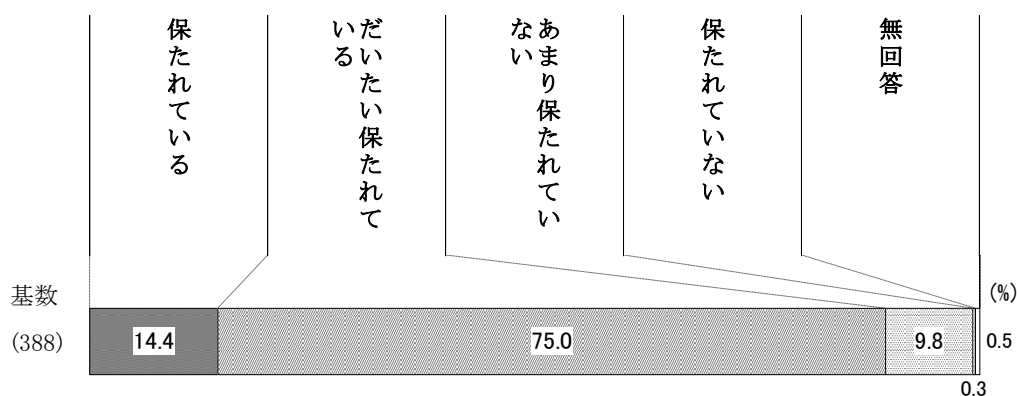
(1) 学校がある地域の安全・安心の保全状況

問10-1. あなたの学校がある地域の安全・安心は保たれていると思いますか。

学校がある地域の安全・安心の保全状況は、「保たれている」が14.4%で、「だいたい保たれている」が75.0%と最も高くなっている。これらを合わせると、「保たれている」は89.4%となっている。

一方、「あまり保たれていない」は9.8%、「保たれていない」は0.3%で、これらを合わせると、「保たれていない」は10.1%である。(図表6-1)

＜図表6-1＞学校がある地域の安全・安心の保全状況



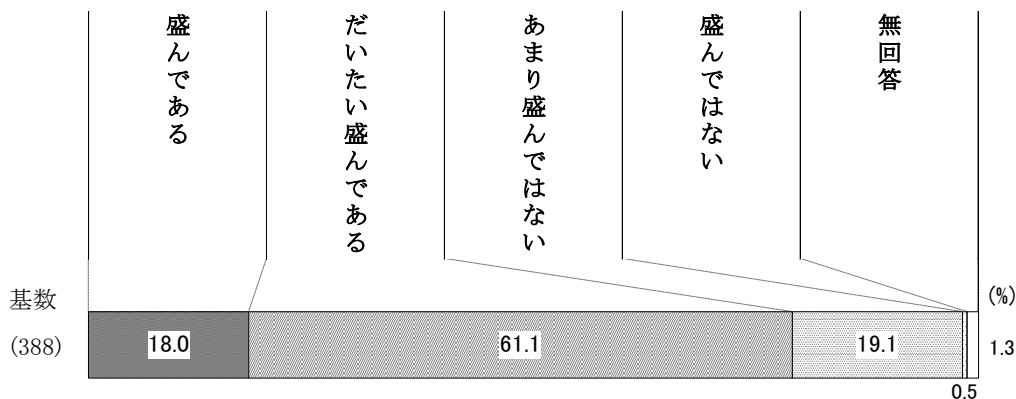
(2) 地域との学校教育への連携活動状況

問10-2. あなたの学校では地域との学校教育への連携活動が盛んですか。

地域との学校教育への連携活動状況は、「盛んである」が18.0%で、「だいたい盛んである」が61.1%と最も高くなっている。これらを合わせると、「盛んである」は79.1%となっている。

一方、「あまり盛んではない」は19.1%、「盛んではない」は0.5%で、これらを合わせると、「盛んではない」は19.6%である。(図表6-2)

＜図表6-2＞地域との学校教育への連携活動状況



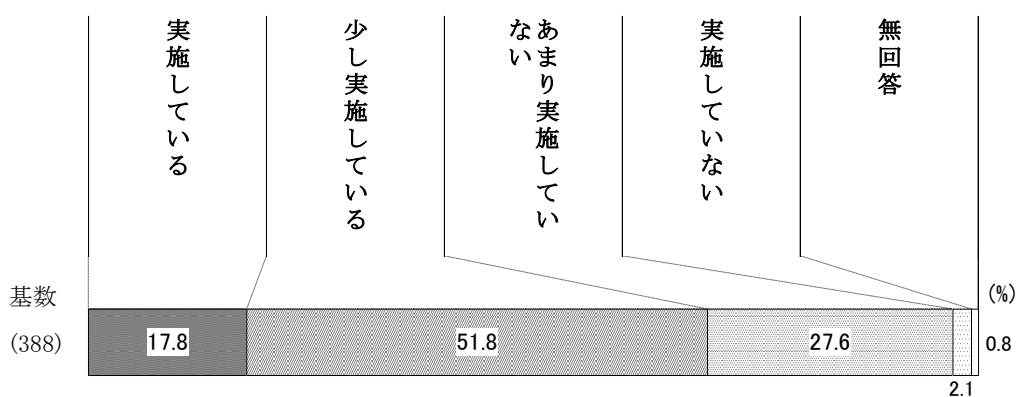
(3) 地域との連携による文化・芸術育成活動の実施状況

問10-3. あなたの学校では地域と連携して文化や芸術を育成する活動を実施していますか。

地域との連携による文化・芸術育成活動の実施状況は、「実施している」が17.8%で、「少し実施している」が51.8%と最も高くなっている。これらを合わせると、「実施している」は69.6%となっている。

一方、「あまり実施していない」は27.6%、「実施していない」は2.1%で、これらを合わせると、「実施していない」は29.7%である。(図表6-3)

<図表6-3>地域との連携による文化・芸術育成活動の実施状況



7 教育改革の方策について

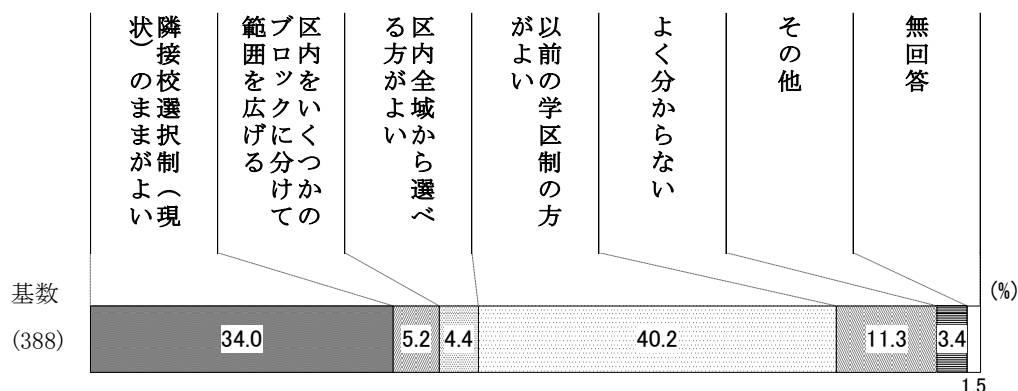
(1) 隣接校選択制の評価

問11. 豊島区では平成13年度から、学校教育の活性化や児童・生徒・保護者の意向を尊重するため、指定校と指定校に隣接する学校を選択できる「隣接校選択制」を導入し、小学校で20%程度、中学校で15%程度の方が利用しています。

あなたは、小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

隣接校選択制の評価は、「以前の学区制の方がよい」が40.2%で最も高く、次いで「隣接校選択制（現状）のままがよい」が34.0%となっている。（図表7-1）

<図表7-1> 隣接校選択制の評価

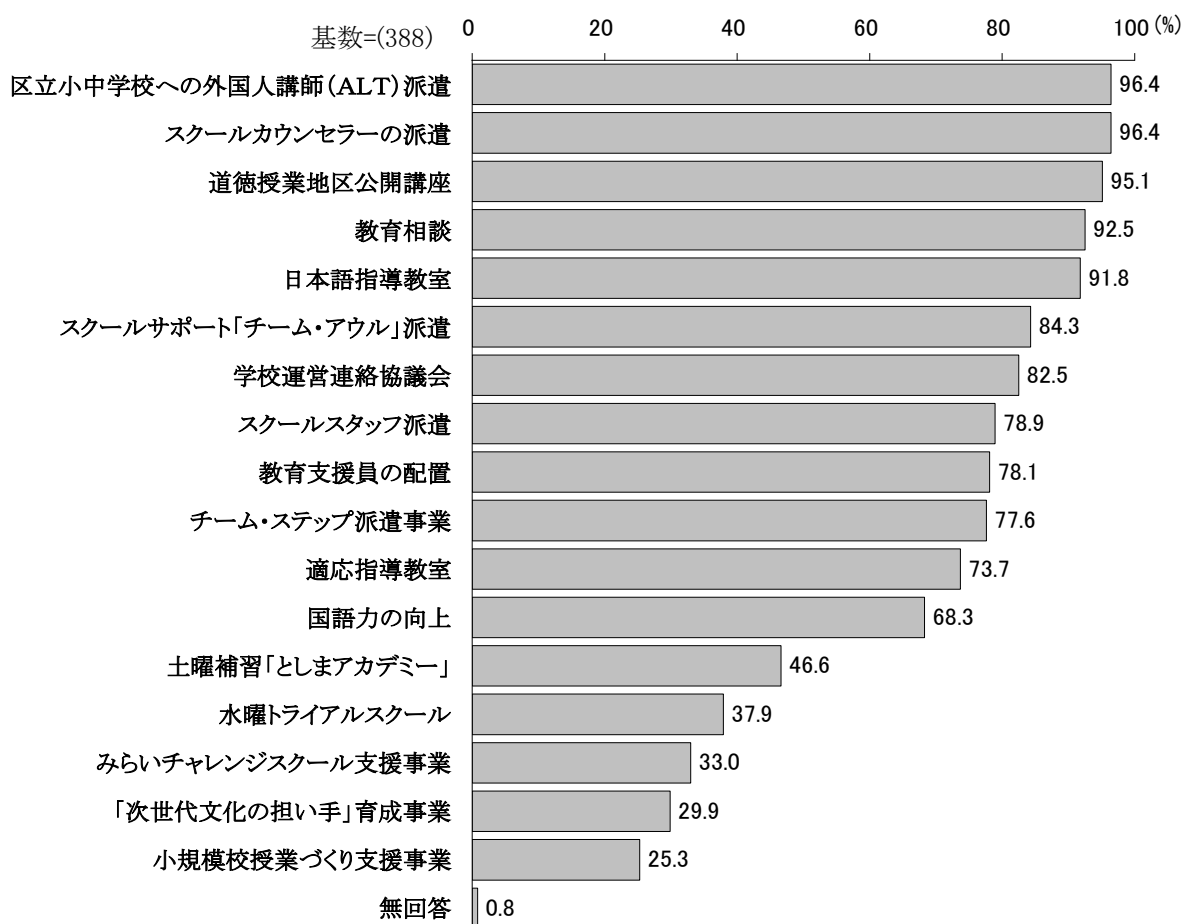


(2) 区立学校支援事業の認知度

問12. あなたは、教育委員会で行っている以下の区立学校支援事業を知っていますか。(該当するものをすべて選んでください)

区立学校支援事業の認知度としては、「区立小中学校への外国人講師（ALT）派遣」が96.4%で最も高くなっている。次いで「スクールカウンセラーの派遣」が96.4%、「道徳授業地区公開講座」が95.1%、「教育相談」が92.5%、「日本語指導教室」が91.8%などとなっている。(図表7-2)

<図表7-2>区立学校支援事業の認知度



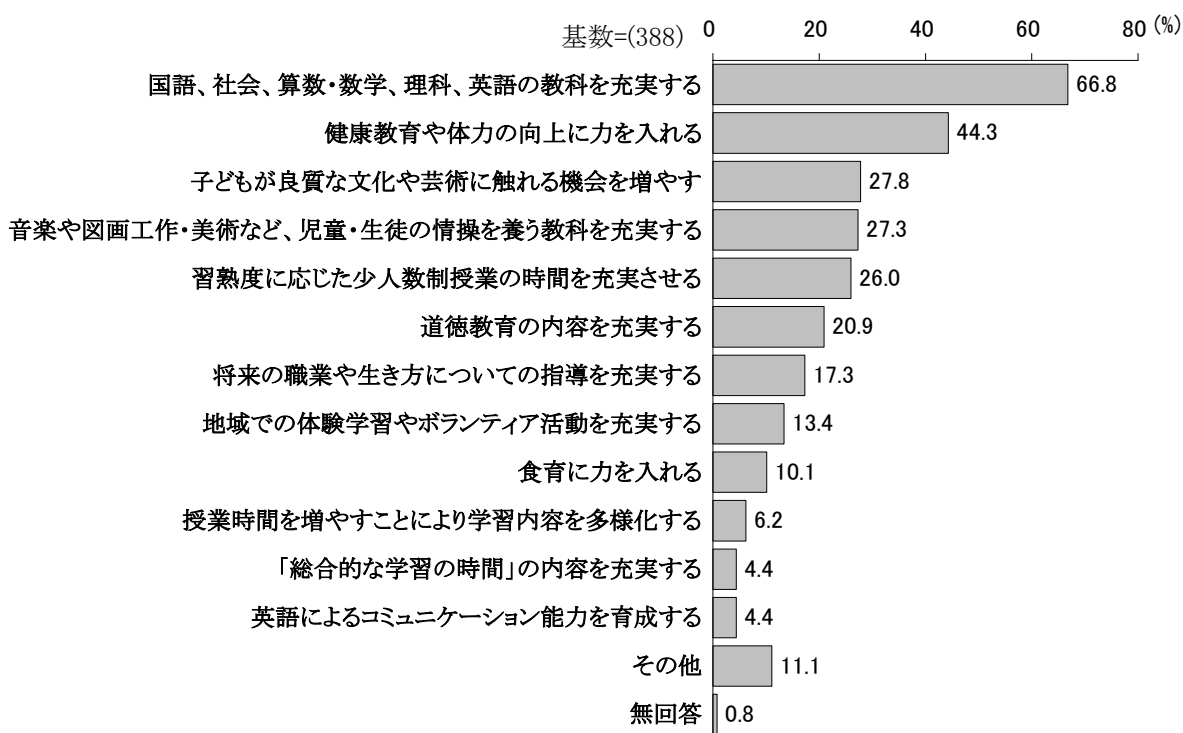
※ 区立学校支援事業の説明は、P.54をご覧ください。

(3) 学校教育で重点的に取り組むべきこと

問13. あなたは、学校教育でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。(選択は3つまで)

学校教育で重点的に取り組むべきこととしては、「国語、社会、算数・数学、理科、英語の教科を充実する」が66.8%で最も高く、次いで「健康教育や体力の向上に力を入れる」が44.3%となっている。このほか、「子どもが良質な文化や芸術に触れる機会を増やす」が27.8%、「音楽や図画工作・美術など、児童・生徒の情操を養う教科を充実する」が27.3%、「習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる」が26.0%などとなっている。(図表7-3)

<図表7-3>学校教育で重点的に取り組むべきこと



第 5 部 教育関係団体調査結果

第5部 教育関係団体調査結果

1 地域の児童・生徒について

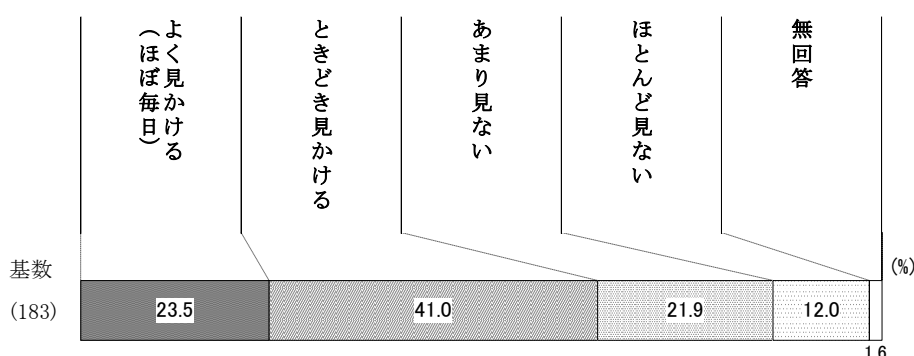
(1) 地域で児童・生徒が遊んでいるのを見かける頻度

問1. 地域で児童・生徒が遊んでいるのを見かけますか。

地域で児童・生徒が遊んでいるのを見かける頻度は、「よく見かける（ほぼ毎日）」が23.5%で、「ときどき見かける」が41.0%と最も高くなっている。これらを合わせると、《見かける》は64.5%となっている。

一方、「あまり見ない」は21.9%、「ほとんど見ない」は12.0%で、これらを合わせると、《見ない》は33.9%である。（図表1-1）

＜図表1-1＞地域で児童・生徒が遊んでいるのを見かける頻度



(2) 子どもが遊ばない理由

問1-1. 問1で③または④と回答された方にお聞きします。地域で児童・生徒の遊ぶ姿が見られないのはどういう理由だと思いますか。

地域で児童・生徒の遊ぶ姿が見られないのはどういう理由について自由に記述いただいたところ、59件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。（図表1-2）

＜図表1-2＞子どもが遊ばない理由

内容	件数
地域に遊ぶ場所がない	10
少子化	10
子どもスキップ、学童クラブ、校庭開放等の利用	5
学習塾、習い事のため時間がない	4
子どもの遊び方の変化	3
その他、複数の事項に関すること	27

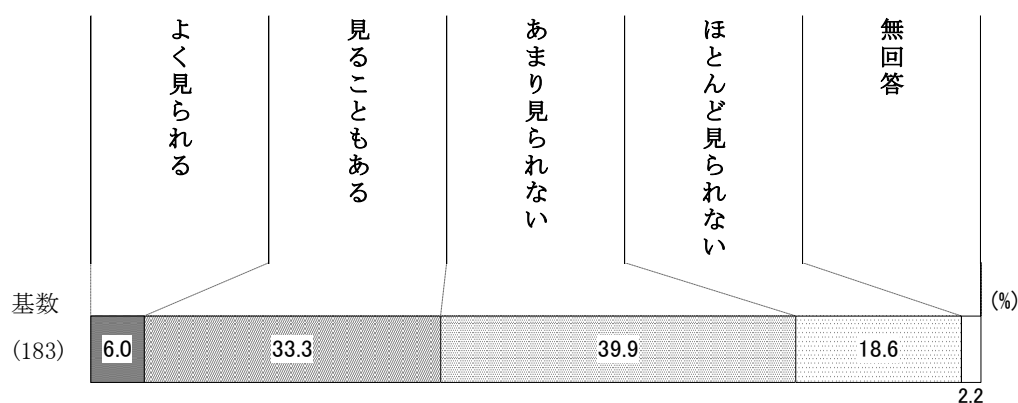
(3) 集団の中でかかわり合わない児童・生徒を見る頻度

問2. 地域で、児童・生徒が集団でいるとき、個人個人がゲームをするなど、友人とあまりかかわり合わずにいる光景を見ることがありますか。

集団の中でかかわり合わない児童・生徒を見る頻度は、「よく見られる」が6.0%で、「見ることもある」が33.3%となっている。これらを合わせると、「見られる」は39.3%となっている。

一方、「あまり見られない」は39.9%で最も高く、「ほとんど見られない」は18.6%で、これらを合わせると、「見られない」は58.5%である。(図表1-3)

<図表1-3> 集団の中でかかわり合わない児童・生徒を見る頻度



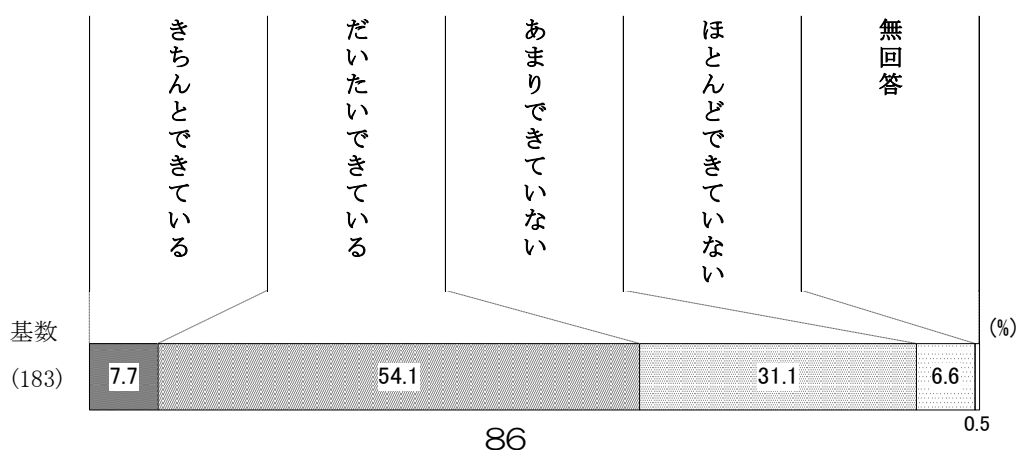
(4) 地域の児童・生徒の挨拶や言葉遣いの状況

問3. 地域で見かける児童・生徒はきちんと挨拶をしますか、また、ていねいな言葉遣いができていますか。

地域の児童・生徒の挨拶や言葉遣いの状況は、「きちんとできている」が7.7%で、「だいたいできている」が54.1%と最も高くなっている。これらを合わせると、「できている」は61.8%となっている。

一方、「あまりできていない」は31.1%、「ほとんどできていない」は6.6%で、これらを合わせると、「できていない」は37.7%である。(図表1-4)

<図表1-4> 地域の児童・生徒の挨拶や言葉遣いの状況



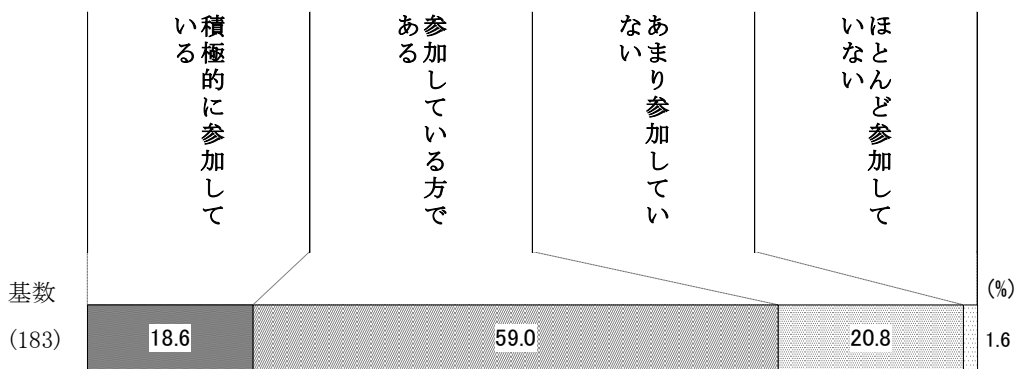
(5) 児童・生徒の地域の行事や祭りへの参加状況

問4. 児童・生徒は地域の行事や祭りなどに参加していますか。

児童・生徒の地域の行事や祭りへの参加状況は、「積極的に参加している」が18.6%、「参加している方である」が59.0%と最も高くなっている。これらを合わせると、《参加している》は77.6%となっている。

一方、「あまり参加していない」は20.8%、「ほとんど参加していない」は1.6%で、これらを合わせると、《参加していない》は22.4%である。(図表1-5)

＜図表1-5＞児童・生徒の地域の行事や祭りへの参加状況



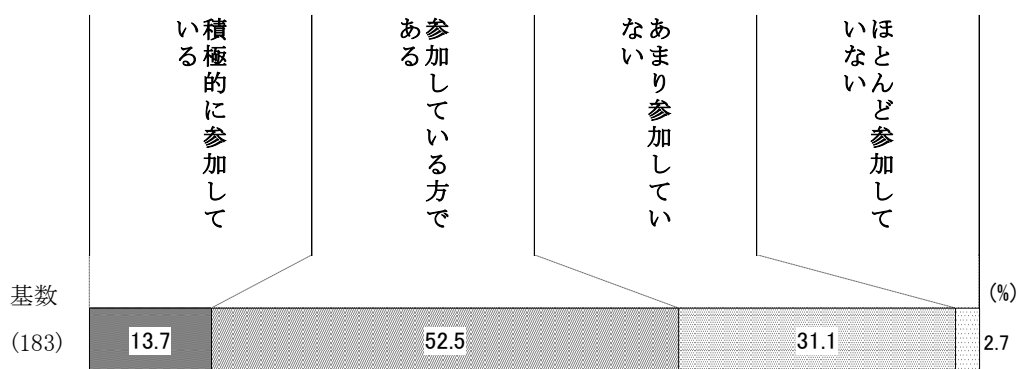
(6) 保護者の地域の行事や祭りなどへの参加状況

問5. 保護者は地域の行事や祭りなどに積極的に参加していますか。

保護者の地域の行事や祭りなどへの参加状況は、「積極的に参加している」が13.7%で、「参加している方である」が52.5%と最も高くなっている。これらを合わせると、《参加している》は66.2%となっている。

一方、「あまり参加していない」は31.1%、「ほとんど参加していない」は2.7%で、これらを合わせると、《参加していない》は33.8%である。(図表1-6)

＜図表1-6＞保護者の地域の行事や祭りなどへの参加状況



(7) 活動参加への方策

問6. 児童・生徒や保護者が地域の活動に参加しやすくするためにはどんな方策が必要だとお考えですか。

児童・生徒や保護者が地域の活動に参加しやすくするために必要な方策について自由に記述いただいたところ、160件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。

(図表1-7)

<図表1-7>活動参加への方策

内容	件数
自治会又は、地域の積極的参加、近隣とのコミュニケーションを密にする	40
保護者が参加しやすい時間、場所等を工夫する	20
保護者の参画意識を高める	19
子どもが興味・関心を持てる企画にする	13
学校との連携	11
イベントのPR活動を強化する	7
地域行事への参加を行政が指導する	1
その他、複数の事項に関する事	49

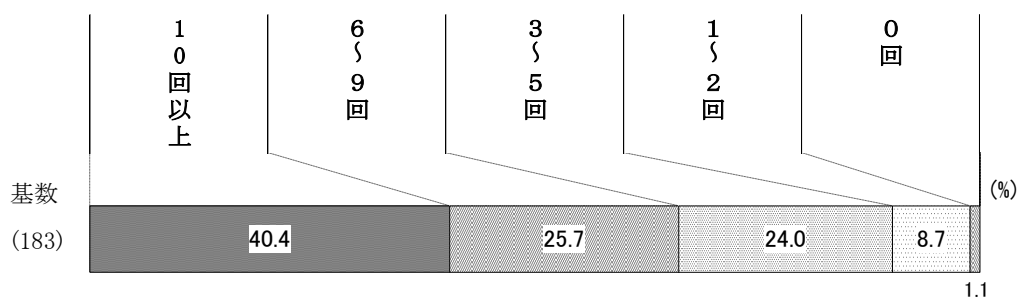
2 教育機関との連携・協力について

(1) 地域の区立幼稚園や小・中学校への訪問回数

問7. あなたはこの1年間で、地域の区立幼稚園や小学校、もしくは中学校に何回くらい行きましたか。

地域の区立幼稚園や小・中学校への訪問回数は、「10回以上」が40.4%で最も高く、次いで「6～9回」が25.7%、「3～5回」が24.0%となっている。(図表2-1)

<図表2-1>地域の区立幼稚園や小・中学校への訪問回数



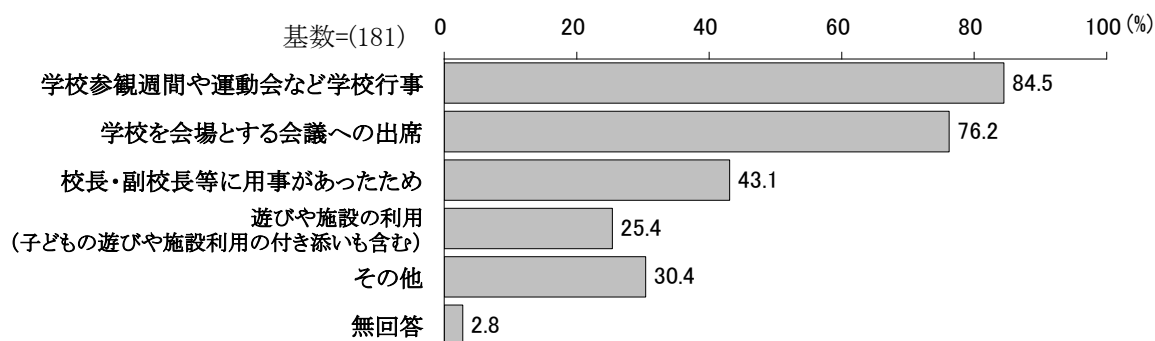
(2) 学校に行った理由

問7-1. 問7で①～④を選択された方にお聞きいたします。

学校に行った理由は何ですか。(該当するもの全てを選択してください)

前問で、地域の区立幼稚園や小・中学校を訪問したと回答した方に、その理由をたずねたところ、「学校参観週間や運動会など学校行事」が84.5%で最も高くなっている。次いで「学校を会場とする会議への出席」が76.2%、「校長・副校長等に用事があったため」が43.1%などである。(図表2-2)

<図表2-2>学校に行った理由



なお、「その他」が30.4%と高いが、その主な内容は、次のとおりである。

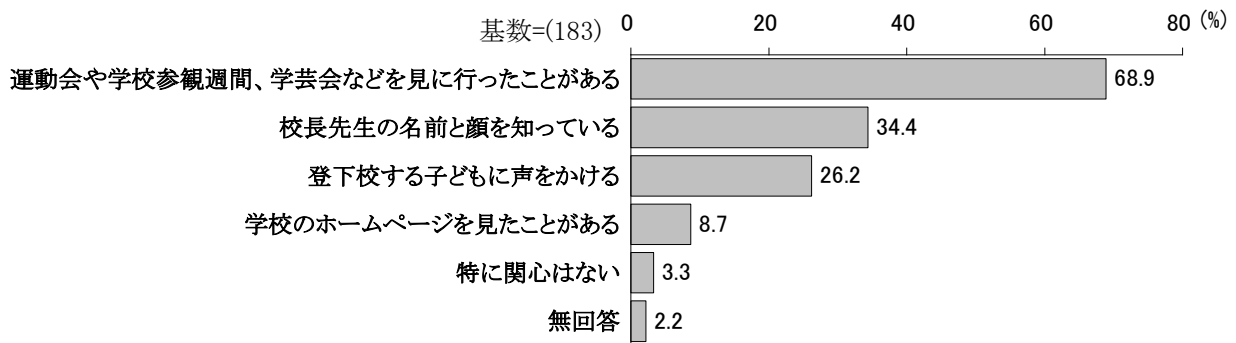
内容	件数
行事参加、イベント開催のため	23
学校開放	7
事務等の作業のため	4
子どもの指導のため	4
会議参加のため	4
パトロールのため	2
その他	11

(3) 地域の学校に対する関心度

問8. 幼稚園や小学校、中学校など地域の学校に対して関心がありますか。

地域の学校に対する関心度としては、「運動会や学校参観週間、学芸会などを見に行ったことがある」が68.9%で最も高く、次いで「校長先生の名前と顔を知っている」が34.4%、「登下校する子どもに声をかける」が26.2%などとなっている。(図表2-3)

<図表2-3>地域の学校に対する関心度



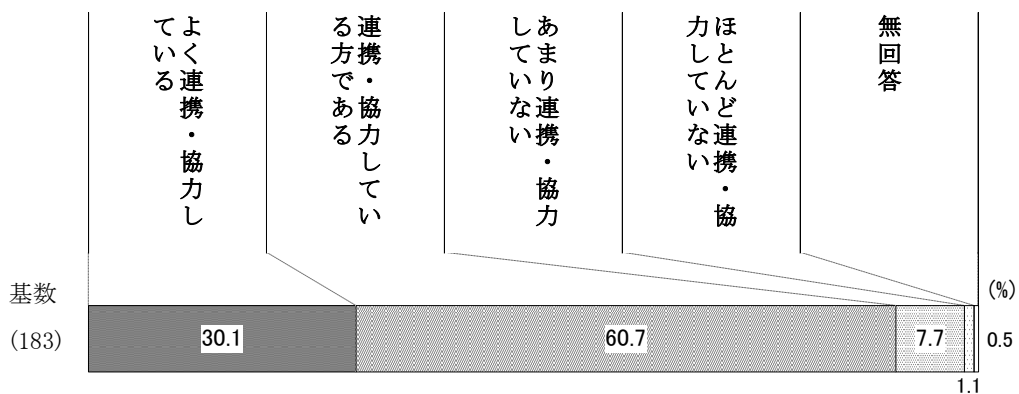
(4) 所属団体と学校の協力関係

問9. あなたの所属する地域団体と学校とは、「地域団体の行事や活動」「学校運営や行事」において円滑な協力関係ができていますか。

所属団体と学校の協力関係は、「よく連携・協力している」が30.1%で、「連携・協力している方である」が60.7%と最も高くなっている。これらを合わせると、《連携・協力している》は90.8%となっている。

一方、「あまり連携・協力していない」は7.7%、「ほとんど連携・協力していない」は1.1%で、これらを合わせると、《連携・協力していない》は8.8%である。(図表2-4)

<図表2-4>所属団体と学校の協力関係

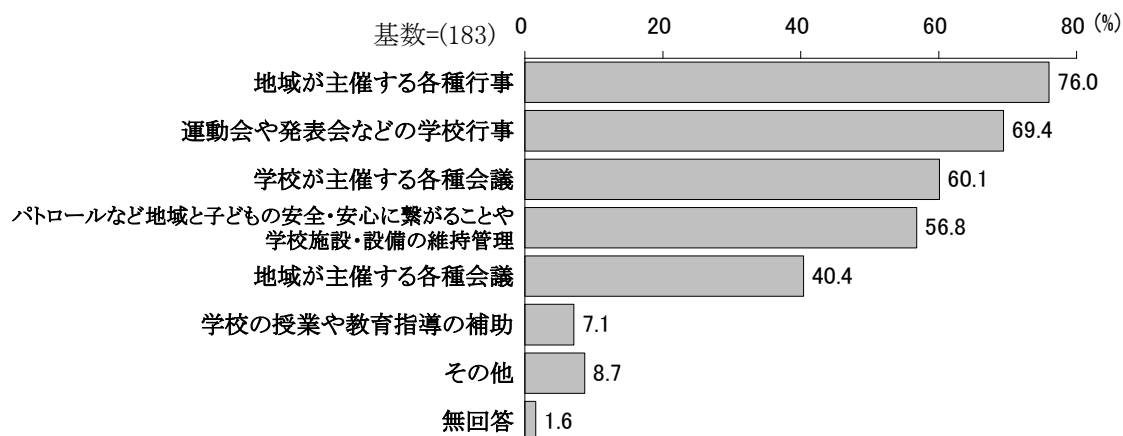


(5) 所属団体と学校の連携・協力内容

問10. あなたの所属する地域団体と学校とが、現在、連携・協力して行っていることは、どのような事柄ですか（該当するもの全てを選択してください）。

所属団体と学校の連携・協力内容としては、「地域が主催する各種行事」が76.0%で最も高く、次いで「運動会や発表会などの学校行事」が69.4%、「学校が主催する各種会議」が60.1%などとなっている。（図表2-5）

＜図表2-5＞所属団体と学校の連携・協力内容

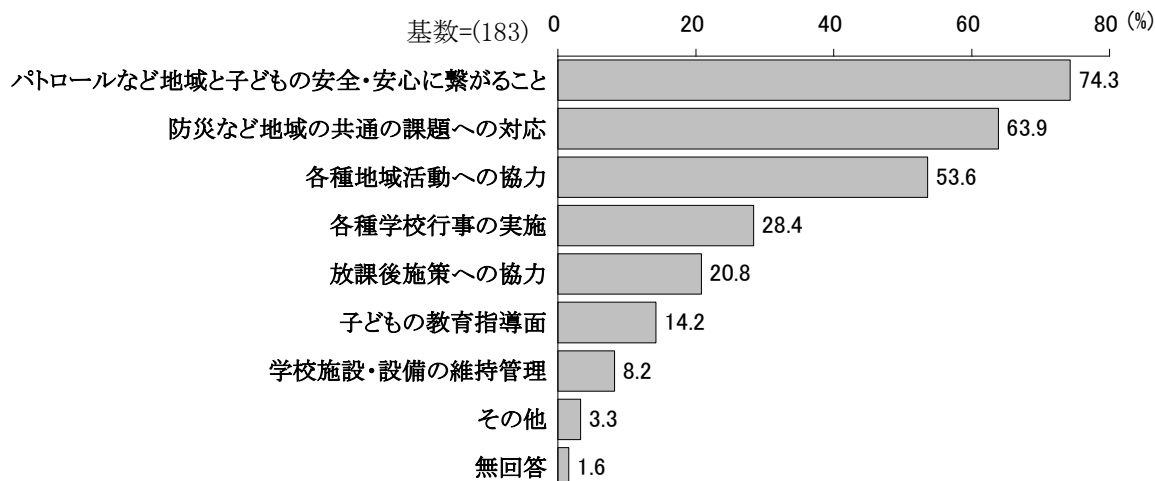


(6) 所属団体と学校が協力・連携すべき事柄

問11. あなたの所属する団体と学校とは、今後、どのような事柄で協力・連携できる、あるいは協力・連携すべきとお考えですか。（選択は3つまで）

所属団体と学校が協力・連携すべき事柄としては、「パトロールなど地域と子どもの安全・安心に繋がること」が74.3%で最も高く、次いで「防災など地域の共通の課題への対応」が63.9%、「各種地域活動への協力」が53.6%などとなっている。（図表2-6）

＜図表2-6＞所属団体と学校が協力・連携すべき事柄



(7) 連携・協力の活性化に必要な方策

問12. 学校との連携・協力を活性化するにはどんな方策が必要だとお考えですか。

学校との連携・協力を活性化するために必要な方策について自由に記述いただいたところ、146件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表2-7)

＜図表2-7＞連携・協力の活性化に必要な方策

内容	件数
学校と地域・PTAとの連携を密にする	78
学校からの情報提供を活発にする	24
子どもを中心とした協力・支援体制を確立する	19
地域の協力体制を築く話し合いの機会を充実する	10
政策や制度を整備する	6
日常的に情報交換する	2
その他、複数の事項に関する事	7

3 教育改革の方策について

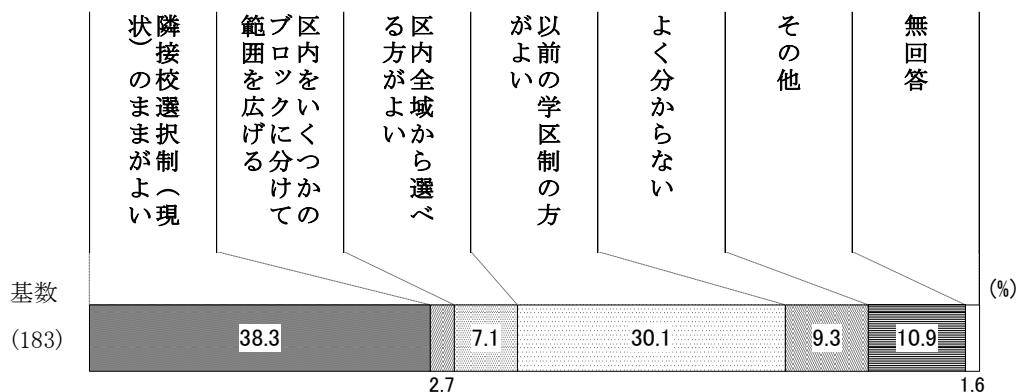
(1) 隣接校選択制の評価

問13. 豊島区では平成13年度から、学校教育の活性化や児童・生徒・保護者の意向を尊重するため、指定校と指定校に隣接する学校を選択できる「隣接校選択制」を導入し、小学校で20%程度、中学校で15%程度の方が利用しています。

あなたは、小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

隣接校選択制の評価は、「隣接校選択制（現状）のままがよい」が38.3%で最も高く、次いで「以前の学区制の方がよい」が30.1%となっている。（図表3-1）

＜図表3-1＞隣接校選択制の評価

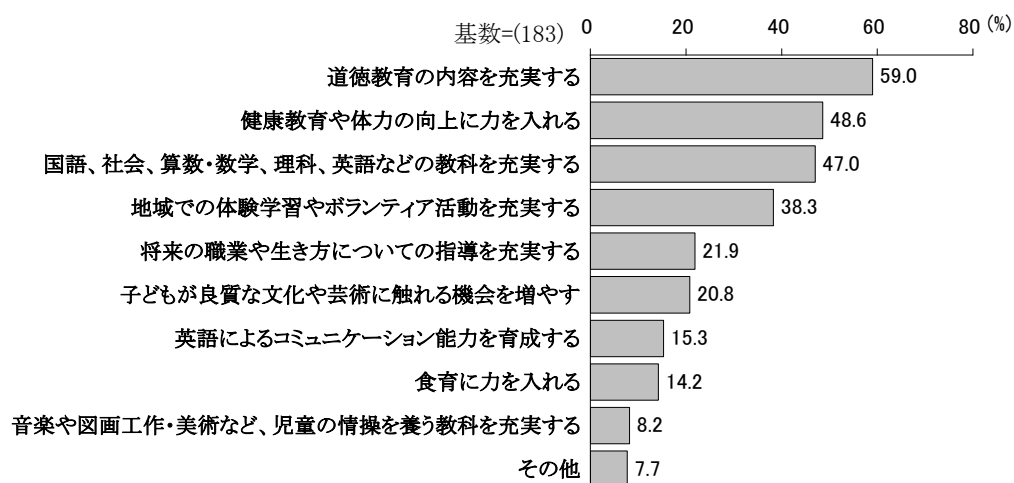


(2) 今後の教育政策で重点的に取り組むべきこと

問14. あなたは、今後の教育政策でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。(選択は3つまで)

今後の教育政策で重点的に取り組むべきこととしては、「道徳教育の内容を充実する」が59.0%で最も高く、次いで「健康教育や体力の向上に力を入れる」が48.6%、「国語、社会、算数・数学、理科、英語などの教科を充実する」が47.0%などとなっている。(図表3-2)

<図表3-2> 今後の教育政策で重点的に取り組むべきこと



(3) 意見・要望

問15. 区立幼稚園、区立小・中学校へご意見やご要望がありましたらお願いします。

区立幼稚園、区立小・中学校への意見や要望について自由に記述いただいたところ、107件の回答が寄せられた。記述いただいた内容を分類すると次のとおりとなっている。(図表3-3)

<図表3-3> 意見・要望

内容	件数
学校に対して	46
学校と地域・PTAに関して	17
行政に対して	10
保育園・幼稚園に関して	6
子どもの挨拶に関して	3
家庭教育に関して	3
その他、複数の事項に関すること	22

第6部 共通設問の比較

第6部 共通設問の比較

(1) 朝食をとる割合

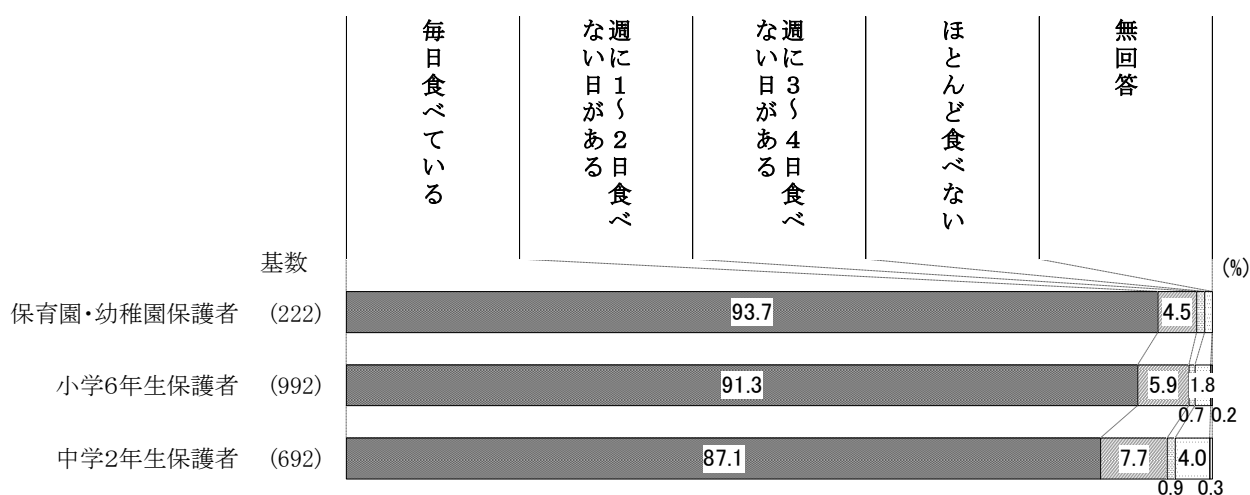
[保育園・幼稚園：問3、小学校6年生：問2、中学2年生：問2]

問 お子様は毎日朝食を食べていますか。

朝食をとる割合は、「毎日食べている」（保育園・幼稚園：93.7% 小学6年生：91.3% 中学2年生：87.1%。以下、同じ順）が、学年が上がるほど減少している。

逆に、「週に1～2日食べない日がある」（4.5% 5.9% 7.7%）と「ほとんど食べない」（0.9% 1.8% 4.0%）は、学年が上がるほど増加する。（図表1-1）

<図表1-1>朝食をとる割合



※保育園・幼稚園保護者<週に3～4日食べない日がある>=0.9%

<ほとんど食べない>=0.9%

<無回答>=-

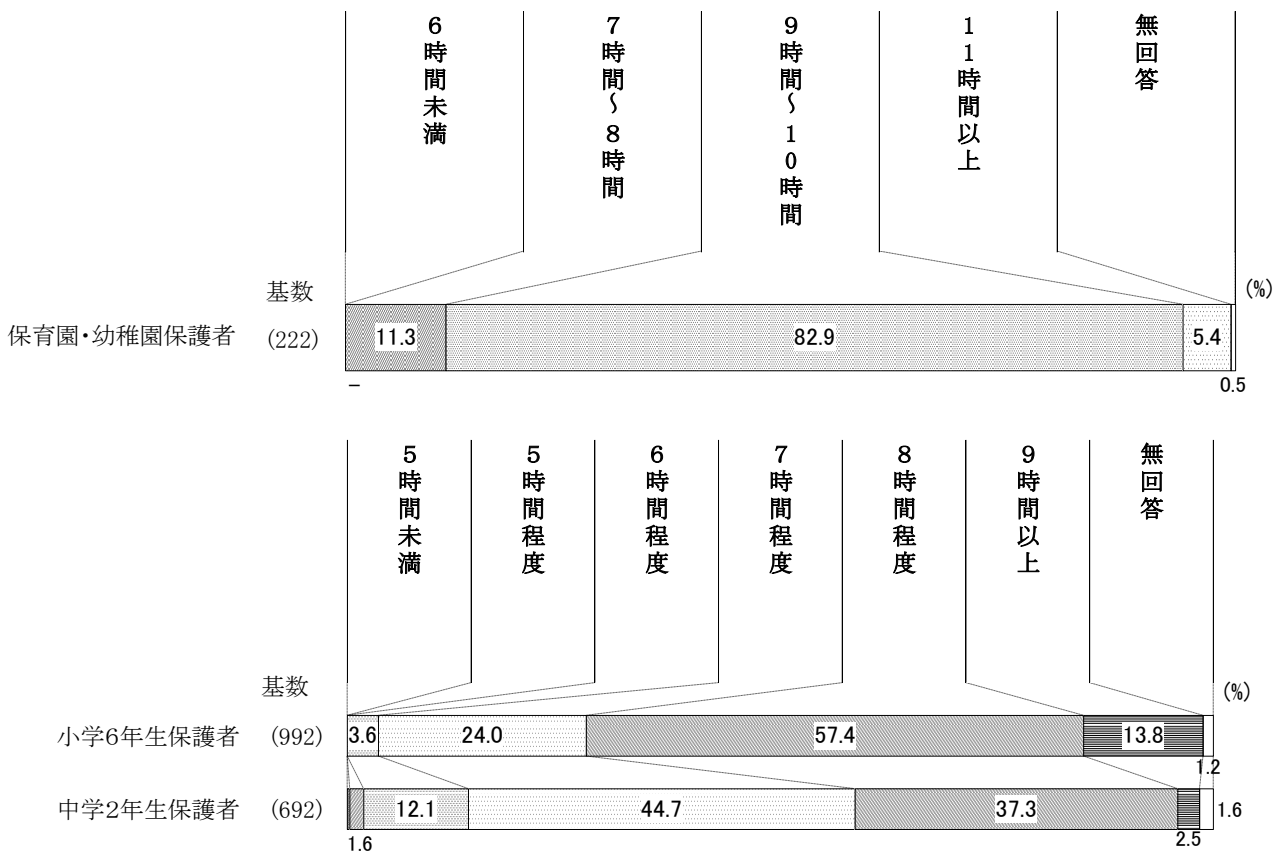
(2) 平均睡眠時間

[保育園・幼稚園：問6、小学校6年生：問3、中学2年生：問3]

問 お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。

平均睡眠時間は、保育園・幼稚園で「9時間～10時間」が82.9%で最も高くなっている。他方で、小学6年生は「8時間程度」が57.4%、中学2年生は「7時間程度」が44.7%とそれぞれもっとも高く、学年が上がるほど平均睡眠時間が減少している傾向がみられる。(図表1-2)

<図表1-2>平均睡眠時間



※小学6年生保護者<5時間未満>=-
 <5時間程度>=-
 中学2年生保護者<5時間未満>=0.3%

(3) 運動の状況

[保育園・幼稚園：問12、小学校6年生：問6、中学2年生：問6]

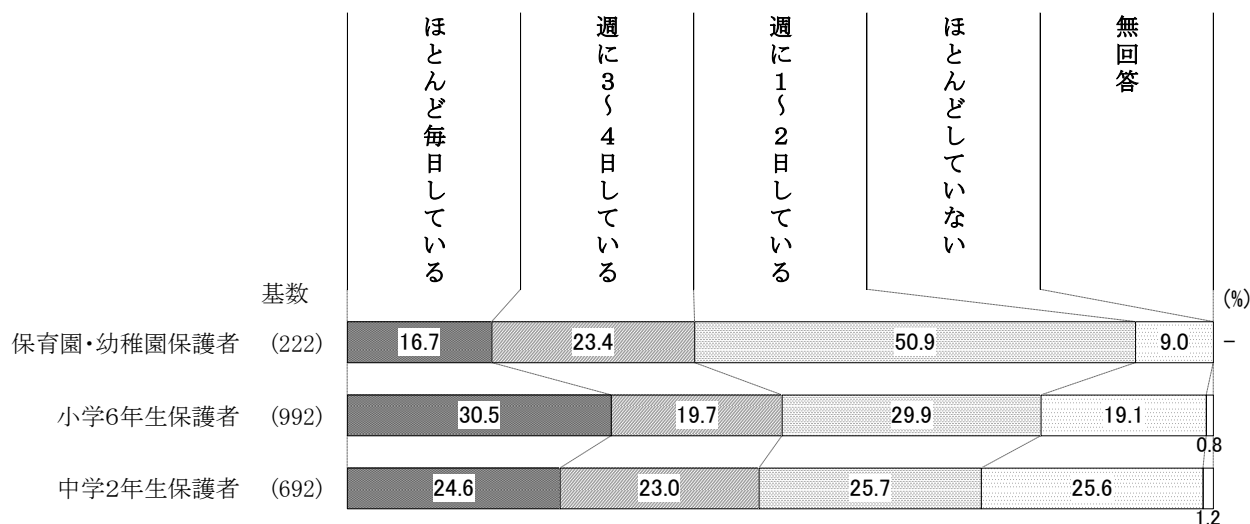
問 お子様は、外で遊んだり運動したりしていますか。ただし、保育園や幼稚園での活動はのぞきます。

問 お子様は外で遊んだり運動したりしていますか。ただし、学校の体育の時間は除きます。

運動の状況は、「ほとんど毎日している」は小学6年生が30.5%、「週に1～2日している」は保育園・幼稚園が50.9%で他の学年に比べて最も高くなっている。

一方で、「ほとんどしていない」（保育園・幼稚園：9.0% 小学6年生：19.1% 中学2年生：25.6%）が、学年が上がるほど増加している。（図表1-3）

<図表1-3>運動の状況



※図表1-3の「ほとんど毎日している」は、保育園・幼稚園保護者調査では、「ほぼ毎日、外で遊んでいる」と聞いた。

※図表1-3の「週に3～4日している」は、保育園・幼稚園保護者調査では、「週に3～4日は外で遊んでいる」と聞いた。

※図表1-3の「週に1～2日している」は、保育園・幼稚園保護者調査では、「週に1～2日は外で遊んでいる」と聞いた。

※図表1-3の「ほとんどしていない」は、保育園・幼稚園保護者調査では、「外では遊ばない」と聞いた。

(4) 進学目標

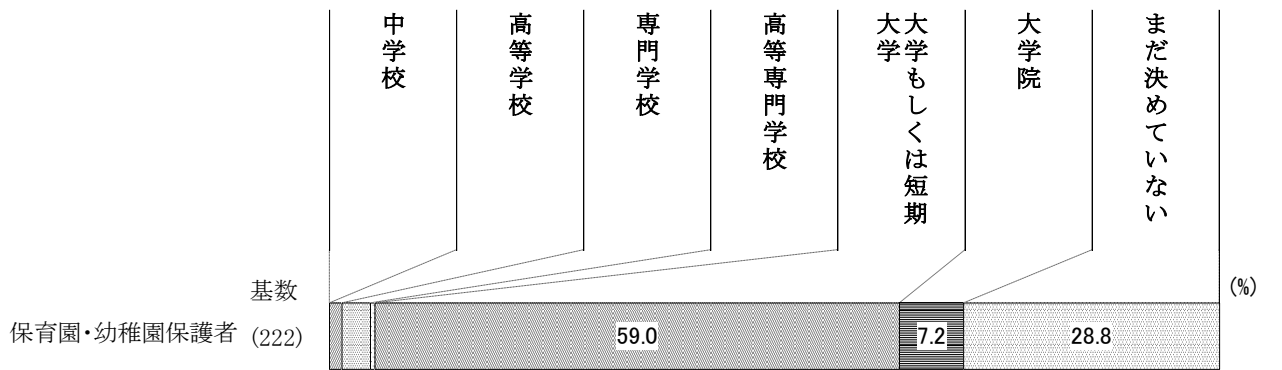
[保育園・幼稚園：問20、小学校6年生：問7、中学2年生：問7]

問 お子様の進学についてどのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。

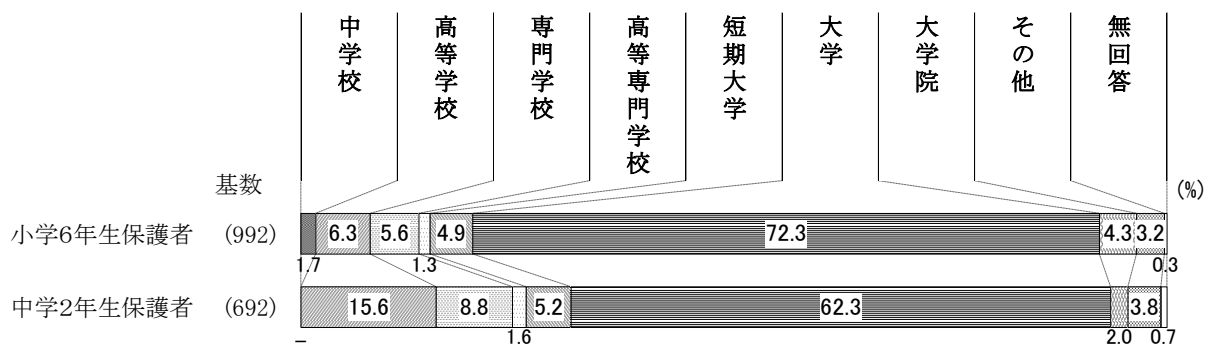
問 あなたは、お子様の進学についてどのように考えていますか。最終的な進学希望先についてお聞かせください。

進学目標は、いずれの学年でも「大学（もしくは短期大学）」（保育園・幼稚園：59.0% 小学6年生：72.3% 中学2年生：62.3%）が高くなっている。（図表1-4）

<図表1-4>進学目標



※<中学校>=-
 <高等学校>=1.4%
 <専門学校>=3.2%
 <高等専門学校>=0.5%



(5) 隣接校選択制の評価

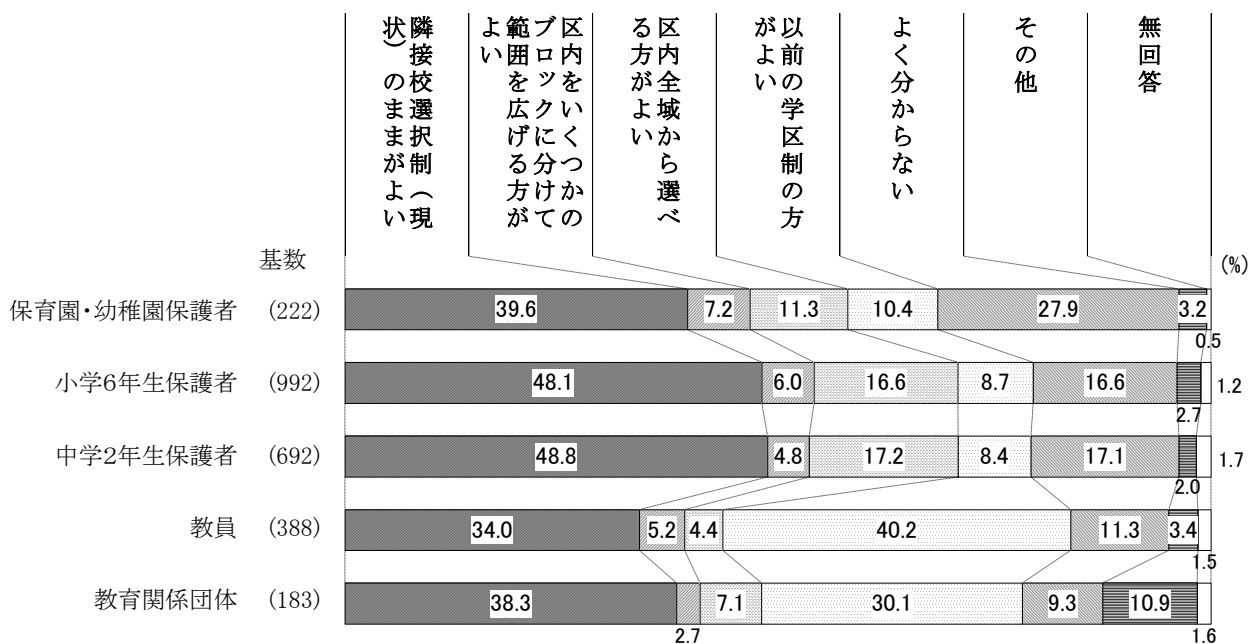
[保育園・幼稚園：問23、小学校6年生：問14、中学2年生：問14、
教員：問11、教育団体：問13]

問 豊島区では平成13年度から、学校教育の活性化や児童・生徒・保護者の意向を尊重するため、指定校と指定校に隣接する学校を選択できる「隣接校選択制」を導入し、小学校で20%程度、中学校で15%程度の方が利用しています。
あなたは、小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

隣接校選択制の評価は、教員を除いた4つの調査対象で、「隣接校選択制（現状）のままがよい」がそれぞれ最も高くなっている。

調査対象で比較すると、「隣接校選択制（現状）のままがよい」は、小学6年生で48.1%、中学2年生で48.8%と他の調査対象に比べて高くなっている。一方で、「以前の学区制の方がよい」は教員で40.2%、教育関係団体で30.1%と他の調査対象に比べて高い。（図表1-5）

<図表1-5>隣接校選択制の評価



(6) 区立学校支援事業の認知度

[小学校6年生：問16、中学2年生：問15、教員：問12]

問 あなたは、教育委員会で行っている以下の区立学校支援事業を知っていますか。(該当するものをすべて選んでください)

区立学校支援事業の認知度は、小学6年生と中学2年生ともに、「スクールカウンセラーの派遣」(小学6年生：75.8% 中学2年生：76.7%。以下、同じ順)、「区立小中学校への外国人講師(ALT)派遣」(66.7% 68.6%)、「道徳授業地区公開講座」(58.8% 57.4%)が、上位3事業となっている。そして、その順序は、教員の結果でも同様である。

なお、生徒と教員とでは、「チーム・ステップ派遣事業」、「スクールサポート「チーム・アウル」派遣」、「日本語指導教室」などで、認知度が約70%前後異なる。(図表1-6)

<図表1-6>区立学校支援事業の認知度

単位：%

	基数	スクールスタッフ派遣	区立小中学校への外国人講師(ALT)派遣	水曜トライアルスクール	土曜補習「としまアカデミー」	国語力の向上	学校運営連絡協議会	スクールカウンセラーの派遣	みらいチャレンジスクール支援事業	「次世代文化の担い手」育成事業	小規模校授業づくり支援事業	チーム・ステップ派遣事業	スクールサポート「チーム・アウル」派遣	教育支援員の配置	道徳授業地区公開講座	教育相談	適応指導教室	日本語指導教室	無回答
小学6年生保護者	992	22.6	66.7	12.6	11.3	8.2	18.9	75.8	6.9	4.2	3.9	10.6	14.2	24.3	58.8	42.0	12.1	22.4	10.6
中学2年生保護者	692	22.0	68.6	55.2	33.8	6.9	22.5	76.7	7.5	5.1	5.9	7.2	10.4	15.2	57.4	46.4	12.1	21.7	8.4
教員	388	78.9	96.4	37.9	46.6	68.3	82.5	96.4	33.0	29.9	25.3	77.6	84.3	78.1	95.1	92.5	73.7	91.8	0.8

(7) 重点施策

[保育園・幼稚園：問24、小学校6年生：問17、中学2年生：問16、
教員：問13、教育団体：問14]

問 あなたは、今後の教育政策でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。(選択は3つまで)

問 あなたは、学校教育でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。(選択は3つまで)

選択肢数及び選択肢の文言が異なるので参考としてではあるが、重点施策を比べてみると、教育関係団体を除いた4つの調査対象で、「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」がそれぞれ最も高くなっている。それに対して、教育関係団体は、「道徳教育の内容を充実する」が59.0%で最も高い。(図表1-7)

<図表1-7>重点施策

単位：%

	基数	国語、社会、算数、理科の教科を充実する	健康教育や体力の向上に力を入れる	音楽や図画工作など、児童の情操を養う教科を充実する	道徳教育の内容を充実する	「総合的な学習の時間」の内容を充実する	英語によるコミュニケーション能力を育成する	食育に力を入れる	習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる	授業時間を増やすことにより学習内容を多様化する	将来の職業や生き方についての指導を充実する	地域での体験学習やボランティア活動を充実する	子どもが良質な文化や芸術に触れる機会を増やす	その他	無回答
保育園・幼稚園保護者	222	52.7	32.9	14.9	36.5	※	25.7	14.4	※	※	32.4	41.9	28.4	4.1	0.9
小学6年生保護者	992	52.2	27.4	12.9	25.1	5.5	16.1	6.4	35.3	21.6	20.4	21.3	22.3	3.7	1.3
中学2年生保護者	692	56.1	18.4	9.4	20.8	6.5	29.8	6.1	38.3	18.8	28.8	16.9	17.8	2.0	2.3
教員	388	66.8	44.3	27.3	20.9	4.4	4.4	10.1	26.0	6.2	17.3	13.4	27.8	11.1	0.8
教育関係団体	183	47.0	48.6	8.2	59.0	※	15.3	14.2	※	※	21.9	38.3	20.8	7.7	-

※図表1-7の「国語、社会、算数、理科の教科を充実する」は、中学2年生保護者調査では、「国語、社会、数学、理科、英語の教科を充実する」と聞いた。

※図表1-7の「音楽や図画工作など、児童の情操を養う教科を充実する」は、中学2年生保護者調査では、「音楽や美術など、生徒の情操を養う教科を充実する」と聞いた。

※図表1-7の「『総合的な学習の時間』の内容を充実する」、「習熟度に応じた少人数制授業の時間を充実させる」、「授業時間を増やすことにより学習内容を多様化する」は、保育園・幼稚園保護者調査と教育関係団体調査では聞いていない。

参考 調査票の質問項目一覧

参考 調査票の質問項目一覧

(1) 保育園・幼稚園 保護者アンケート調査

- 問1. このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。
- 問2. お子様には何人の兄弟姉妹がいますか。
- 問2-1. 兄姉(年上)、弟妹(年下)、同年(双生児など)のいずれがいますか。
- 問3. お子様は毎日朝食を食べていますか。
- 問4. お子様の起床時間は何時くらいですか。
- 問5. お子様の毎日の就寝時間は何時頃ですか。
- 問6. お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。
- 問7. お子様は塾や習い事に通っていますか。
- 問8. お子様を育てるうえで、ご家庭で特に大切にしていることはどんなことですか。
- 問9. 子どものしつけについて、どうあるべきだとお考えですか。
- 問10. 一日(平日)のうち、ご家庭でお子様と遊ぶ・話すなど、向き合う時間はどのくらいありますか。
- 問11. ご家庭で本の読み聞かせなど、お子様が本に親しむ機会を作っていますか。
- 問12. お子様は、外で遊んだり運動したりしていますか。ただし、保育園や幼稚園での活動は除きます。
- 問13. 一日の(平日)うち、お子様は、どのくらいの時間、テレビを見たり、ゲーム(テレビゲームなど電子的なもの)で遊んでいますか。
- 問14. お子様は現在通園している幼稚園・保育園に入園させた主な理由はなんですか。
- 問15. 幼稚園・保育園で重点的に取り組んで欲しいことはどんなことですか。
- 問16. 小学校入学前に特に身につけさせたい能力・技能は何ですか。
- 問17. 小学校入学にあたって、特に不安に感じていることは何ですか。
- 問18. 来年4月に入学を希望している小学校はどの小学校でしょうか。
- 問19. 進学を希望する小学校を選んだ理由は何ですか。
- 問20. お子様の進学についてどのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。
- 問21. 来年入学する小学校では、お子様の教育についてどのようなことに重点をおいてほしいと思いますか。
- 問22. 学校やクラスの児童数の規模についてはどうお考えですか。
- 問23. 小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。
- 問24. 今後の教育政策でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。
- 問25. 区立学校の教育や学校運営についてご意見・ご希望があればお書きください。

(2) 豊島区立小・中学校保護者 意識・意向調査【小学校】

問1. このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。

問2. お子様は、毎日朝食を食べていますか。

問3. お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。

問4. お子様は週何回、何時間程度、塾や習い事などに通っていますか。

問4-1. お子様は学習塾に通っていると回答された方にお聞きします。お子様を学習塾に通わせる目的は主にどのような理由ですか。

問5. お子様は平日、学校の授業以外に1日平均どれくらい勉強しますか。塾や習い事の時間は除きます。

問6. お子様は外で遊んだり運動したりしていますか。ただし、学校の体育の時間は除きます。

問7. お子様の進学についてどのように考えていますか。最終的な進学希望先についてお聞かせください。

問8. 現在、お子様が通学している小学校に入学させた理由をお聞かせください。

問9. 現在お子様が通学している小学校に満足していますか。

問10. お子様は小学校生活で楽しみにしていることは何ですか。

問11. お子様は小学校生活で悩んだり不安に思っていることは何ですか。

問12. 区立小学校に対してどのようなことを望みますか。

問13. お子様は、どんな能力や態度を学校教育で身につけてほしいと思いますか。

問14. 小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

問15. どの中学校にお子様を進学させることを希望されていますか。

問15-1. 区立中学校への進学を希望するを選んだ方にお聞きします。学校選択の理由をお聞かせください。

問15-2. 区外の公立中学校への進学を希望するを選んだ方にお聞きします。学校選択の理由をお聞かせください。

問15-3. 国立・都立・私立中学校のいずれかへの進学を希望するを選んだ方にお聞きします。学校選択の理由をお聞かせください。

問16. あなたは、教育委員会で行っている以下の区立学校支援事業を知っていますか。

問17. あなたは、学校教育でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。

問18. あなたは、学校と地域との連携はどのように進めていくべきだと思いますか。

問19. 魅力ある区立学校のイメージ、もしくは学校教育についてご意見があればお書きください。

(3) 豊島区立小・中学校保護者 意識・意向調査【中学校】

問1. このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。

問2. お子様は、毎日朝食を食べていますか。

問3. お子様の1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。

問4. お子様は週何回、何時間程度、塾や習い事などに通っていますか。

問4-1. お子様は学習塾に通っていると回答された方にお聞きします。お子様を学習塾に通わせる目的は主にどのような理由ですか。

問5. お子様は平日、学校の授業以外に1日平均どれくらい勉強しますか。塾や習い事の時間は除きます。

問6. お子様は外で遊んだり運動したりしていますか。ただし、学校の体育の時間は除きます。

問7. お子様の進学についてどのように考えていますか。最終的な進学希望先についてお聞かせください。

問8. 現在、お子様が通学している中学校に入学させた理由をお聞かせください。

問9. 現在お子様が通学している中学校に満足していますか。

問10. お子様は中学校生活で楽しみにしていることは何ですか。

問11. お子様は中学校生活で悩んだり不安に思っていることは何ですか。

問12. 区立中学校に対してどのようなことを望みますか。

問13. お子様は、どんな能力や態度を学校教育で身につけてほしいと思いますか。

問14. 小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

問15. 教育委員会で行っている以下の区立学校支援事業を知っていますか。

問16. 学校教育でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。

問17. 学校と地域との連携はどのように進めていくべきだと思いますか。

問18. 魅力ある区立学校のイメージ、もしくは学校教育についてご意見があればお書きください。

(4) 区立幼稚園・区立小・中学校 教員アンケート調査

問1. あなたの所属は何ですか。

問2. あなたの職層は何ですか

問3. あなたはどの年代ですか。(平成21年4月1日現在)

問4. 現在の職務の状況についてどのように感じていますか。

問4-1. 特にどのような職務の増加で忙しくなっていると感じますか。

問5. 週休日や休日に勤務することがありますか。

問6. 現在の学校の施設・設備に満足していますか。

問7. 【豊島区教育ビジョンの「目指す子ども像」についてお聞きします。】

問7-1. 児童・生徒について、「自ら学び考え豊かに表現できる子ども」という目標がどの程度達成できていると感じますか。

問7-2. 児童・生徒について「自他を認め合い、思いやりのある心豊かな子ども」という目標がどの程度身につけていると感じますか。

問7-3. 児童・生徒について、「健康でたくましく生きる子ども」という目標については、どの程度身につけてきていると感じますか。

問7-4. 児童・生徒の育成・指導にあたって、「目指す子ども像」に近づけていくために、今後特に力を入れていかなければならない施策は何だと考えますか。

問8. 【豊島区教育ビジョンの「目指す教師像」についてお聞きします。】

問8-1. あなたは「楽しく・分かる授業」ができていると感じていますか。

問8-2. あなたは「子どもの話に耳と心を傾ける」ことができていると思いますか。

問8-3. あなたは「自ら学び続ける教師」を実践していますか。

問8-4. あなたは教科指導に必要な知識・技術の習得など専門性を高めるための自己啓発を何かしていますか。

問8-5. 区立幼稚園、区立小・中学校の教員が教育ビジョンの「目指す教師像」に近づいていくためには、今後どのような施策に重点を置いていくべきだと考えますか。

問9. 【豊島区教育ビジョンの「目指す学校像」についてお聞きします。】

問9-1. あなたの学校は、「子どもが進んで学ぶ学校」を実現できていると思いますか。

問9-2. あなたの学校は、「子どもが喜んで通う学校」が実現できていると思いますか。

問9-3. あなたの学校は、「子ども・保護者・地域が集う学校」が実現できていると思いますか。

問9-4. 「目指す学校像」に近づけるために、今後特に必要となる施策は何だと思いますか。

問10. 【豊島区教育ビジョンの「目指す地域像」についてお聞きします。】

問10-1. あなたの学校がある地域の安全・安心は保たれていると思いますか。

問10-2. あなたの学校では地域との学校教育への連携活動が盛んですか。

問10-3. あなたの学校では地域と連携して文化や芸術を育成する活動を実施していますか。

問11. 小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

問12. 教育委員会で行っている以下の区立学校支援事業を知っていますか。

問13. 学校教育でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。

(5) 教育関係団体アンケート調査

問1. 地域で児童・生徒が遊んでいるのを見かけますか。

問1-1. 地域で児童・生徒の遊ぶ姿が見られないのはどういう理由だと思いますか。

問2. 地域で、児童・生徒が集団でいるとき、個人個人がゲームをするなど、友人とあまりかかわり合わずにいる光景を見ることがありますか。

問3. 地域で見かける児童・生徒はきちんと挨拶をしますか、また、ていねいな言葉遣いができていますか。

問4. 児童・生徒は地域の行事や祭りなどに参加していますか。

問5. 保護者は地域の行事や祭りなどに積極的に参加していますか。

問6. 児童・生徒や保護者が地域の活動に参加しやすくするためにはどんな方策が必要だとお考えですか。

問7. この1年間で、地域の区立幼稚園や小学校、もしくは中学校に何回くらい行きましたか。

問7-1. 学校に行った理由は何ですか。

問8. 幼稚園や小学校、中学校など地域の学校に対して関心がありますか。

問9. あなたの所属する地域団体と学校とは、「地域団体の行事や活動」「学校運営や行事」において円滑な協力関係ができていますか。

問10. あなたの所属する地域団体と学校とが、現在、連携・協力して行っていることは、どのような事柄ですか。

問11. あなたの所属する地域団体と学校とは、今後、どのような事柄で協力・連携できる、あるいは協力・連携すべきとお考えですか。

問12. 学校との連携・協力を活性化するにはどんな方策が必要だとお考えですか。

問13. 小学校・中学校の隣接校選択制について、どのように考えますか。

問14. 今後の教育政策でどんなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。

問15. 区立幼稚園、区立小・中学校へご意見やご要望がありましたらお願いします。

新「豊島区教育ビジョン」策定のための
アンケート調査 報告書

平成21年（2009年）11月

豊島区教育総務部教育総務課

〒170-8422 豊島区東池袋 1-18-1

電話 03-3981-1591

FAX 03-3981-3019
